

工 事 番 号							
設計年度	令和 6 年度		雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場） 仕様書 公共下水道事業 三原市本郷南二丁目 <div>仕 様 書</div>				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
本郷第2雨水ポンプ場耐水化工事 建築工事 一式 機械設備工事 一式 電気設備工事 一式							

特 記 仕 様 書

第 1 章 総則

第 1 節 適 用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷南二丁目 雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第 2 雨水ポンプ場）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和 5 年 8 月 （適用区分「広島」及び「広島県」）
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021 年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成 26 年度改訂版 三原市
 - ・その他各工種特記仕様書による。

第 2 節 部分引渡し

建設工事契約約款第 39 条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第 3 節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第 4 節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第 5 節 コリンズ (CORINS) への登録

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績データを作成し、発注機関確認担当者情報を入力した「事前確認のお願い」をコリンズから監督職員にメール送信し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、訂正時は適宜、コリンズに登録をしなければならない。

また、コリンズが発行する「登録内容確認書」は、コリンズ登録時に監督職員にメール送信される。

受注者は、登録作業及び内容確認については次のとおり対応する。

[1]受注者は、工事实績データの作成及び※発注機関確認担当者情報の入力後、コリンズ上で「メール送信で提出」を選択する。

[2]受注者は、[1]によりメール送信された「事前確認のお願い」について監督職員の確認を受ける。

[3]受注者は、コリンズから送信される、確認年月日を明記した「登録のための確認のお願い（監督職員が登録内容を承認した旨のメール）」を確認し速やかに、コリンズへ登録する。

[4]「登録内容確認書」については、コリンズから監督職員にメール送信されるため、受注者による提示は必要ないものとする。

第 6 節 週休 2 日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休 2 日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休 2 日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

第 7 節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第 8 節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書 1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次の URL を参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1

項、第 30 条第 1 項又は第 35 条第 1 項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第 21 条第 1 項、第 27 条第 1 項、第 28 条第 1 項又は第 40 条第 1 項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項
その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後 5 年間保存するものとする。

第 2 章 施工条件

第 1 節 工 程

- 1 本工事の施工において、工事順序・工程等についてあらかじめ監督員と協議、調整を行うこと。

第 2 節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第 3 節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8 時 3 0 分～ 1 7 時

工事中・後の処置 随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修等（工事前・後の写真により監督員と協議すること。）

第 4 節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m² 以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第 5 節 石綿使用の有無

受注者は、建築物・工作物等の解体・改修工事を行う際、石綿（アスベスト）の使用の有無の「事前調査」を行わなければならない。石綿障害予防規則に基づく一定規模以上の工事にあつては「事前調査結果の報告」を所轄労働基準監督局に届出を行わなければならない。

第 3 章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、

次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|-----------------------------------------------|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第4章 工事保険等

第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。

また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提示しなければならない。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第2節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第5章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。

また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

本 工 事 費 内 訳 書

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)						
		建築工事費		式	1.0			
		機械工事費		式	1.0			
		電気工事費		式	1.0			
		小計						
		消費税相当額	10%	式	1.0			
		本工事費						

特 記 仕 様 書

工事名称 雨水排水ポンプ場耐水工事（本郷第2雨水ポンプ場）
工事場所 三原市本郷南二丁目
工事内容 本郷第2雨水ポンプ場を耐水化する。

[工事概要]
(1)防水改修
(2)外壁改修
(3)内装改修
(4)躯体改修

準 則 公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 令和4年版 国土交通省官房官庁営繕部監修）下水道施設計画・設計指針と解説、その他関係法規に基づき施工する。

関係法令等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法、同施行令、同施行規則
- ・消防法、同施行令
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
- ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
- ・建設業法、同施行令、同施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・石綿障害予防規則
- ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
- ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。

別途工事の設計図書について、取り合いなどの整合を確認すること。

施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画面図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

留意事項

- ・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
- ・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・工事関係者等の作業に関わる全員については、周辺住民への心遣いとして挨拶を徹底すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法

等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。

- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をするこ
レ
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置するこ
レ
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者と確認すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算により責任を持って決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親網は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリートの調合は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿润養生を適切に行うこと。
- ・地盤改良工事や杭工事で、セメント系の材料を使用する場合は六価クロム溶出試験を行い、溶出量が土壤環境基準を満足するものを選定すること。六価クロム溶出試験費を見込む。材料は粉体の発塵抑制の配慮と六価クロムの溶出低減がなされたものを見込む。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日から10年間責任を負うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（A3縮小版・二つ折り）を3部提出すること。

本工事費内訳書(建築)

[illegible]

本工事費内訳書

平均価格(円)

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本郷第2雨水ポンプ場耐水化改修工事								
建築工事								
1	直接仮設			式	1.0			
2	防水改修			式	1.0			
3	外壁改修			式	1.0			
4	内装改修			式	1.0			
5	躯体改修			式	1.0			
6	運搬・処分費			式	1.0			
		直接工事費 計						[複合工費]

[illegible]

[illegible]

防水改修工事	3	1	降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。 〔3.1.3〕
	2	既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (※ M4S・M4S1・M4C・M4D1・L4X) ・ 行わない	〔3.1.4〕〔3.2.3、4、6〕
	3	既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 POS工法及びPOS工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4)(7)(g)①～③による 設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する	〔3.2.6〕
	4	アスファルト防水	屋根保護防水防水層の種類 工法 種別 施工箇所 断熱材 絶縁用シート 立上り部の保護 ・ P2A ・ A-1 ※ A-2 ※ A-3 ・ P1B ※ B-1 ※ B-2 ・ P2A1 ・ A1-1 ※ A1-2 ※ A1-3 ・ P1B1 ・ B1-1 ※ B1-2 〔材質〕 JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A (スキン層付き) (厚さ) (mm) ※25・50 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による厚さ (mm以上) 平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ てて仕上げ ※ 水 下 80mm以上 床タイル張り ※ 水 下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したものである。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものである。 (品質・性能) 分類・規格 ・ 窯業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様) ・ 窯業系パネルⅡ類 (一般地仕様) ・ 金属複合板 寸法 (mm) 厚さ (mm) 幅 (mm) 寸法の許容差 厚さ：+10%、-5%、幅：±1% 出荷時の含水率 出荷時において10%以下 曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) 標準時 550以上 450以上 300以上 凍結融解完了時 (試験サイクル数) 400以上 (300) 320以上 (200) 250以上 (300) 吸水率 (%) 20以下 20以下 1以下 吸水による長さ変化率 (%) 0.07以下 0.07以下 0.01以下 可燃性 不燃 不燃 表面は不燃 耐凍結融解性能 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 耐衝撃性能 質量500 (窯業系パネルⅠ類は1,000) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。 質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。 剛性 (E×1) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性) - - 80,000N・cm2以上	〔3.3.2～5〕

(試験方法)						
(1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。						
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。 (窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。						
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。						
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。						
(5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の繊維間隔が140mmになるように繊維を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて繊維間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平に直立して、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び繊維間の長さ(L2)を測る。 吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。 (ΔL)=(L2-L1)/L1×100 ΔL: 吸水による長さ変化率(%) L1: 乾燥時の繊維間の長さ(mm) L2: 吸水時の繊維間の長さ(mm)						
(6) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) 凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中での約2時間の凍結、20±3℃の水中での約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。						
(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。 試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1.000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、表面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。						
屋根露出防水 防水層の種類						
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
				種類 使用量		
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			・ ※製造所の仕様	・適用する	
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2			・ ※製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材(種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ)(mm) ※25・50	・ ※製造所の仕様	・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.7から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.3.8から表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)						
脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)						
屋根露出防水 絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示						
屋内防水						
工法	種別	施工場所	保護層			
・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2		・設ける ・設けない			
E-1の場合で工程3を行う部位(※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 保護層 設ける(※図示) 設けない						
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度						
屋上排水溝 ※図示						

改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 防水層の種類		[3 . 4 . 2 . 3]						
	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率の防 水	備考	
	・ M4S	・ AS-T1				種類	使用量 ※製造所 の仕様	・ 適用す る	
		・ AS-T2							
		・ AS-J2							
	・ M3AS	・ AS-T3					・ 適用す る	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けな 改修用ドレ ・ 設ける ・ 設けな	
		・ AS-T4							
		・ AS-J3							
	・ POAS	・ AS-J1					・ 適用す る	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けな 改修用ドレ ・ 設ける ・ 設けな 防湿層 ・ 設ける ・ 設けな	
	・ M3AS1	・ AS1-J1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) ※25mm ・ 50mm		・ 適用す る			
改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個) 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L 30×15×2.0mm程度 絶縁断熱工法の防水湿シート ・ 設置する ・ 設置しない									
[3 . 5 . 2 ~ 4] [表 3 . 5 . 1 ~ 3]									
防水層の種類									
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率の防 水	備考		
・ POS ・ SAS	・ S-F1				種類	使用量 ※製造所 の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けな 改修用ドレ ・ 設ける ・ 設けな	
	・ S-F2								
	・ S-M1								
	・ S-M2								
・ S3S	・ S-F1					・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けな		
	・ S-F2					・ 適用する			
・ MAS	・ S-M1					・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けな		
	・ S-M2					・ 適用する			
・ POS1 ・ S3S1 ・ SAS1 ・ MAS1	・ S1-F1					種類	使用量 ※製造所 の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けな 改修用ドレ ・ 設ける ・ 設けな
	・ S1-F2								
	・ S1-M1								
	・ S1-M2								
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※ 非歩行用 ・ 軽歩行用 S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置 ※ 設置しない ・ 設置する S1-M2の絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 ※ 接着工法 (立上り面のシートの厚さ ※ 1.5mm) ・ 機械的固定工法									

屋内防水		防水層の種類		保護層		
種別	施工箇所	平場のモルタル塗り			立上り部の保護モルタルの塗厚	
		塗厚	工法			
・ S-C1	・	・	・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り		※ 7mm以下	

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとせる場合の厚さ

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ

※ 改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による

・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ

用途による区分

材料構成による区分

※ R種

厚さ (mm以上)

固定金具の材質及び寸法形状

※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの

脱気装置の種類及び設置数量

接着工法の場合の脱気装置の種類

※ ルーフィングシートの製造所の仕様

・ 設ける

・ 設けない

改修用ドレン

・ 設ける

・ 設けない

接着工法の場合の脱気装置の設置数量

※ ルーフィングシートの製造所の仕様

・ (個)

プレキャストコンクリート部材の地目地処理 (接着工法の場合)

・ 行わない

・ 行わない

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、S1-Fの場合)

・ 行わない

・ 行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

1章 17 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

[3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
			種類	使用量		
・ POX	※ X-1 ・ X-2 ・ X-2H		※ 2成分アクリルウレタン樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ L4X	※ X-1 ・ X-2 ・ X-2H			※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
・ P1Y	※ Y-2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない
・ P2Y	※ Y-2					保護層 ・ 設ける ・ 設けない
X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類						
※ 主材料の製造所の仕様						
X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量						
※ 主材料の製造所の仕様						
・ (個)						

シーリング改修工法の種類

[3.7.2、3、3.7.7]

・ シーリング充填工法

・ シーリング再充填工法

・ 抵衝シーリング再充填工法

・ ブリッジ工法

ボンドブレイカー張り

・ 適用する

・ 適用しない

エッジング材張り

・ 適用する

・ 適用しない

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

仕上げを行わない施工箇所

・ 図示による

・ 打継目地

シーリング材の目地寸法

※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による

接着性試験

※ 簡易接着性試験

・ 引張接着性試験

といの材質

・ 配管用銅管

・ 硬質ポリ塩化ビニル管

・ ルーフドレン

・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)

[3.8.2、3]

ルーフトレン

種別	施工箇所
・ ろくろ型用 (・ 縦型 ・ 横型)	
・ バルコニー用	
・ バルコニー中継用	

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (本)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-2	縮尺	
図面名:	建築改修工事特仕仕		

工事名		雨水排水ポンプ場耐水化工事 (本郷第2雨水ポンプ場)	
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-2	縮尺	-
図面名: 建築改修工事特記仕様書(2)			
三原市			

10	アルミニウム製笠木	といて受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け関係 ※ 改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの 多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示 鋼管製の防露巻き ※ 改修標準仕様書表3.8.4による ・ たてどい受金物の取付け ※ 図示 ・ 種類 ・ オープン形式 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm) mm 表面処理 種類 () 種 色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 () 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 1章 17 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法
----	-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

防水改修フロー及び数量
・ 既存保護層の補修及び処置

防 水 面 調 査 (施 工 数 量 調 査)									
ひび割れ部補修		欠損部改修		浮き部補修		ざい弱部補修		既存目地欠損部補修	
アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)		Uカットのうえポリウレタン系シーリング材 (幅2mm以上)		ポリマーセメントモルタル補修		撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修		ケレン等のうえ、ポリマーセメントペースト補修	
0m		0m		0m		0m ²		0m ²	
アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)		Uカットのうえポリウレタン系シーリング材 (幅2mm以上)		ポリマーセメントモルタル補修		撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修		ケレン等のうえ、ポリマーセメントペースト補修	
0m		0m		0m		0m ²		0m ²	
アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)		Uカットのうえポリウレタン系シーリング材 (幅2mm以上)		ポリマーセメントモルタル補修		撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修		ケレン等のうえ、ポリマーセメントペースト補修	
0m		0m		0m		0m ²		0m ²	
アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)		Uカットのうえポリウレタン系シーリング材 (幅2mm以上)		ポリマーセメントモルタル補修		撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修		ケレン等のうえ、ポリマーセメントペースト補修	
0m		0m		0m		0m ²		0m ²	

シーリング改修			
シーリング再充填工法			
mm×mm	mm	mm×mm	mm
0m	0m	0m	0m

4-1	外壁改修工事（共通事項）	1	ポリマーセメントモルタル	(品質・性能) [4.2.2]
				項目 品質・性能
				だれ 下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生がないこと。
				曲げ強さ (N/mm ²) 6.0以上 圧縮強さ (N/mm ²) 20.0以上 接着強さ (N/mm ²) 標準条件 1.0以上 特殊条件 0.8以上 0.5以上 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。
2	ポリマーセメントスラリー			(品質・性能) [4.2.2]
				広がりが速度 (cm/s) 長さ変化率 (材齢28日) (%) 引張接着性 (N/mm ²) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)
				3以上 3以下 10.0%以上 0.5以上 5.0以上 5.0以上 5.0以上
				保水係数 0.35~0.55 粘弾係数 0.50~100
3	吸水調整材			改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.5]
				モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 [4.3.5]
				(品質・性能)
				項目 品質・性能 項目 品質・性能
4	既調合モルタル			保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1,800kg/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm ² 以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm ² 以上 ・ 温冷繰り返し後 0.40N/mm ² 以上
				(試験方法)
				(1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるのに要する材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。 繰り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら、30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料とする。
				(2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真ちゅう製リングを置く (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に貼込む。 その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交な方向の長さをもノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて式次により保水率を求める。 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの内径 mm
				(3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。
				(4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N=300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施の150角ユニットタイル

1	ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4、5、6、7] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/㎡) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 ・ 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 ・ 0.5以上1.0未満 ※70 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 ・ 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜き取りを行う ・ コア抜き取りの場合の回数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ コア抜き取りの場合の抜き取り部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
2	欠損部改修工法	※ 充填工法 [4.1.4] [4.2.4、8] ○ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・
1	ひび割れ部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.5、6、7、8] ※ 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (mL/㎡) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 ・ 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 ・ 0.5以上1.0未満 ※70 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 ・ 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 ・ 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜き取りを行う ・ コア抜き取りの場合の回数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ コア抜き取りの場合の抜き取り部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打ちし仕上げ外壁) による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による
2	欠損部改修工法	※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合) [4.1.4] [4.3.9、10] 充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 既製地材 ・ 使用する (形状 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示 ・
3	浮き部改修工法	※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11~16] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

4	外壁複合改修構工法	アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm ・ モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既製地材 ・ 使用する (形状 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示 ・ 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする
4-4	1	タイルの形状、寸法等 [4.4.5、8] タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 ・ JIS A 5557による一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系 タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 両主材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性 耐清 備考 箇所 (mm) の適用 1類 2類 3類 4類 5類 6類 7類 8類 9類 10類 11類 12類 13類 14類 15類 16類 17類 18類 19類 20類 21類 22類 23類 24類 25類 26類 27類 28類 29類 30類 31類 32類 33類 34類 35類 36類 37類 38類 39類 40類 41類 42類 43類 44類 45類 46類 47類 48類 49類 50類 51類 52類 53類 54類 55類 56類 57類 58類 59類 60類 61類 62類 63類 64類 65類 66類 67類 68類 69類 70類 71類 72類 73類 74類 75類 76類 77類 78類 79類 80類 81類 82類 83類 84類 85類 86類 87類 88類 89類 90類 91類 92類 93類 94類 95類 96類 97類 98類 99類 100類 101類 102類 103類 104類 105類 106類 107類 108類 109類 110類 111類 112類 113類 114類 115類 116類 117類 118類 119類 120類 121類 122類 123類 124類 125類 126類 127類 128類 129類 130類 131類 132類 133類 134類 135類 136類 137類 138類 139類 140類 141類 142類 143類 144類 145類 146類 147類 148類 149類 150類 151類 152類 153類 154類 155類 156類 157類 158類 159類 160類 161類 162類 163類 164類 165類 166類 167類 168類 169類 170類 171類 172類 173類 174類 175類 176類 177類 178類 179類 180類 181類 182類 183類 184類 185類 186類 187類 188類 189類 190類 191類 192類 193類 194類 195類 196類 197類 198類 199類 200類 201類 202類 203類 204類 205類 206類 207類 208類 209類 210類 211類 212類 213類 214類 215類 216類 217類 218類 219類 220類 221類 222類 223類 224類 225類 226類 227類 228類 229類 230類 231類 232類 233類 234類 235類 236類 237類 238類 239類 240類 241類 242類 243類 244類 245類 246類 247類 248類 249類 250類 251類 252類 253類 254類 255類 256類 257類 258類 259類 260類 261類 262類 263類 264類 265類 266類 267類 268類 269類 270類 271類 272類 273類 274類 275類 276類 277類 278類 279類 280類 281類 282類 283類 284類 285類 286類 287類 288類 289類 290類 291類 292類 293類 294類 295類 296類 297類 298類 299類 300類 301類 302類 303類 304類 305類 306類 307類 308類 309類 310類 311類 312類 313類 314類 315類 316類 317類 318類 319類 320類 321類 322類 323類 324類 325類 326類 327類 328類 329類 330類 331類 332類 333類 334類 335類 336類 337類 338類 339類 340類 341類 342類 343類 344類 345類 346類 347類 348類 349類 350類 351類 352類 353類 354類 355類 356類 357類 358類 359類 360類 361類 362類 363類 364類 365類 366類 367類 368類 369類 370類 371類 372類 373類 374類 375類 376類 377類 378類 379類 380類 381類 382類 383類 384類 385類 386類 387類 388類 389類 390類 391類 392類 393類 394類 395類 396類 397類 398類 399類 400類 401類 402類 403類 404類 405類 406類 407類 408類 409類 410類 411類 412類 413類 414類 415類 416類 417類 418類 419類 420類 421類 422類 423類 424類 425類 426類 427類 428類 429類 430類 431類 432類 433類 434類 435類 436類 437類 438類 439類 440類 441類 442類 443類 444類 445類 446類 447類 448類 449類 450類 451類 452類 453類 454類 455類 456類 457類 458類 459類 460類 461類 462類 463類 464類 465類 466類 467類 468類 469類 470類 471類 472類 473類 474類 475類 476類 477類 478類 479類 480類 481類 482類 483類 484類 485類 486類 487類 488類 489類 490類 491類 492類 493類 494類 495類 496類 497類 498類 499類 500類 501類 502類 503類 504類 505類 506類 507類 508類 509類 510類 511類 512類 513類 514類 515類 516類 517類 518類 519類 520類 521類 522類 523類 524類 525類 526類 527類 528類 529類 530類 531類 532類 533類 534類 535類 536類 537類 538類 539類 540類 541類 542類 543類 544類 545類 546類 547類 548類 549類 550類 551類 552類 553類 554類 555類 556類 557類 558類 559類 560類 561類 562類 563類 564類 565類 566類 567類 568類 569類 570類 571類 572類 573類 574類 575類 576類 577類 578類 579類 580類 581類 582類 583類 584類 585類 586類 587類 588類 589類 590類 591類 592類 593類 594類 595類 596類 597類 598類 599類 600類 601類 602類 603類 604類 605類 606類 607類 608類 609類 610類 611類 612類 613類 614類 615類 616類 617類 618類 619類 620類 621類 622類 623類 624類 625類 626類 627類 628類 629類 630類 631類 632類 633類 634類 635類 636類 637類 638類 639類 640類 641類 642類 643類 644類 645類 646類 647類 648類 649類 650類 651類 652類 653類 654類 655類 656類 657類 658類 659類 660類 661類 662類 663類 664類 665類 666類 667類 668類 669類 670類 671類 672類 673類 674類 675類 676類 677類 678類 679類 680類 681類 682類 683類 684類 685類 686類 687類 688類 689類 690類 691類 692類 693類 694類 695類 696類 697類 698類 699類 700類 701類 702類 703類 704類 705類 706類 707類 708類 709類 710類 711類 712類 713類 714類 715類 716類 717類 718類 719類 720類 721類 722類 723類 724類 725類 726類 727類 728類 729類 730類 731類 732類 733類 734類 735類 736類 737類 738類 739類 740類 741類 742類 743類 744類 745類 746類 747類 748類 749類 750類 751類 752類 753類 754類 755類 756類 757類 758類 759類 760類 761類 762類 763類 764類 765類 766類 767類 768類 769類 770類 771類 772類 773類 774類 775類 776類 777類 778類 779類 780類 781類 782類 783類 784類 785類 786類 787類 788類 789類 790類 791類 792類 793類 794類 795類 796類 797類 798類 799類 800類 801類 802類 803類 804類 805類 806類 807類 808類 809類 810類 811類 812類 813類 814類 815類 816類 817類 818類 819類 820類 821類 822類 823類 824類 825類 826類 827類 828類 829類 830類 831類 832類 833類 834類 835類 836類 837類 838類 839類 840類 841類 842類 843類 844類 845類 846類 847類 848類 849類 850類 851類 852類 853類 854類 855類 856類 857類 858類 859類 860類 861類 862類 863類 864類 865類 866類 867類 868類 869類 870類 871類 872類 873類 874類 875類 876類 877類 878類 879類 880類 881類 882類 883類 884類 885類 886類 887類 888類 889類 890類 891類 892類 893類 894類 895類 896類 897類 898類 899類 900類 901類 902類 903類 904類 905類 906類 907類 908類 909類 910類 911類 912類 913類 914類 915類 916類 917類 918類 919類 920類 921類 922類 923類 924類 925類 926類 927類 928類 929類 930類 931類 932類 933類 934類 935類 936類 937類 938類 939類 940類 941類 942類 943類 944類 945類 946類 947類 948類 949類 950類 951類 952類 953類 954類 955類 956類 957類 958類 959類 960類 961類 962類 963類 964類 965類 966類 967類 968類 969類 970類 971類 972類 973類 974類 975類 976類 977類 978類 979類 980類 981類 982類 983類 984類 985類 986類 987類 988類 989類 990類 991類 992類 993類 994類 995類 996類 997類 998類 999類 1000類 1001類 1002類 1003類 1004類 1005類 1006類 1007類 1008類 1009類 1010類 1011類 1012類 1013類 1014類 1015類 1016類 1017類 1018類 1019類 1020類 1021類 1022類 1023類 1024類 1025類 1026類 1027類 1028類 1029類 1030類 1031類 1032類 1033類 1034類 1035類 1036類 1037類 1038類 1039類 1040類 1041類 1042類 1043類 1044類 1045類 1046類 1047類 1048類 1049類 1050類 1051類 1052類 1053類 1054類 1055類 1056類 1057類 1058類 1059類 1060類 1061類 1062類 1063類 1064類 1065類 1066類 1067類 1068類 1069類 1070類 1071類 1072類 1073類 1074類 1075類 1076類 1077類 1078類 1079類 1080類 1081類 1082類 1083類 1084類 1085類 1086類 1087類 1088類 1089類 1090類 1091類 1092類 1093類 1094類 1095類 1096類 1097類 1098類 1099類 1100類 1101類 1102類 1103類 1104類 1105類 1106類 1107類 1108類 1109類 1110類 1111類 1112類 1113類 1114類 1115類 1116類 1117類 1118類 1119類 1120類 1121類 1122類 1123類 1124類 1125類 1126類 1127類 1128類 1129類 1130類 1131類 1132類 1133類 1134類 1135類 1136類 1137類 1138類 1139類 1140類 1141類 1142類 1143類 1144類 1145類 1146類 1147類 1148類 1149類 1150類 1151類 1152類 1153類 1154類 1155類 1156類 1157類 1158類 1159類 1160類 1161類 1162類 1163類 1164類 1165類 1166類 1167類 1168類 1169類 1170類 1171類 1172類 1173類 1174類 1175類 1176類 1177類 1178類 1179類 1180類 1181類 1182類 1183類 1184類 1185類 1186類 1187類 1188類 1189類 1190類 1191類 1192類 1193類 1194類 1195類 1196類 1197類 1198類 1199類 1200類 1201類 1202類 1203類 1204類 1205類 1206類 1207類 1208類 1209類 1210類 1211類 1212類 1213類 1214類 1215類 1216類 1217類 1218類 1219類 1220類 1221類 1222類 1223類 1224類 1225類 1226類 1227類 1228類 1229類 1230類 1231類 1232類 1233類 1234類 1235類 1236類 1237類 1238類 1239類 1240類 1241類 1242類 1243類 1244類 1245類 1246類 1247類 1248類 1249類 1250類 1251類 1252類 1253類 1254類 1255類 1256類 1257類 1258類 1259類 1260類 1261類 1262類 1263類 1264類 1265類 1266類 1267類 1268類 1269類 1270類 1271類 1272類 1273類 1274類 1275類 1276類 1277類 1278類 1279類 1280類 1281類 1282類 1283類 1284類 1285類 1286

19	ガラス	<div>・ふすま張りの種類（Ⅰ型・Ⅱ型） 上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 ・縁仕上げ ・垂り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（クレタックリヤー塗装） ・見込み表による ・戸がすま ・見込み寸法 ・建具表による ・紙張り障子 ・見込み寸法 ・建具表による ・枠の材料 ・木製枠（6章内装改修工事による） ・鋼製枠（※重詰めつき鋼板） ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板） ・くつずりの材料 ・ステンレス鋼板 ・木製（3.7、5.13.2～4）（図5.14.1） 下記ガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※下記以外は建具表による 材料板ガラスの種類、組合せ ・フロート板、フロート板合わせガラス 材料板ガラスの種類、組合せ ・I類 ・Ⅱ～Ⅲ類 ・Ⅱ～Ⅲ類 強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類による名称 材料板ガラス 破片の状況及びにショットバック衝撃特性による種類 ・フロート強化ガラス ・フロート板ガラス ・I類 ・Ⅲ類 熱縮吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 性能による種類 色調 ・熱縮吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・グリーン ・熱縮吸収網入り磨き板ガラス 複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※下記以外は建具表による 断熱性による区分 乾燥気体の種類 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 ・空気 ・アルゴン 日射取得性、日射遮蔽性による区分 乾燥気体の種類 ・G ・S ・空気 ・アルゴン 熱縮反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 日射熱遮蔽性による区分 耐久性による区分 色調（ブルー・グレー） ・1種 ・2種 ・A類 ・B類 ・3種 ・B類 反射皮膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ（mm） アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具の製造所の仕様による 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 樹脂製 ※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具の製造所の仕様による 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [5.14.5] 表面 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅（mm） 伸縮調整目地 防火性能 形状 （mm） ・正方形 ・180×180 ・95 ・125 ・200×200 ・95 ・125 ・3～15 ・外側 ※標準仕様書5.14.5(2)(イ)② ・内側 ※標準仕様書5.14.5(2)(イ)② ・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※図示 石膏 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（シーリングの種類） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 工法 1章 適用区分による風圧力の（1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ※図示 種類 記号 内張り用 外張り用 ・SC-1 ・SC-2 日射遮へい性能による区分 ・A ・B ・C ・D ・E ・低放射フィルム LE 熱遮断率による区分 ・A ・B ・C ・D ・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・GI-1 ・GI-2 ・相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・GD-1 ・GD-2 ガラスの貫通防止性能による区分 ・A ・B 品質 JIS A 5759による</div>
20	ガラスブロック積み	
21	ガラス用フィルム	

⑥	①	他の部位との取り合い等	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ※ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ※ 図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ※ 図示
	②	既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ・ 下地モルタルとも（※ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目貫し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。
	3	既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り（仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示 ・ ）
	4	製材	ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(イ)による ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材
			施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級以上 ・1級 ※1類 ・2類 ※0-D以上 ・1等 針葉樹 ※0-D以上 ・
			※2級 ・ ※2級 ・ ※A種・B種 ・ ※A種・B種 ・
			・ JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 見え掛り面 ※小節 ・ ※A種・B種 ・ 見え掛り面以外 ※小節以上 ・ ※A種・B種 ・
			・ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※1等 ・ ※10%以下 ・A種 ・B種 ・ ※1等 ・ ※10%以下 ・A種 ・B種 ・
			・ JAS 1083（製材）以外の製材 施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 （ ） 造作材の場合 （※A種・B種） ・適用する ・適用しない ※A種 ・B種 ・
	5	造作用集成材	ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(イ)による ・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等 ・2等 ・
			・ 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 品名 樹種名 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面 見付け材面の品質 間伐材等の適用 化粧薄板： 芯材： ※1等 ・2等 ・
			・ 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ・
			・ 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 化粧薄板： 芯材： ※15%以下 ・
	6	造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(イ)による ・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・有り（加工：天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級： ） ・適用する ・適用しない ※14%以下 ・
			・ JAS 0701以外の造作用単板積層材 施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 ・有り（加工：天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（ ） ・適用する ・適用しない ※14%以下 ・
			・ JAS 3079に基づく直文集積板 施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能（使用環境） 樹種名 寸法 (mm) 間伐材等の適用 ・ ・ ・ ・ ・ ・

7	合板等	[6. 5. 2]											
		ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(イ)(ロ)による											
		・ 普通合板											
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等 の適用					
			※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・1等	・適用する ・適用しない					
		・ 構造用合板											
		施工箇所	等級	単板の 樹種名	接着の 程度	板面の 品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等 の適用			
			※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D 以上	※12	・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない				
		・ 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板											
		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度			防虫処理	間伐材等 の適用				
					※1類 ・特類			・適用する ・適用しない					
		・ 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板											
		施工箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度			防虫処理	間伐材等 の適用				
					※1類 ・2類			・適用する ・適用しない					
・ 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板													
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等 の適用							
			※1類 ・2類			・適用する ・適用しない							
・ パーティクルボード													
施工箇所	表裏面の状態 による区分			曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)						
				※13タイプ	・	※P又はM	・	※15					
・ JAS 0360に基づく構造用パネル													
施工箇所	等級						寸法 (mm)						
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級												
・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)													
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤に よる区分	難燃性 による区分	間伐材等 の適用							
8	接合具等	造作材の化粧面の釘打ち [6. 5. 3]											
		※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物 (※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質:)											
9	防菌・防蟻処理	・ 薬剤の加圧注入による防菌防蟻処理 [6. 5. 5]											
		適用部材		保存処理性能区分									
				・ K2 ※ K3 ・ K4 ・ K2 ※ K3 ・ K4 ・ K2 ※ K3 ・ K4									
		・ 薬剤の塗布等による防菌、防蟻処理											
適用部材		処理の方法			薬剤の種類								
		※ 薬剤の製造所の仕様による			※ JIS K 1571に適合又は同等品								
10	内部間仕切り軸及び床組み	・ 薬剤の接着剤への混入による防菌、防蟻処理											
		適用部位 ()											
		・ 合板等の加圧注入処理等の適用											
		適用部位 ()											
11	窓、出入口その他	・ 間仕切軸組に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 6]											
		※杉又は松											
		・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)											
12	窓、出入口その他	・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6. 5. 7]											
		※杉元竹、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松											
13	床板張り	・ 縁甲板及び上がりこまに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 8]											
		※ひのき											
14	壁及び天井下地	・ 壁脚縁、野縁受様、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) [6. 5. 9]											
		※杉又は松											
14	軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6. 6. 2～4]											
		屋外 (※ 25形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形)											
		・ 屋外の軒天井、ビロティ天井等											
		工法											
		1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法											
		野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ・ 図示											
		周辺部の端からの間隔 ・ 図示											
		野縁の間隔 ・ 図示											
		既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない											
		あと施工アンカーの施工後の確認試験											
		・ 行う (試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所)											
		(確認強度 ※改修標準仕様書6.4(1)(イ)による)											
		・ 行わない											
		・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合											
補強方法 ※ 図示													
・ 天井のふところ高が3.0mを超える場合													
補強方法 ※ 図示													
・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強													
補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 ・ 図示													
補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3第2項第2号に適合させる。													
・ 図示													
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による													

15	軽量鉄骨壁下地	[6.7.3.4][表6.7.1] スタッド、ランナの種類 ※ 改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ※ 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書6.7.4.(5)による
16	ビニル床シート	[6.8.2.3] 種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ F S ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 植物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性 ※目地処理（工法 ※ 熱溶接工法 ・） ・ 突付け（施工箇所： ） 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10 ¹⁰ ～1×10 ¹¹ Ω程度 ・
17	ビニル床タイル	[6.8.2] 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ K T ・ T T ・ F T ・ F O A ・ F O B ・ 無地 ・ 300×300 ・ 帯電防止 ・ 2.0 ・ 450×450 ・ 防汚性 ・ 2.5 ・ 500×500 ・ 3.0
18	接着剤	[6.5.3.4][6.8.2][6.9.3][6.11.4.5] 接着剤は可塑性（難揮発性の可塑性を除く）が追加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示
19	ビニル幅木	[6.8.2] 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上
20	ゴム床タイル	[6.8.2] 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 （ ） 厚さ (mm) ※ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) （ ）
21	カーペット敷き	[6.9.2.3][表6.9.1] ・ 織じゅうたん 織り方 バイルの形状 帯電性 備考 ・ ウィルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクシミターカーペット ・ カット、ループ併用 ・ カット、バイル ・ カット、バイル ・ ルーフバイル ・ カット、ループ併用 色柄 ※模様のない無地 ・ 無地の織りじゅうたんの種類（A種 ・ B種 ・ C種） 織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり縫い ・ タフテッドカーペット バイルの形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・ カットバイル ・ 5～7 ・ ※ 全面接着工法 ・ 適用する ・ ルーフバイル ・ 4～6 ・ ※ グリッパ工法 ・ 適用しない ・ カット、ループ併用 ・ タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ ・ タイルカーペット バイルの形状 種類 施工箇所 寸法 (mm) 総厚さ (mm) 備 考 ※ ルーフバイル ※ 第一種 ・ 第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ カットバイル ・ 第一種 ・ 第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 ・ カット、ループ併用 ・ 第一種 ・ 第二種 ※ 500×500 ※ 6.5 タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ タイルカーペットの敷き方 平 場 ※ 市松敷き ・ 模様流し ・ 平 場 ※ 市松敷き ・ 模様流し ・ 階段部分 ※ 模様流し ・ 市松敷き 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示 ・ 下敷き材 ※ 反毛フェルト（JIS L 3204） の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場）		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-5	縮尺	-
図面名： 建築改修工事特記仕様書（5）			
三原市			

22	合成樹脂塗床	<table><tr><th colspan="5">〔 6. 1. 0. 2.、3 〕</th></tr><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>工法</th><th colspan="2">仕上げの種類</th></tr><tr><td>・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床</td><td></td><td></td><td>※ 平滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td><td>・ 防滑仕上げ</td></tr><tr><td>・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床</td><td></td><td>・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法</td><td>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</td><td></td></tr><tr><td>・ 薄膜型塗床材</td><td></td><td></td><td>※ 平滑仕上げ</td><td></td></tr></table> <p>塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p> <p>材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0. 2 5 k /㎡以上とする 仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ) (※ 標準色 ・) JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</p>	〔 6. 1. 0. 2.、3 〕					種別	施工箇所	工法	仕上げの種類		・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床			※ 平滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ 防滑仕上げ	・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ		・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ		23	防じん用塗床																																																																																																																																																																																																																																			
〔 6. 1. 0. 2.、3 〕																																																																																																																																																																																																																																																																
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 厚膜型塗床材 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗床			※ 平滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ 防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 厚膜型塗床材 ・ エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																													
24	フローリング張り	<table><tr><th colspan="5">〔 6. 1. 1. 2～6 〕</th></tr><tr><th colspan="5">単層フローリング</th></tr><tr><th>種類</th><th>工法</th><th>樹種</th><th>厚さ (mm)</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td>・ フローリングボード1等</td><td>・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)</td><td>※ なら ・</td><td>15 ・</td><td>・</td></tr><tr><td>・ フローリングブロック1等</td><td>・ 接着工法</td><td>※ なら ・</td><td>・ 8 ・ 15 ・</td><td>・</td></tr></table> <p>複合フローリング</p> <table><tr><th>種類</th><th>工法</th><th>樹種</th><th>種別</th><th>厚さ (mm)</th><th>間伐材等の適用</th></tr><tr><td>・ 天然木化粧複合フローリング</td><td>・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)</td><td>※ なら ・</td><td>・ A種 ・ B種 ※ C種</td><td>・ 15 ・ ・ 12 ・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・ 接着工法</td><td>※ なら ・</td><td>・ A種 ・ B種 ※ C種</td><td>・ 12 ・ ・ 12 ・</td><td>・</td></tr></table> <p>フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 改修標準仕様書6. 11. 2(2)による 各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ 接着工法の場合の裏面繊維材 ※ 合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う ※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワックス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 行わない</p>	〔 6. 1. 1. 2～6 〕					単層フローリング					種類	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用	・ フローリングボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら ・	15 ・	・	・ フローリングブロック1等	・ 接着工法	※ なら ・	・ 8 ・ 15 ・	・	種類	工法	樹種	種別	厚さ (mm)	間伐材等の適用	・ 天然木化粧複合フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら ・	・ A種 ・ B種 ※ C種	・ 15 ・ ・ 12 ・	・		・ 接着工法	※ なら ・	・ A種 ・ B種 ※ C種	・ 12 ・ ・ 12 ・	・	25	畳敷き	<table><tr><th colspan="5">〔 6. 1. 2. 2 〕</th></tr><tr><td>種別</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ※D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ※KT-III ・ KT-K ・ KT-M)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下地の種類</td><td>・ 標準仕様書表12. 6. 11による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 衝撃緩和性能 (畳表: ・ G1 ・ G2)</p>	〔 6. 1. 2. 2 〕					種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ※KT-III ・ KT-K ・ KT-M)				下地の種類	・ 標準仕様書表12. 6. 11による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)				26	せっこうボードその他ボード及び合板張り	<table><tr><th colspan="5">〔 6. 1. 3. 2.、3 〕</th></tr><tr><td colspan="5">MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆</td></tr><tr><td colspan="5">合板のホルムアルデヒド放数量 ※標準仕様書19. 7. 2(2) (イ)の(a)～(d)のいずれか</td></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm)、規格等</th><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 硬質木毛セメント板</td><td>HW</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 中質木毛セメント板</td><td>MW</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 普通木毛セメント板</td><td>NW</td><td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 硬質木片セメント板</td><td>HW</td><td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 普通木片セメント板</td><td>NW</td><td>・ 30 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ けい酸カシウム板</td><td>0. 8FK 1. 0FK</td><td>タイプ2 (床石綿) ・ 6 ・ 8</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ロックウール化粧吸音板</td><td>DR</td><td>・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ロックウール吸音ボード1号</td><td>RW-B</td><td>・ 25 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ グラスウール吸音ボード32K</td><td>GW-B</td><td>・ 25 (ガラスクロス包) ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ せっこうボード</td><td>GB-R ※ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 不燃積層せっこうボード</td><td>GB-NC 9. 5 (不燃) 化粧紙 (下地張り用) 化粧紙 (トラバーチン模様)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ シーゾングせっこうボード</td><td>GB-S 12. 5 (※不燃 ・ 準不燃)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 強化せっこうボード</td><td>GB-F ・ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ せっこうラスボード</td><td>GB-L 9. 5</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 化粧せっこうボード (木目)</td><td>GB-D 12. 5 (不燃) 幅 440mm 程度</td><td>模様 (・ 板目 ・ 板目) 専用下地材有り</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td><td>GB-D 9. 5 (準不燃)</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 普通合板</td><td></td><td>表板の樹種名 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り (※ 1等程度 ・) 板面の品質 (・) 厚さ (mm) (・) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 天然木化粧合板</td><td></td><td>樹種名 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) (・) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 特殊加工化粧合板</td><td></td><td>化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・) タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) (・) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ メラミン樹脂化粧板</td><td></td><td>JIS K 6903 による厚さ (・ ※ 1. 2 ・)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ポリエステル樹脂化粧板</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ ミディアムデンシティファイバーボード</td><td>MDF</td><td>・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 単板張り</td><td></td><td>・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ パーティクルボード</td><td></td><td>・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・</td><td></td><td></td></tr></table>	〔 6. 1. 3. 2.、3 〕					MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆					合板のホルムアルデヒド放数量 ※標準仕様書19. 7. 2(2) (イ)の(a)～(d)のいずれか					種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等			・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・			・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・			・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・			・ 硬質木片セメント板	HW	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・			・ 普通木片セメント板	NW	・ 30 ・			・ けい酸カシウム板	0. 8FK 1. 0FK	タイプ2 (床石綿) ・ 6 ・ 8			・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)			・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25 ・			・ グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・ 25 (ガラスクロス包) ・			・ せっこうボード	GB-R ※ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)				・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC 9. 5 (不燃) 化粧紙 (下地張り用) 化粧紙 (トラバーチン模様)				・ シーゾングせっこうボード	GB-S 12. 5 (※不燃 ・ 準不燃)				・ 強化せっこうボード	GB-F ・ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)				・ せっこうラスボード	GB-L 9. 5				・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D 12. 5 (不燃) 幅 440mm 程度	模様 (・ 板目 ・ 板目) 専用下地材有り			・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D 9. 5 (準不燃)				・ 普通合板		表板の樹種名 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り (※ 1等程度 ・) 板面の品質 (・) 厚さ (mm) (・) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)			・ 天然木化粧合板		樹種名 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) (・) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)			・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・) タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) (・) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)			・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ (・ ※ 1. 2 ・)			・ ポリエステル樹脂化粧板					・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・			・ 単板張り		・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS			・ パーティクルボード		・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・			27	壁紙張り	<table><tr><th colspan="5">〔 6. 1. 4. 2.、3 〕</th></tr><tr><th>施工箇所</th><th colspan="3">壁紙の種類</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>紙</td><td>繊維</td><td>プラスチック</td><td>無機質その他</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> <p>モルタル・せっこうプラスター面の素地ごしえの種別 ※ B種 ・ コンクリート面の素地ごしえの種別 ※ B種 ・ せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしえの種別 ※ B種 ・</p> <p>〔 6. 1. 5. 3.、5.、6 〕</p> <p>モルタル ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 (・) 形状 (※ 図示 ・) ・ 設けない</p> <p>床の目地 ・ 設ける (目地割り ※ 2 m2程度 (最大目地間隔3 m程度 ・) (種類 ※ 押し目地 ・) ・ 設けない</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理 ・ 図示による</p> <p>建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能) (試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による</p> <table><tr><th>項目</th><th>品質・性能</th></tr><tr><td>防水剤の種類</td><td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td></tr><tr><td>混合割合</td><td>セメント重量の5%以下</td></tr><tr><td>凝結及び安定性</td><td>(凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。</td></tr><tr><td>曲げ及び圧縮強度比</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比: 70%以上</td></tr><tr><td>吸水比</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの吸水比: 95%以下</td></tr><tr><td>透水性</td><td>防水剤を混入したもの、しないものの透水性: 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3. 0×10 Paと1時間行う</td></tr></table>	〔 6. 1. 4. 2.、3 〕					施工箇所	壁紙の種類			備考		紙	繊維	プラスチック	無機質その他		・	・	・	・		・	・	・	・		・	・	・	・	項目	品質・性能	防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下	凝結及び安定性	(凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。	曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比: 70%以上	吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比: 95%以下	透水性	防水剤を混入したもの、しないものの透水性: 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3. 0×10 Paと1時間行う	28	モルタル塗り	
〔 6. 1. 1. 2～6 〕																																																																																																																																																																																																																																																																
単層フローリング																																																																																																																																																																																																																																																																
種類	工法	樹種	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																												
・ フローリングボード1等	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら ・	15 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																												
・ フローリングブロック1等	・ 接着工法	※ なら ・	・ 8 ・ 15 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	工法	樹種	種別	厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 天然木化粧複合フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら ・	・ A種 ・ B種 ※ C種	・ 15 ・ ・ 12 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ 接着工法	※ なら ・	・ A種 ・ B種 ※ C種	・ 12 ・ ・ 12 ・	・																																																																																																																																																																																																																																																											
〔 6. 1. 2. 2 〕																																																																																																																																																																																																																																																																
種別	・ A種 ・ B種 ・ C種 ※D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ※KT-III ・ KT-K ・ KT-M)																																																																																																																																																																																																																																																															
下地の種類	・ 標準仕様書表12. 6. 11による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)																																																																																																																																																																																																																																																															
〔 6. 1. 3. 2.、3 〕																																																																																																																																																																																																																																																																
MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆																																																																																																																																																																																																																																																																
合板のホルムアルデヒド放数量 ※標準仕様書19. 7. 2(2) (イ)の(a)～(d)のいずれか																																																																																																																																																																																																																																																																
種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 硬質木片セメント板	HW	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 普通木片セメント板	NW	・ 30 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ けい酸カシウム板	0. 8FK 1. 0FK	タイプ2 (床石綿) ・ 6 ・ 8																																																																																																																																																																																																																																																														
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・)																																																																																																																																																																																																																																																														
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 25 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・ 25 (ガラスクロス包) ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ せっこうボード	GB-R ※ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC 9. 5 (不燃) 化粧紙 (下地張り用) 化粧紙 (トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																																																																															
・ シーゾングせっこうボード	GB-S 12. 5 (※不燃 ・ 準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 強化せっこうボード	GB-F ・ 12. 5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																															
・ せっこうラスボード	GB-L 9. 5																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D 12. 5 (不燃) 幅 440mm 程度	模様 (・ 板目 ・ 板目) 専用下地材有り																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D 9. 5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 普通合板		表板の樹種名 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り (※ 1等程度 ・) 板面の品質 (・) 厚さ (mm) (・) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 天然木化粧合板		樹種名 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) (・) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 (・) タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) (・) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)																																																																																																																																																																																																																																																														
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による厚さ (・ ※ 1. 2 ・)																																																																																																																																																																																																																																																														
・ ポリエステル樹脂化粧板																																																																																																																																																																																																																																																																
・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
・ 単板張り		・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS																																																																																																																																																																																																																																																														
・ パーティクルボード		・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・																																																																																																																																																																																																																																																														
〔 6. 1. 4. 2.、3 〕																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	壁紙の種類			備考																																																																																																																																																																																																																																																												
	紙	繊維	プラスチック	無機質その他																																																																																																																																																																																																																																																												
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																												
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																												
	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																												
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																																																															
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																																																																																																																																																															
混合割合	セメント重量の5%以下																																																																																																																																																																																																																																																															
凝結及び安定性	(凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内 (安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。																																																																																																																																																																																																																																																															
曲げ及び圧縮強度比	防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比: 70%以上																																																																																																																																																																																																																																																															
吸水比	防水剤を混入したもの、しないものの吸水比: 95%以下																																																																																																																																																																																																																																																															
透水性	防水剤を混入したもの、しないものの透水性: 80%以下 ただし、透水試験における水圧は、3. 0×10 Paと1時間行う																																																																																																																																																																																																																																																															
29	タイル張り	<table><tr><th colspan="3">〔 6. 1. 6. 2～4 〕</th></tr></table>	〔 6. 1. 6. 2～4 〕																																																																																																																																																																																																																																																													
〔 6. 1. 6. 2～4 〕																																																																																																																																																																																																																																																																

[illegible]

9	床点検口	材種	寸法 (mm)	形式	備考		
		・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ※ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き	
		密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)					
		部材名	材質	屋内外用		屋内用	
		受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	
			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度			
			鋼製	—		標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
		二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200			
		目地材	その他	塩化ビニル樹脂製等			
			黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604			
			ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304			
		底板材コーナースペース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304		JIS G 4305のSUS430	
			アルミニウム板	JIS H 4000 (A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)		—	
			鋼材	—		鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
		10	手すり	パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等特の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの		
アンカー材 取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする						
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開設は、鍵又は開閉用ハンドル式とする						
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の孔孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。						
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返し返す。							
材質	表面仕上げ			直径 (mm)	取付箇所		
・ 集成材	・ クリアラッカー			・ 35 ・ 45			
・ ステンレスパイプ	・ HL程度						
・ 鋼製パイプ	・ SOP ・ EPG						
・ ビニル製ハンドレール							
11	天井見切り縁等			壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ※ アルミニウム既製品 ・ ビニル既製品			
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)			(1.1.2.2、1.9.2.2)			
				施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
				屋内	・ 塩化ビニル製	※ 300×300	・ 7.0
		・ セラミックタイル	※ 300×300		・		
		・ レジンコンクリート製	※ 300×300		・		
屋外	・ コンクリート製						
	・ セラミックタイル	※ 300×300	・				
	・ レジンコンクリート製	※ 300×300	・				
・ コンクリート製							
突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による							
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)					
		種類の記号	呼び名	備考			
		※ SD295A	※ D16以下				
		※ SD345	※ D19以上				
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)					
		種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考			
		※ 溶接金網					
		・ 鉄筋格子					
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)					
		鉄筋の継手の方法等 ※ 重ね継ぎ手 鉄筋の重ね継手の長さ ※ 40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継手の長さのうち大きい値とする 鉄筋の定着長さ ※ 柱に取り付ける梁の引っ張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による 機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 種類 ・ 図示による ・ 摩擦圧接接合 ・ 嵌合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定					

16	コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 2. 1～4) ※ 普通コンクリート		
		設計基準強度 (F c) [N/mm2]	スランプ (cm)	適用箇所
		※ 24 ○ 21	※ 標準仕様書表6.2.2による ・	※ コンクリート全て (無筋コンクリートを除く) ・
17	セメント	種類 (6. 3. 1) ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種		
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 8. 2) せき板の材料 ※ 合板 厚さ (※ 12mm ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m h℃/k C a l 以上		
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 14. 1)		
		種 類	設計基準強度 (F c) [N/mm2]	スランプ (mm)
		※ 普通コンクリート	※ 18 ・	※ 標準仕様書6.14.1(4)(7)～(h)による ・
		種類 ※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種		
20	床コンクリート 直均し仕上げ	(8. 1. 4) (表8. 1. 5) 仕上げの平たんさは、図示以外は下記による 改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類		
		a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア (重敷式) ()	
		b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベルング材塗り ()	
		c種	タイル張り、モルタル張り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ()	
21	あと施エアンカー	(14. 1. 3) 6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施エアンカー施工後の確認試験 ※ 行う ・ 行わない		
22	トイレブース	(20. 2. 5)		
		表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 材質
		※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ・	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材
		(品質・性能) (1) パネル		
		項目	品質・性能	
		表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	
		裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	
		心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	
		枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	
		エッジ材	処理を施した材料とする。	
		小口	防水処理を施す。	
		(2) 構造金物		
		項目	品質・性能	
		脚部 (脚具、幅木)	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L、 SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	
		(3) 付属金物		
		項目	品質・性能	
		ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	
		ラッチセット		
		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	
		(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。		
		(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性		
		項目	品質・性能	
			耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかけ性
		メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—
		低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧合板、ポリエステル樹脂系化粧M D F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。	
		ポリエステル樹脂系加工化粧合板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧合板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧合板に示された耐引っかけ性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。
		ポリエステル樹脂系化粧M D F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。	
		ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。	
		(試験方法) (1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。 (2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上		

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-8	縮尺	-
図面名: 建築改修工事特記仕様書(8)			
三 原 市			

建築非構造部材の耐震性能に係る標準的な特記事項			RC壁に設置する特定窓等及び避難経路の扉			その他の建築非構造部材			20章 フリーアクセスフロアの特記事項による		
建築設計基準	項目	特記事項	扉	特定窓等及び避難経路の扉	A D S S D	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア			
外壁	横壁	CW(メタルP C a)									
		CW工事 取付方法、性能等									
		地震力に対する安全性									
		設計用震度 設計用水平震度 (K H) ※ 1. 0 設計用鉛直震度 (K V) ※ 0. 5									
A L Cパネル		構造体の層間変形に対する追従性									
		層間変形角									
		層間変形角1/300に対して、ほとんど補修の必要がなく、継続使用に耐えること。									
		外壁パネルの耐震性									
押出成形セト板 (E C P)		地震力に対する安全性									
		設計用震度 設計用水平震度 (K H) ※ 1. 0 設計用鉛直震度 (K V) ※ 0. 5									
		構造体の層間変形に対する追従性									
		層間変形角									
外壁	仕上げ	石工事									

工 事 名				雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場）			
工事場所				三原市 本郷南二丁目			
図面番号		A-9		縮尺		-	
図面名： 建築改修工事特記仕様書(9)							
三 原 市							

特記仕様書(構造関係)

⑧耐震改修工事
共通事項

①適用範囲

※改修標準仕様書 8章 耐震改修工事
○改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分

工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨プレースの設置工事
・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
○(耐水化改修工事に伴う鉄筋コンクリート部分)

②既存部分の処理等

既存構造体の撤去 [8. 21. 2][8. 22. 2][8. 23. 2][8. 24. 4][8. 25. 2]
撤去範囲
※構造図による
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
※露出部分は、鎮止め塗料塗りを行う
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲 [8. 21. 3][8. 22. 3][8. 23. 3]
既存柱、梁面
※打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。
・構造図による
既存壁
※打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。
・構造図による
既存杭の撤去等 [8. 28. 2]
・撤去範囲及び撤去方法 ※構造図による

①鉄筋

鉄筋の種類等 [8. 2. 1]

種類の記号	呼 び 名	備 考
※ S1235	※ D16以下	
※ S1345	※ D19以上	
・		
・		

2溶接金網

鉄筋の形状等 [8. 2. 2]

種 類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使 用 部 位
※ 溶接金網		φ6 100x100	
・ 鉄筋格子			

③鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等 [8. 3. 4][8. 4. 2. 3]

部 位	継 手 方 法	呼 び 名
柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手	
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手 ・	
その他の鉄筋 (H立上り 等) ○ 重ね継手 ・		

継手位置 [8. 3. 4]
※構造図による
・柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
※構造図による
耐力壁の重ね継手の長さ
※改修標準仕様書 8. 3. 4 (3) (7) による
・改修標準仕様書 表8. 3. 2
鉄筋の定着長さ [8. 3. 4]
※改修標準仕様書 8. 3. 4 (5) . (6) による
・構造図による
機械式定着工法
・適用する
適用箇所
・図示による () ・
種類
・摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定
・嵌合グラウト固定
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

④鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)

最小かぶり厚さ [8. 3. 5]
※改修標準仕様書 表8. 3. 6による
・軽量コンクリートを適用する場合
適用箇所 ()
・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm
・耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等)
適用箇所 ()
・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm

5圧接完了後の圧接部の試験

⑥機械式継手

超音波探傷試験 [8. 3. 8]
※行う (全圧接部)

適用箇所
※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
※A級 ・ ()
種類 [8. 4. 2]
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
試験の箇所数
1ロットに対して () 箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による
不合格となった場合の措置 (5. 5. 5)
・

7溶接継手

適用箇所
※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
※A級 ・ ()
溶接継手の工法 [8. 4. 3]
・図示による () ・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5. 3. 5 (4) による
・評定等の評価内容による
・図示による ()
施工完了後の溶接部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波探傷試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする。
試験の箇所数
1ロットに対して () 箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準) による
不合格となった場合の措置 (5. 6. 5)
・

8割製補強筋

仕 様 [8. 21. 6][8. 22. 7]
形状
・スバイラル筋 ・ ()
種類の記号
・SR235またはSWM-P ・ ()
呼び径、曲げ直径、ピッチ
・図示による

⑧-2コンクリート工事

①コンクリートの種類

コンクリートの類別 [8. 1. 3]
※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

②コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

※普通コンクリート [8. 1. 3. 4][8. 2. 5]

設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適 用 箇 所
・24 ○21	○改修標準仕様書表8. 1. 2による	2. 3程度	構造図による

構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8. 2. 4による ・構造図による

・軽量コンクリート [8. 1. 3. 4][8. 2. 5][8. 9. 2]

設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	種類	適 用 箇 所
・ ・	※21 ・	・ ・	・1種 ・2種	構造図による

構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8. 2. 4による ・構造図による

③セメント

種 類 [8. 2. 5]
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J / g 以下、かつ28日目で 402 J / g 以下のものとする
・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 ()
・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()

④骨 材

アルカリシリカ反応性による区分 [8. 2. 5]
※A ・B

⑤混和材料

○混和剤 [8. 2. 5]
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8. 2. 5 (4) (a) による ・構造図による

6構造体用モルタル

圧縮強度 ()
フロー値 () [8. 2. 6]

7暑中コンクリート

構造体強度補正值 ※6N/mm² ・構造図による [8. 10. 2]

8マスコンクリート

適用箇所
※構造図による
セメントの種類 (6. 13. 1)
・普通ポルトランドセメント
・中熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 [G]
・フライアッシュセメントB種 [G]
・シリカセメント
・ ()
混和材料 (6. 13. 2)
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6. 13. 2 (2) (ア) による
・構造図による
・混和材 (6. 13. 2)
混和材の種類
※標準仕様書6. 13. 2 (2) (イ) による
・構造図による
スラブ (6. 13. 2)
※15cm ・ () cm
構造体強度補正值 ※標準仕様書表6. 13. 1による ・構造図による

9無筋コンクリート

コンクリートの種類
※普通コンクリート ・ () [8. 11. 1]
設計基準強度
※18N/mm² ・ () N/mm² [8. 11. 1]
スラブ
※15cm又は18cm ・ () cm
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種 [G]
・フライアッシュセメントB種 [G]
適用箇所
※構造図による (6. 15. 1)

10流動化コンクリート

適用箇所
※構造図による (6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3) [3. 7. 3]

11打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6. 6. 4) (6. 8. 1) (9. 7. 3) [3. 7. 3]
・図示による () ・
目地寸法
・標準仕様書 9. 7. 3 (1) (7) による ・図示による ()
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による () ・

⑫構造体コンクリートの仕上り

13打増し厚さ (打放し仕上げ部)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8. 1. 4]
※意匠図による
コンクリートの仕上りの平たんさ [8. 1. 4]
※意匠図による
・打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) [8. 7. 8]
・20mm ・ () mm
・打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)
・10mm ・20mm ・ () mm
・外装タイル後張り面の打増し処理
・20mm
・床型枠用鋼製デッキプレート梁側面部の打増し処理
プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う
・10mm ・20mm ・ () mm

⑭型枠

せき板の材料及び厚さ [8. 2. 7]
※合板 [G]
厚さ ※12mm ・ () mm
・メッシュ型枠 (使用部位 ※構造図による)
・床型枠用鋼製デッキプレート (施工範囲 ※構造図による)
・断熱材を兼用した型枠材 (6. 8. 2)
使用箇所
※構造図による
・MCR工法用シート (6. 8. 2)
適用箇所
※構造図による
打増し厚さ
・20mm ・ () mm
打増し範囲
※構造図による
スリーブの材種・規格等 [8. 2. 7]
※構造図による

15型枠の加工及び組立

シアコネクタをセパレーターとして使用 [8. 7. 8]
使用箇所 ※構造図による

⑯コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打設工法の種類 [8. 21. 8] [8. 23. 5]

補 強 工 法	打 設 工 法	部 位
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・流込み工法 8. 21. 8 (1) (ア) . (2) ・全ての増設壁 ・構造図による ・圧入工法 8. 21. 8 (1) (イ) . (3) ・全ての増設壁 ・構造図による	・
・柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)	・流込み工法 8. 21. 8 (1) (ア) . (2) ・全ての柱補強部分 ・構造図による ・圧入工法 8. 21. 8 (1) (イ) . (3) ・全ての柱補強部分 ・構造図による	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・
・	・	・
○現場打コンクリート	○流込み工法 8. 21. 8 (1) (ア) . (2) ・ ・圧入工法 8. 21. 8 (1) (イ) . (3) ・	・

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 [8. 23. 6]
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
※構造図による
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保溫材等を埋込む
・構造図による
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
※構造図による
補強後の仕上げ
※構造図による [8. 23. 7]

8-3鉄骨工事

1鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 [8. 1. 5]
※建築基準法 第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 () グレード以上
・監督職員の承諾する工場

2鉄骨製作工場における施工管理技術者

※ 配置する
・ 配置しない [8. 1. 6]

3鋼 材

種類等 [8. 2. 8]

種類の記号	適用箇所 (主要な部分)	規 格
		※JIS規格による ・
		※JIS規格による ・
		※JIS規格による ・
		※JIS規格による ・
		※JIS規格による ・
		※JIS規格による ・

工 事 名

工事場所

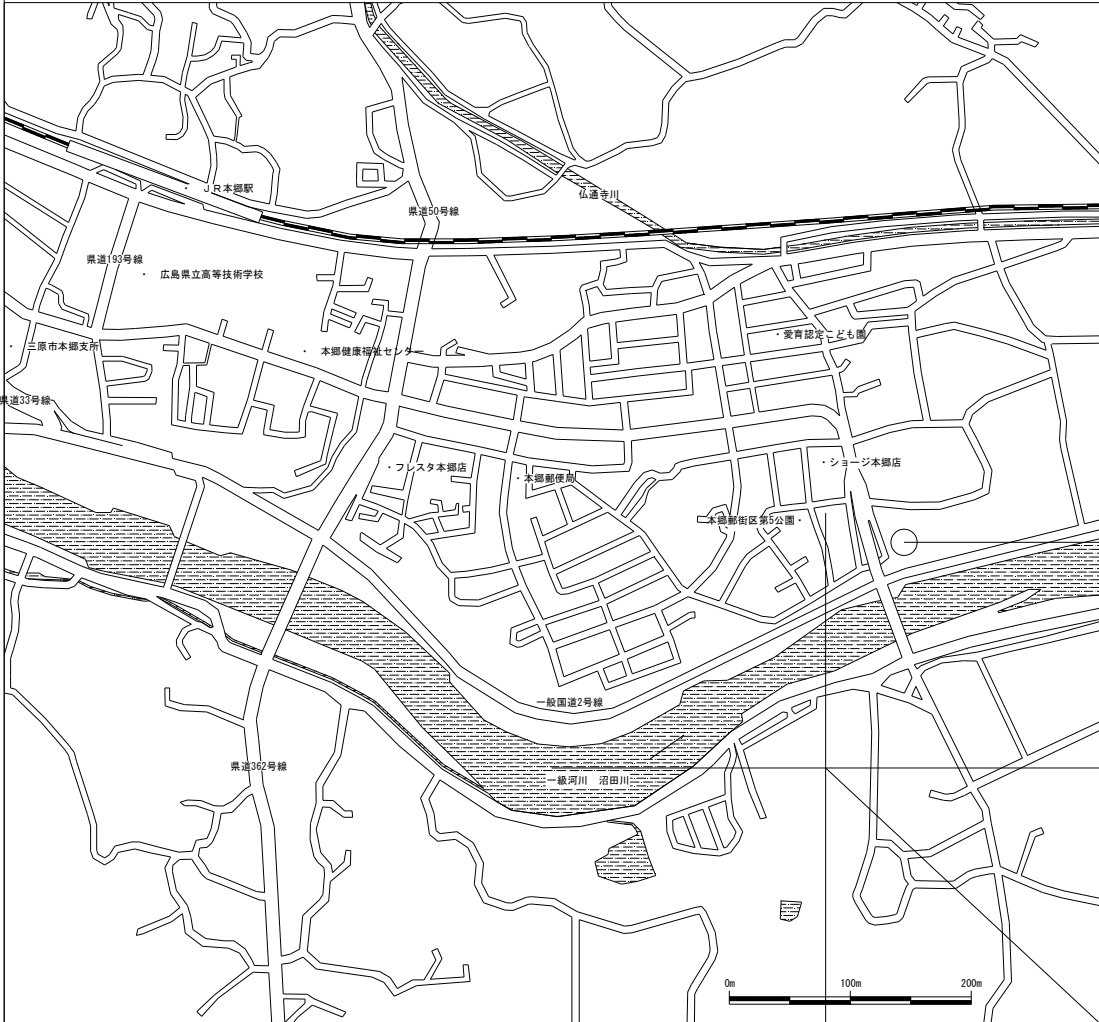
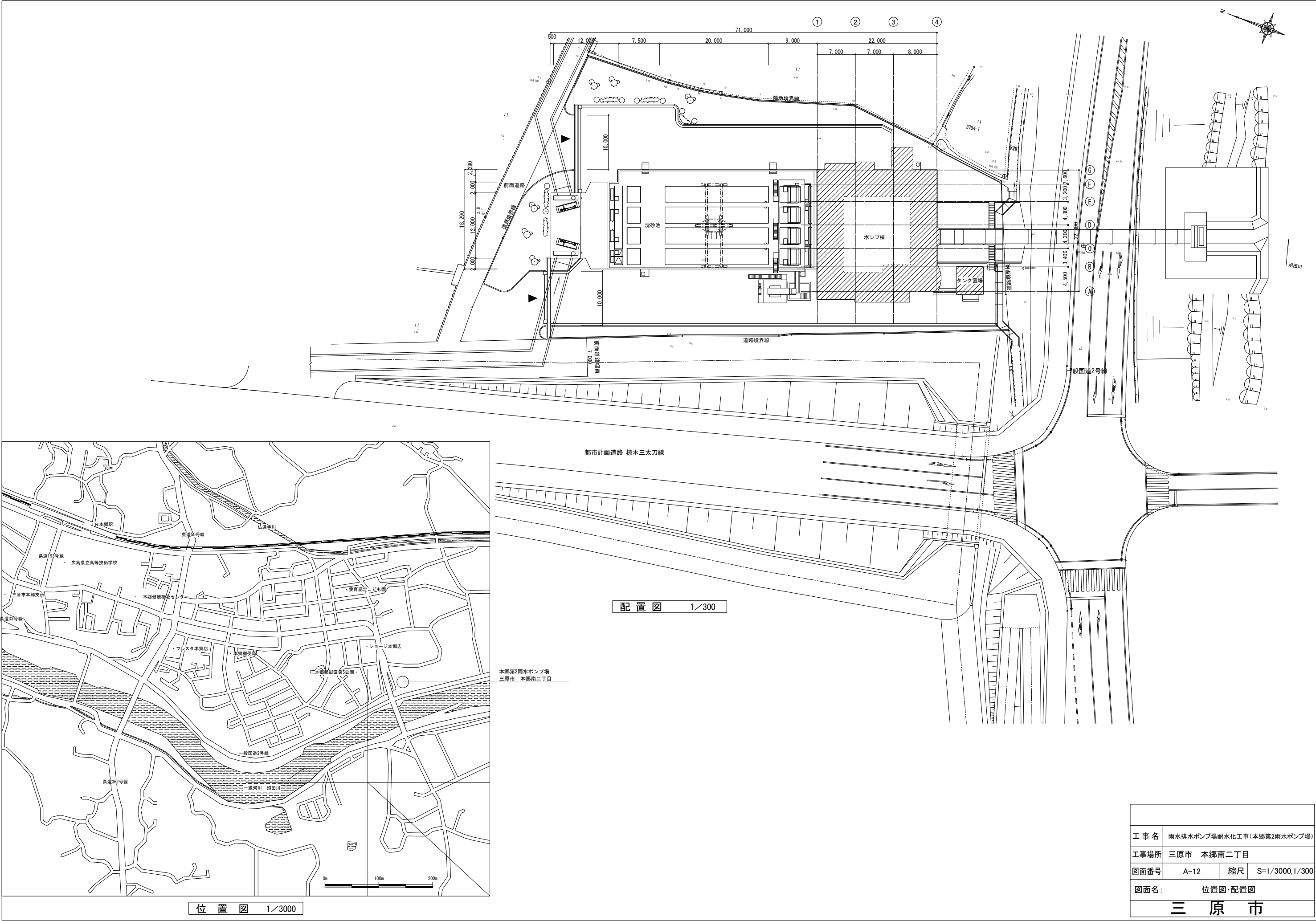
図面番号

図面名

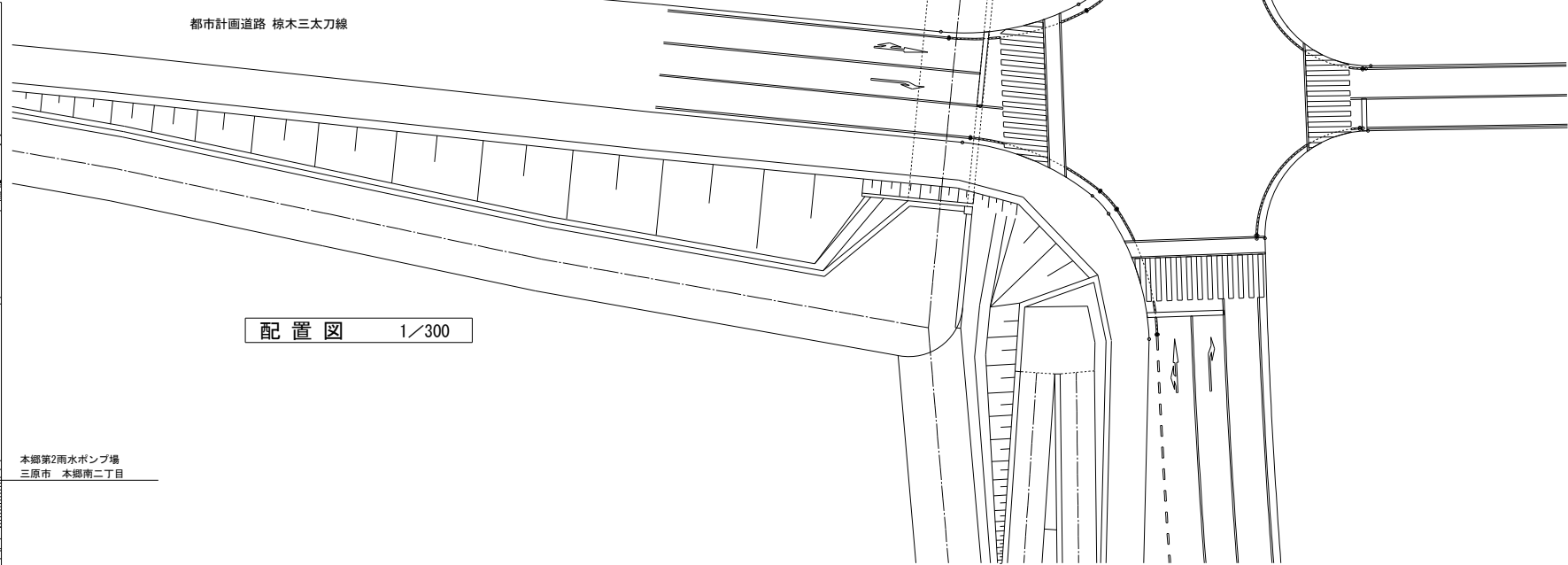
三 原 市

4	高力ボルト	高力ボルトの種類 ※トシナ形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト 2種 (F10T) ・ () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 ・構造図による 摩擦面の処理方法 ※自然発錆 (黒皮等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態) ・プラスト処理 (表面粗度50μm Rz以上) ・すべり試験の実施 ※すべり係数試験 試験方法等 ※すべり耐力試験 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(i)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.2.9] [8.13.2] [8.14.2]	11	溶接作業を行う 技能資格者の 技量付加試験	試験の要領 ※構造図による	[8.15.3]	8-4	1	あと施工アンカー	材料等 ・接着系アンカー アンカーの種類 ・ () 接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 ※構造図による アンカー筋の種類 ・ () アンカー筋の新設壁内への定着長さ ※構造図による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による ・金属系アンカー アンカー本体の径及び埋込み長さ ※構造図による セット方式 ※本体打込み式改良型 ・ () 接合筋の種類、径、長さ ※構造図による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による 埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ () [8.12.4] [8.12.7]	8-7	1	耐震スリットの 方式、幅及び深さ	方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ ※構造図による 設置箇所 ※構造図による	[8.25.2]
5	溶融亜鉛めっき 高力ボルト	セットの種類 ※1種 (F8T) 相当 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 ・構造図による 摩擦面の処理方法等 ※プラスト処理 (表面粗度50μm Rz以上) 又はりん酸塩処理 ・構造図による ・すべり試験の実施 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(i)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。	[8.13.2] [8.20.5]	12	溶接接合	開先の形状 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-2 ・鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ・構造図による ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ※改修標準仕様書8.15.7(1)(カ)(b)2による ・構造図による スカラーの形状 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4	[8.15.4] [8.15.7] [8.15.7]	2	穿孔			2	耐震スリットの 施工前の埋め込み 配管等の探査	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる	[8.12.4]	
6	普通ボルト	ボルト及びナットの種類 ※標準仕様書 表7.2.3 (JIS製鋼製品) 又は次による ボルトの規格は、JIS B 1181とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、 材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸 法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット ・6とする。材料は鋼とする。 座 金 ※JIS B 1181による ・構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 ・構造図による 母屋又は副縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径1.0mm ・構造図による	(7.2.3) (7.2.3) [8.13.2] (7.3.8)	13	入熱、バス間温度の 溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・構造図による		3	施工確認試験	試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※構造図による (注) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の 資格以上の能力を有する者とする。	[8.12.1]	3	耐震スリット充填 材の挿入及び周囲 補修等	・耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による ・遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	[8.25.2] [8.25.2] [8.25.2] [8.25.2]	
7	アンカーボルト	・構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B1220) ・ABR400 ・ABR490 ・ () ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 ・ () アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・構造図による ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト 適用箇所 ・ () ・ () ・SS400 ・ () アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による (構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)	(7.2.4) (7.3.2) (7.3.2)	14	溶接部の試験	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・ [突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル] 3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ JASS 6 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査 (1) から (5) までによる。ただし、完全溶込み 溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数	[8.15.12] [8.17.2]	4	施工管理技術者	柱底均しモルタル 及びグラウト材 ・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・ () ・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 砂 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランド セメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精 選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 Jロードによる落下時間 線径完了から3分以内の値 : 8±2秒 フリージング 線径完了後2時間後のフリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない。 圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm ² 以上 塩化物量 0.30kg/m ³ 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」 による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験は プレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化 物イオン濃度試験方法」による。	[8.12.12] [8.12.11] [8.2.11] [8.2.12] [8.2.13] [8.2.14] [8.2.15] [8.2.16] [8.2.17] [8.2.18] [8.2.19] [8.2.20] [8.2.21] [8.2.22] [8.2.23] [8.2.24] [8.2.25] [8.2.26] [8.2.27] [8.2.28] [8.2.29] [8.2.30] [8.2.31] [8.2.32] [8.2.33] [8.2.34] [8.2.35] [8.2.36] [8.2.37] [8.2.38] [8.2.39] [8.2.40] [8.2.41] [8.2.42] [8.2.43] [8.2.44] [8.2.45] [8.2.46] [8.2.47] [8.2.48] [8.2.49] [8.2.50] [8.2.51] [8.2.52] [8.2.53] [8.2.54] [8.2.55] [8.2.56] [8.2.57] [8.2.58] [8.2.59] [8.2.60] [8.2.61] [8.2.62] [8.2.63] [8.2.64] [8.2.65] [8.2.66] [8.2.67] [8.2.68] [8.2.69] [8.2.70] [8.2.71] [8.2.72] [8.2.73] [8.2.74] [8.2.75] [8.2.76] [8.2.77] [8.2.78] [8.2.79] [8.2.80] [8.2.81] [8.2.82] [8.2.83] [8.2.84] [8.2.85] [8.2.86] [8.2.87] [8.2.88] [8.2.89] [8.2.90] [8.2.91] [8.2.92] [8.2.93] [8.2.94] [8.2.95] [8.2.96] [8.2.97] [8.2.98] [8.2.99] [8.2.100] [8.2.101] [8.2.102] [8.2.103] [8.2.104] [8.2.105] [8.2.106] [8.2.107] [8.2.108] [8.2.109] [8.2.110] [8.2.111] [8.2.112] [8.2.113] [8.2.114] [8.2.115] [8.2.116] [8.2.117] [8.2.118] [8.2.119] [8.2.120] [8.2.121] [8.					

工 事 名				雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場）			
工事場所				三原市 本郷南二丁目			
図面番号		A-11		縮尺		-	
図面名： 建築改修工事特記仕様書（11）							
三 原 市							



位置図 1/3000

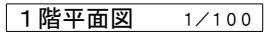
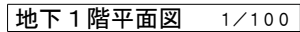


配置図 1/300

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-12	縮尺	S=1/3000,1/300
図面名:		位置図・配置図	
三 原 市			

[illegible][illegible]

特記なき限り																					
改修仕後の材料の厚さ	材 料 名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	材 料 名	種別	壁 (m/m)	天井 (m/m)	備 考	工事区分略号	<	>	C	: 土工工事	改修内容凡例	改修前		改修後		
	GB-R	仕上	12.5	12.5	NM-8619	けい酸カルシウム板 (タイプ2)		12	10	NM-8578		<	>	AM	: 建築機械設備工事		A: 仕上撤去	a: 仕上新設			
		下地	12.5				押出法ポリスチレン フォーム保温材 (FP板)		38	38			<	>	AE		: 建築電気設備工事	B: 図示の仕上撤去	b: 図示の仕上新設		
	GB-NC (N)	下地		9.5	NM-8613 又は同等	壁紙						<	>	PM	: プラント機械設備工事		C: 下地共撤去	c: 下地共新設			
	GB-NC (NT)			9.5								<	>	PE	: プラント電気設備工事		D: 図示の下地共撤去	d: 図示の下地共新設			
	GB-D (W)			12.5	NM-8614												E: 図示の下地調整	e: 図示の塗装塗り替え			
	DR			12	NM-8599												F: 既存のまま	f: 既存のまま			
工 事 名											雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)										
工事場所											三原市 本郷南二丁目										
図面番号											A-13			縮尺		S=1/100					
図面名:											仕上表(1)										
三											原 市										



▼ ・ ・ ・ 室名札(平付型)を示す。(6力所)

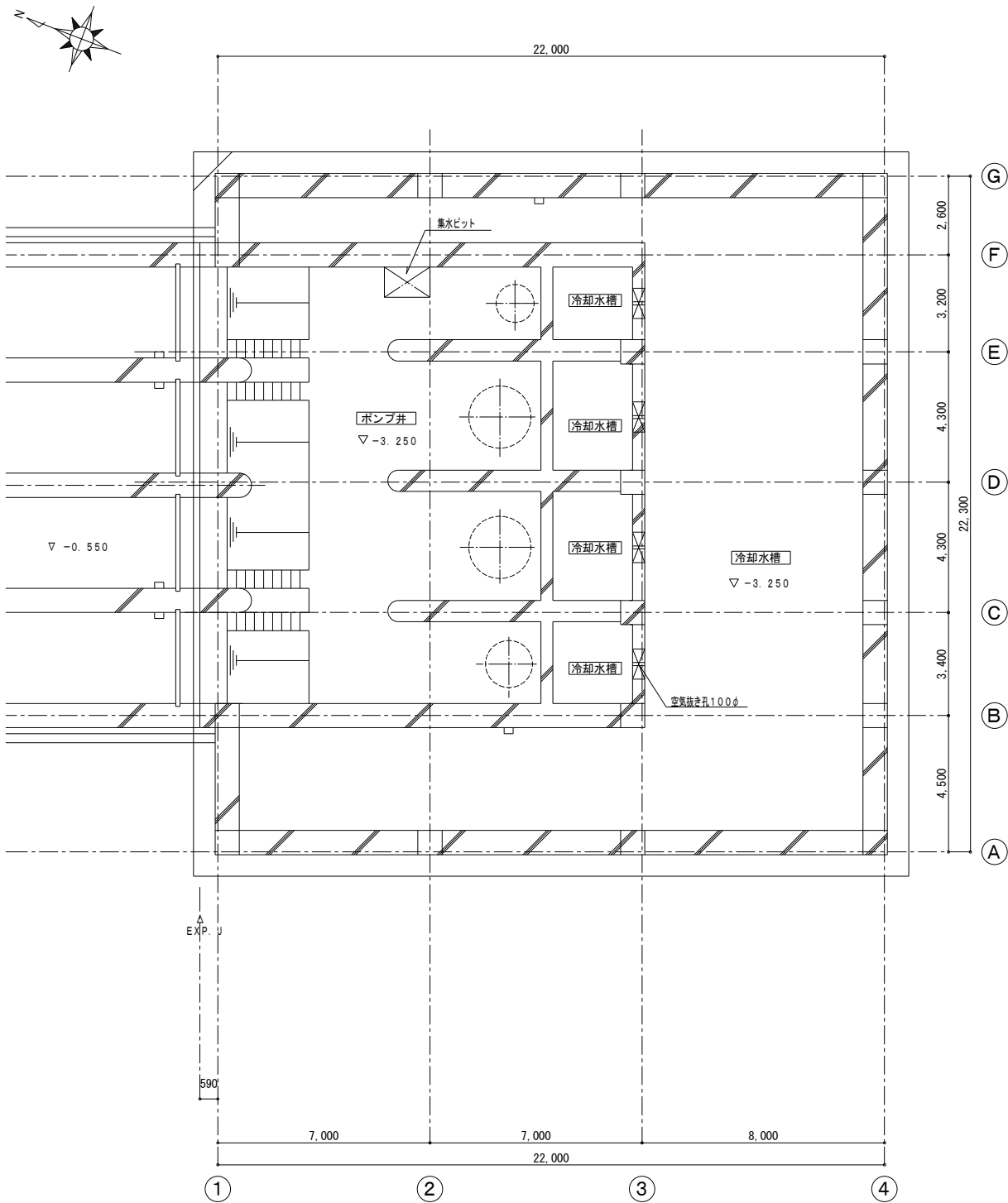
● ・ ・ ・ 消火器ABC10型を示す。(床置用設置台共 2力所)

$$\begin{array}{c} 1-2 \\ 0 \end{array}$$

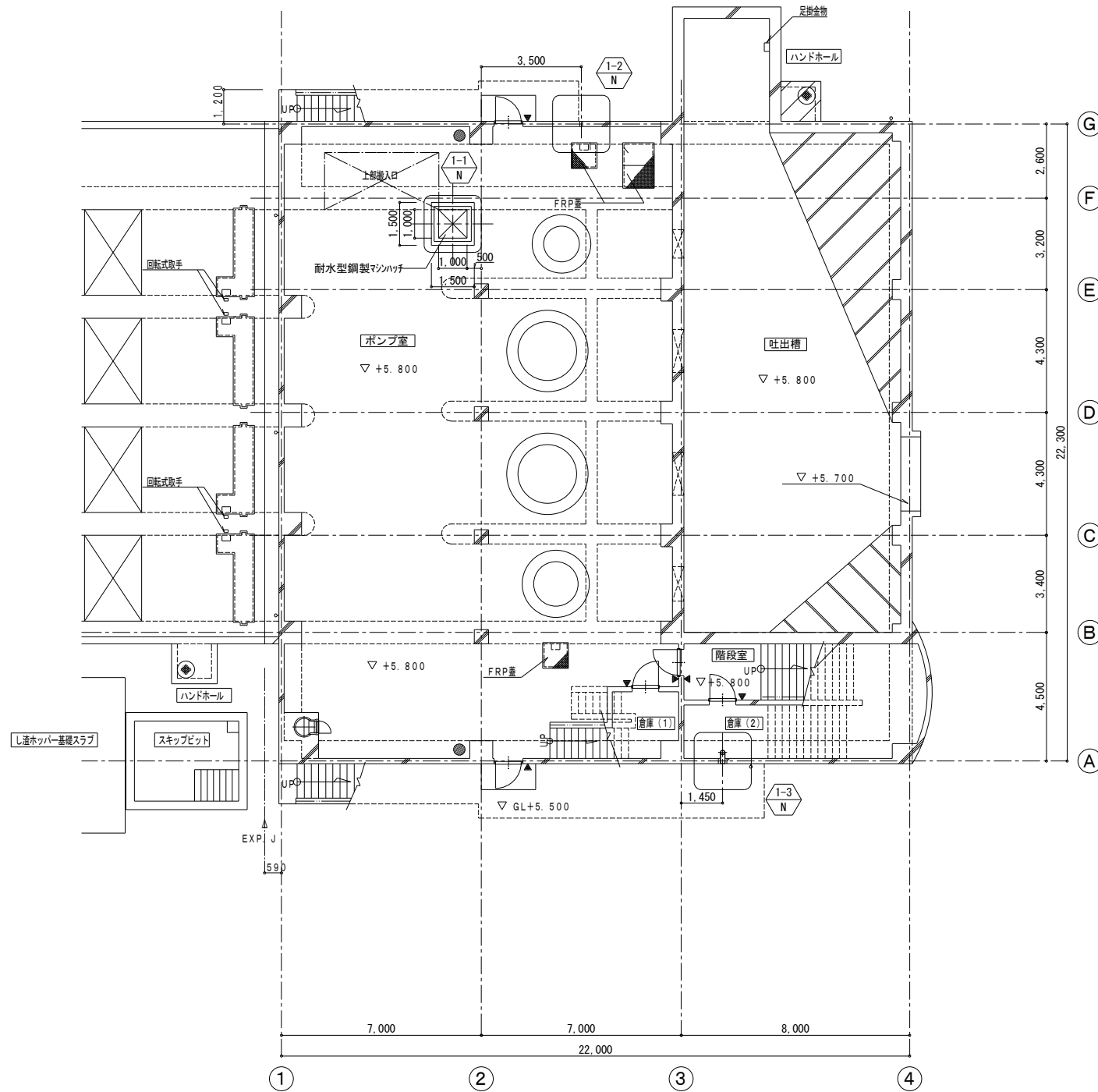
改修前詳細番号を示す

改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-15	縮尺	S=1/100
図面名: 平面図(改修前)			
三 原 市			



地下1階平面図 1/100



凡 例

- 室名札(平付型)を示す。(6カ所)
- 消火器ABC10型を示す。(床置用設置台共 2カ所)

1階平面図 1/100

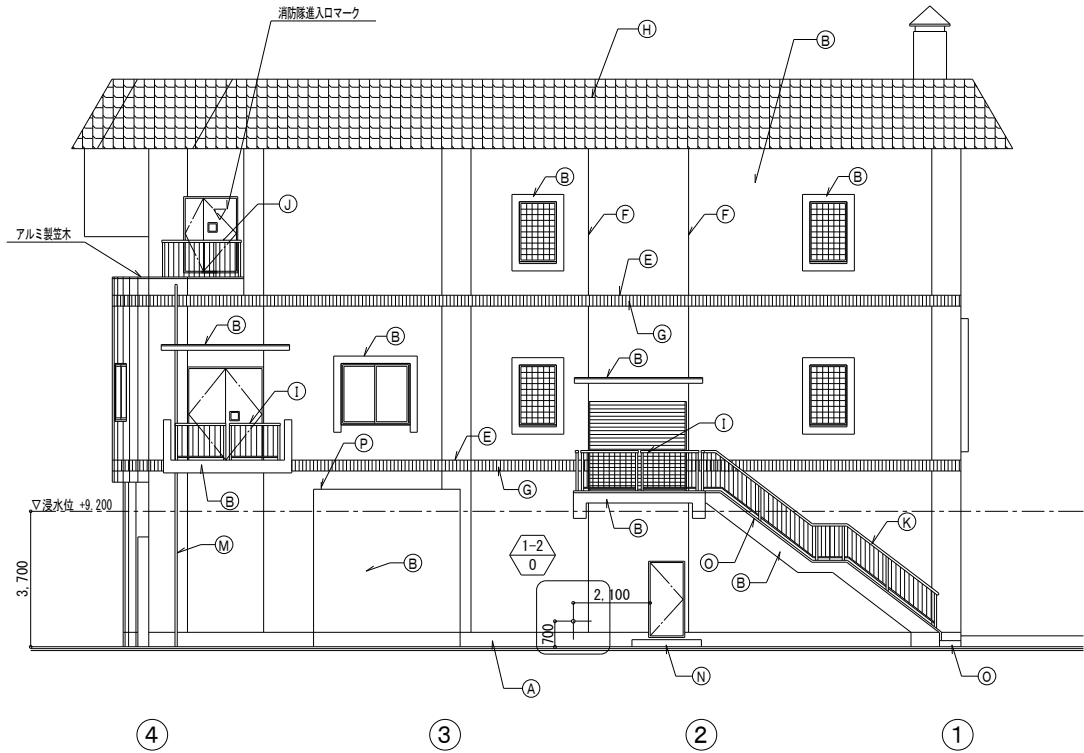
凡 例



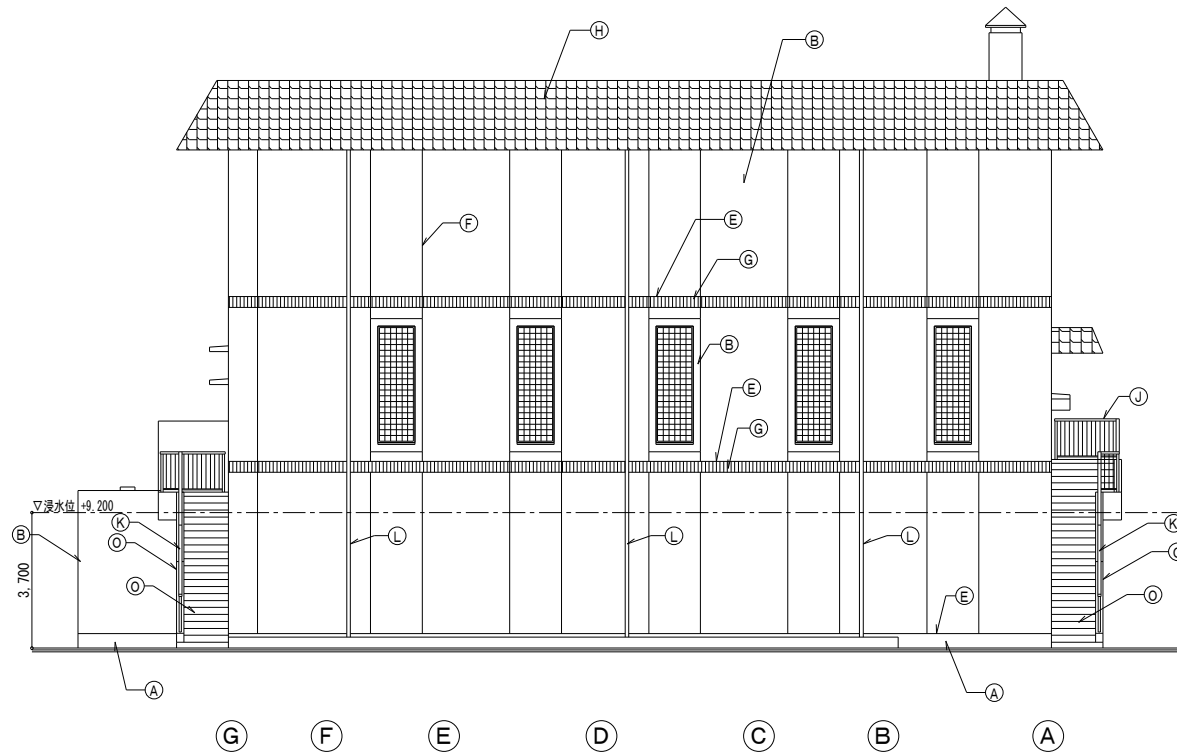
改修後詳細番号を示す

改修箇所を示す

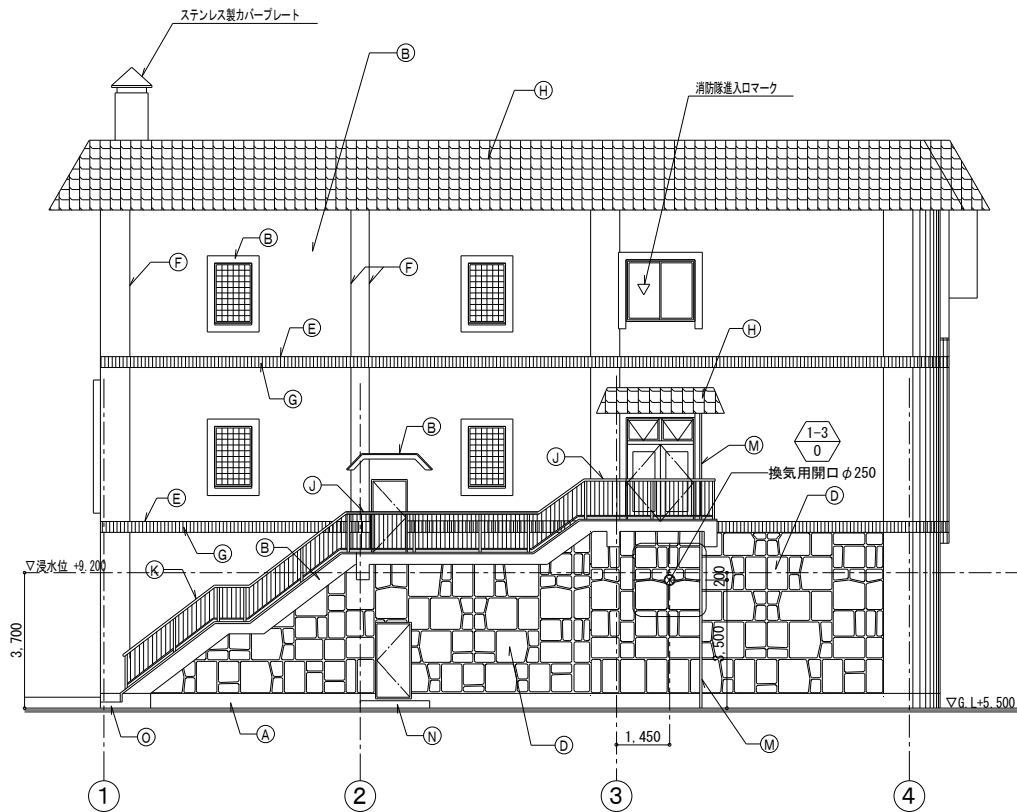
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-16	縮尺	S=1/100
図面名:		平面図(改修後)	
三 原 市			



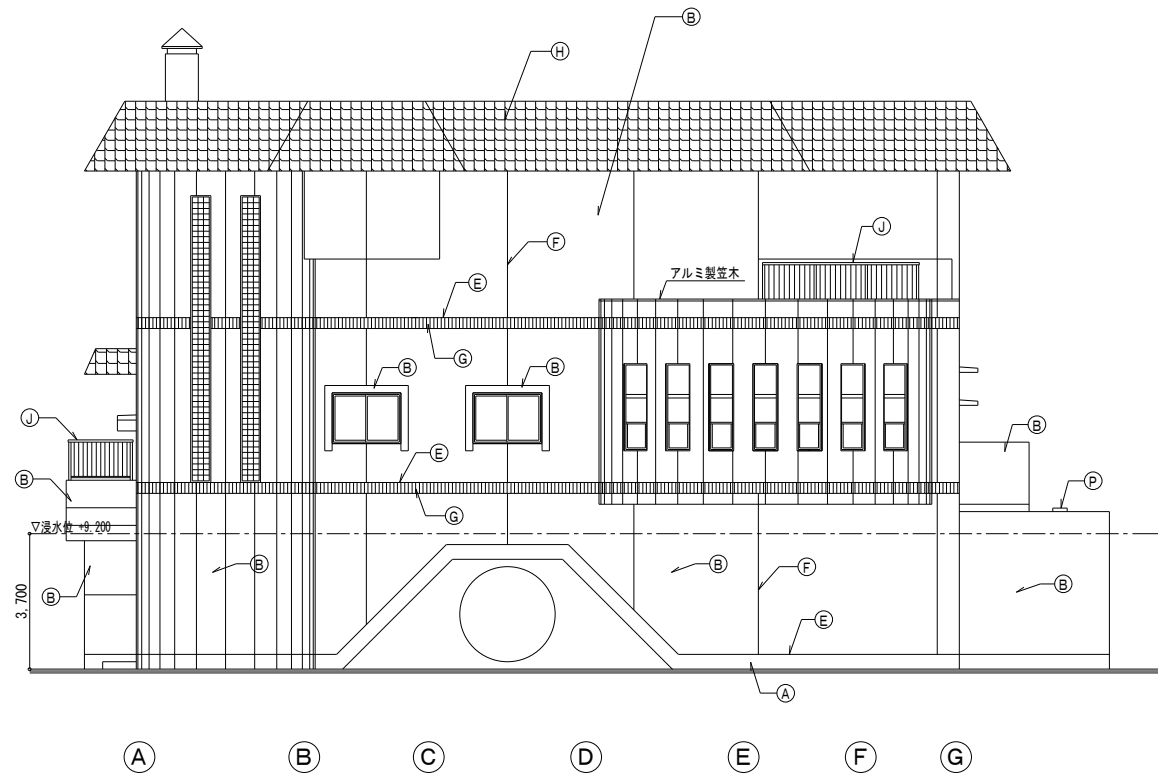
東側立面図 1/100



北側立面図 1/100



西側立面図 1/100



南側立面図 1/100

	仕 上 材	
(A)	コンクリート打放し (B種) 下地	無機系通気型撥水塗料
(B)	コンクリート打放し (B種) 下地	複層塗材 RE吹付け
(C)	コンクリートコテ仕上げ下地	複層塗材 RE吹付け
(D)	特殊化粧型枠 (あけ石積み) 打放し仕上げ	
(E)	打錠目地、シーリング20×10 (PU-2)	
(F)	化粧目地 20×10	
(G)	せり器員二丁掛平タイル張り (227×60)	
(H)	自己消火発泡スチロール瓦屋根下地	S彩瓦葺き
(I)	アルミ製手摺り (脱着式) H=1100	
(J)	アルミ製手摺り (固定式) H=1100	
(K)	アルミ製手摺り (固定式) H=900	
(L)	タテ樋：硬質塩ビ製100φ (ステンレス製樋受け金物) : VE塗り	
(M)	タテ樋：硬質塩ビ製 65φ (ステンレス製樋受け金物) : VE塗り	
(N)	コンクリート打放し (B種)	
(O)	合成樹脂塗リ床 (弾性ウレタン)	
(P)	手摺金物：ステンレス製	

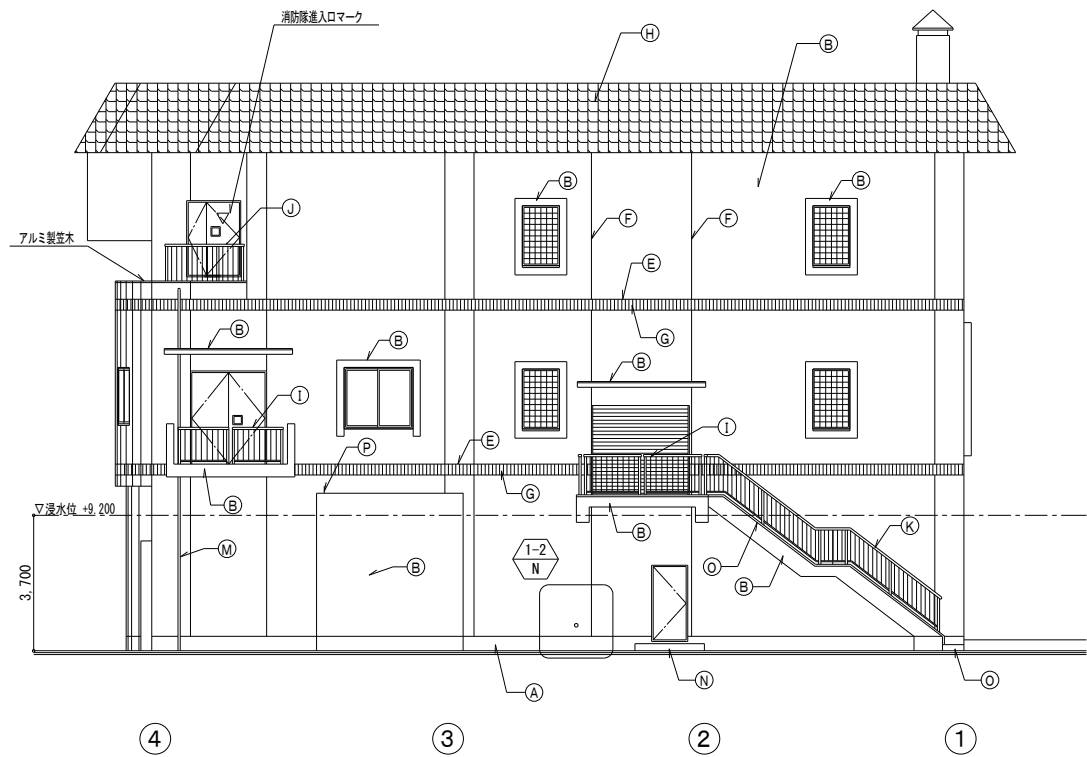
凡 例



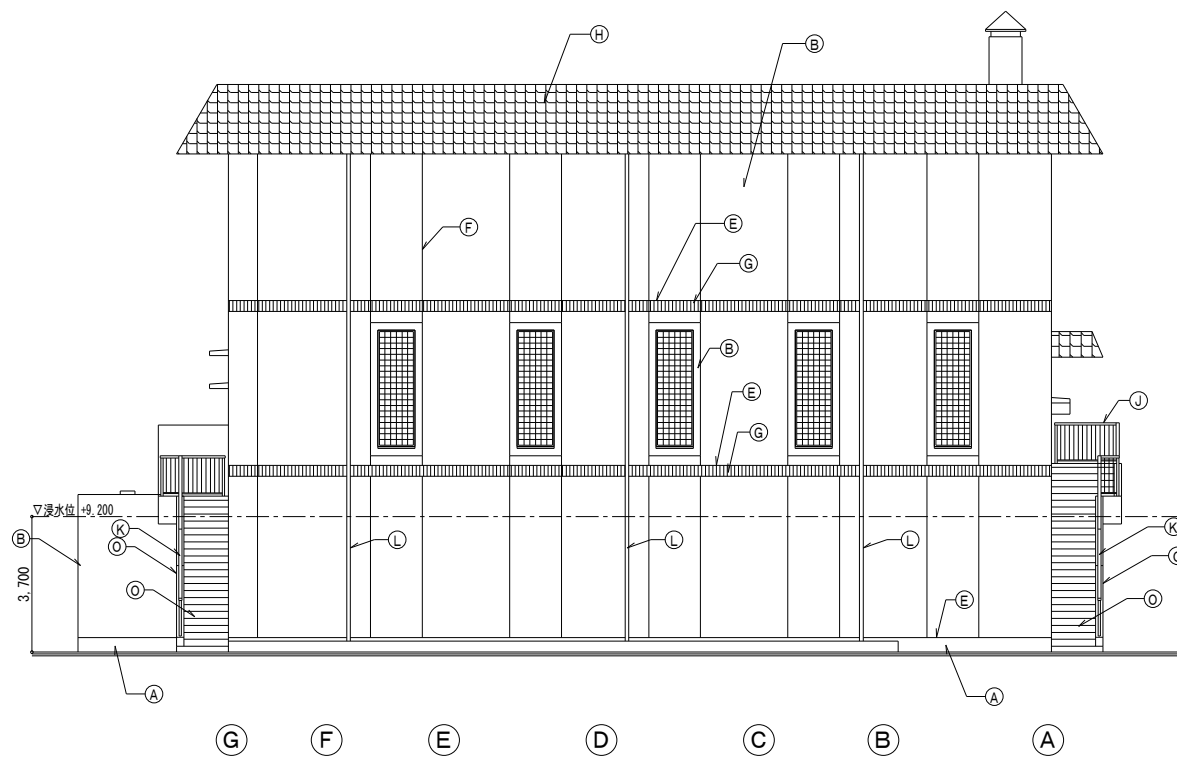
改修前詳細番号を示す

改修箇所を示す

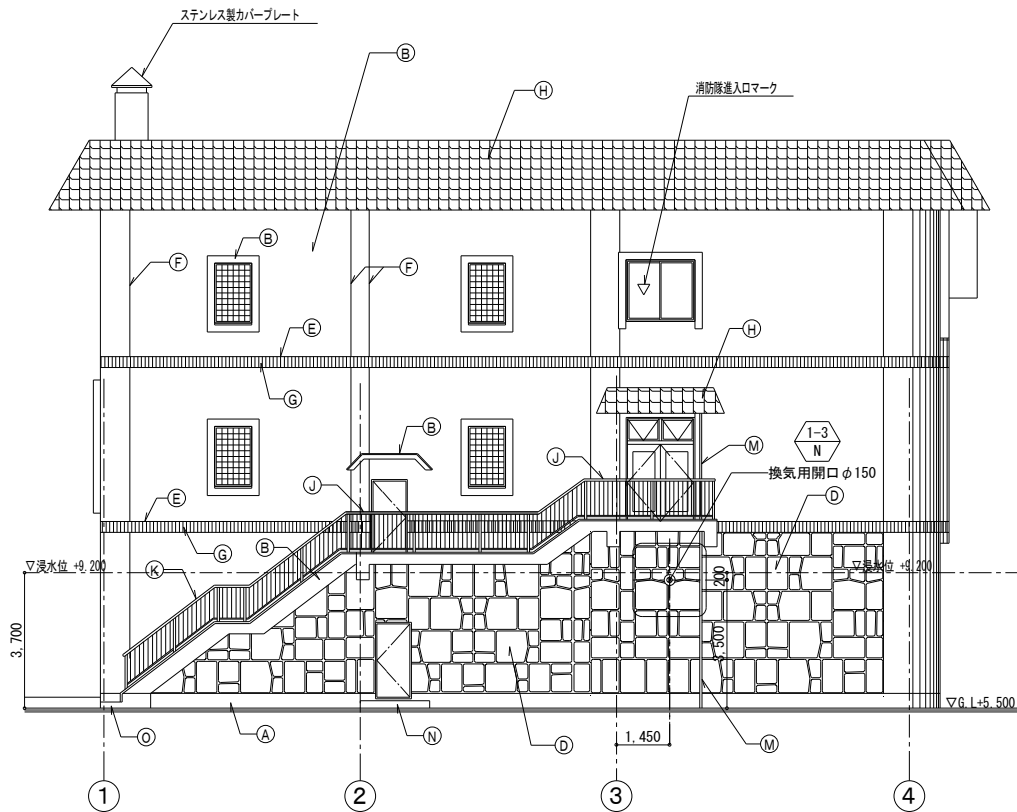
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-17	縮尺	S=1/100
図面名:		立面図(改修前)	
三 原 市			



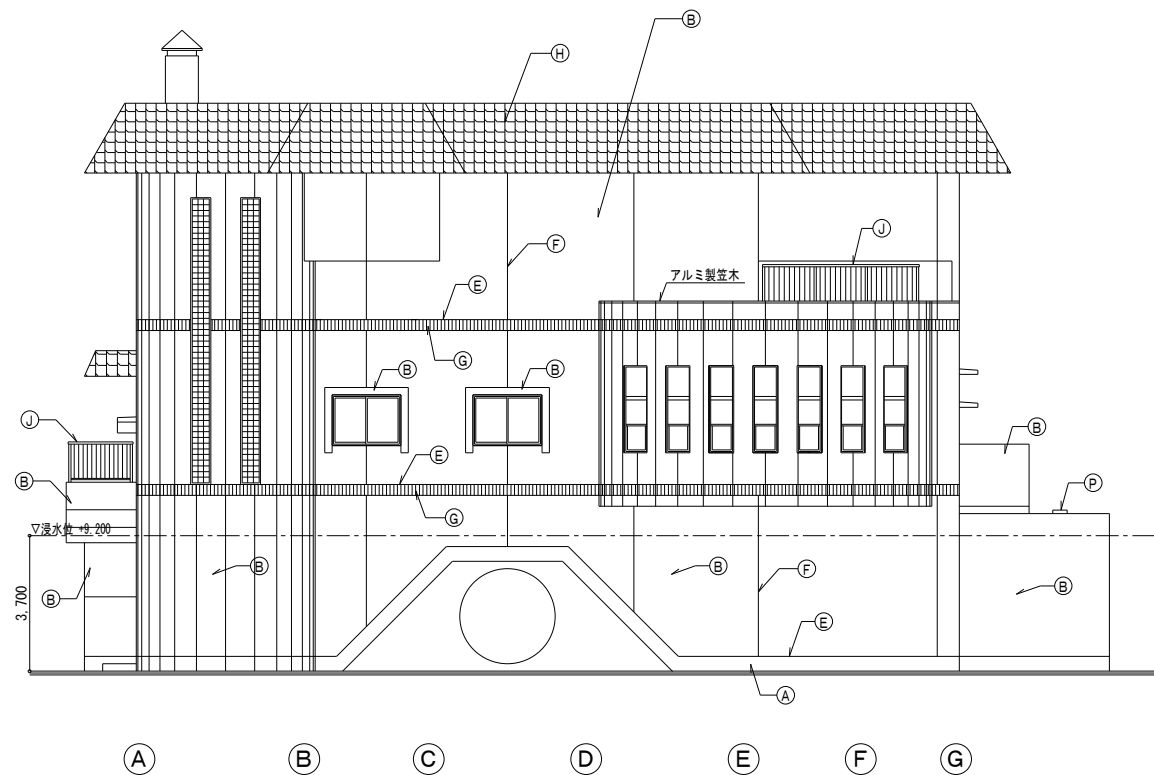
東側立面図 1/100



北側立面図 1/100



西側立面図 1/100



南側立面図 1/100

	仕 上 材		
(A)	コンクリート打放し (B種) 下地	無機系通気型撥水塗料	
(B)	コンクリート打放し (B種) 下地	複層塗材 RE吹付け	
(C)	コンクリートコテ仕上げ下地	複層塗材 RE吹付け	
(D)	特殊化粧型枠 (あけう石積み)	打放し仕上げ	
(E)	打錠目地、シーリング20×10 (PU-2)		
(F)	化粧目地 20×10		
(G)	せつ器異二丁掛平タイル張り (227×60)		
(H)	自己消火発泡スチロール瓦屋根下地	S彩瓦葺き	
(I)	アルミ製手摺り (脱着式) H=1100		
(J)	アルミ製手摺り (固定式) H=1100		
(K)	アルミ製手摺り (固定式) H=900		
(L)	タテ樋：硬質塩ビ製100φ (ステンレス製樋受け金物) : VE塗り		
(M)	タテ樋：硬質塩ビ製 65φ (ステンレス製樋受け金物) : VE塗り		
(N)	コンクリート打放し (B種)		
(O)	合成樹脂塗リ床 (弾性ウレタン)		
(P)	手摺金物：ステンレス製		

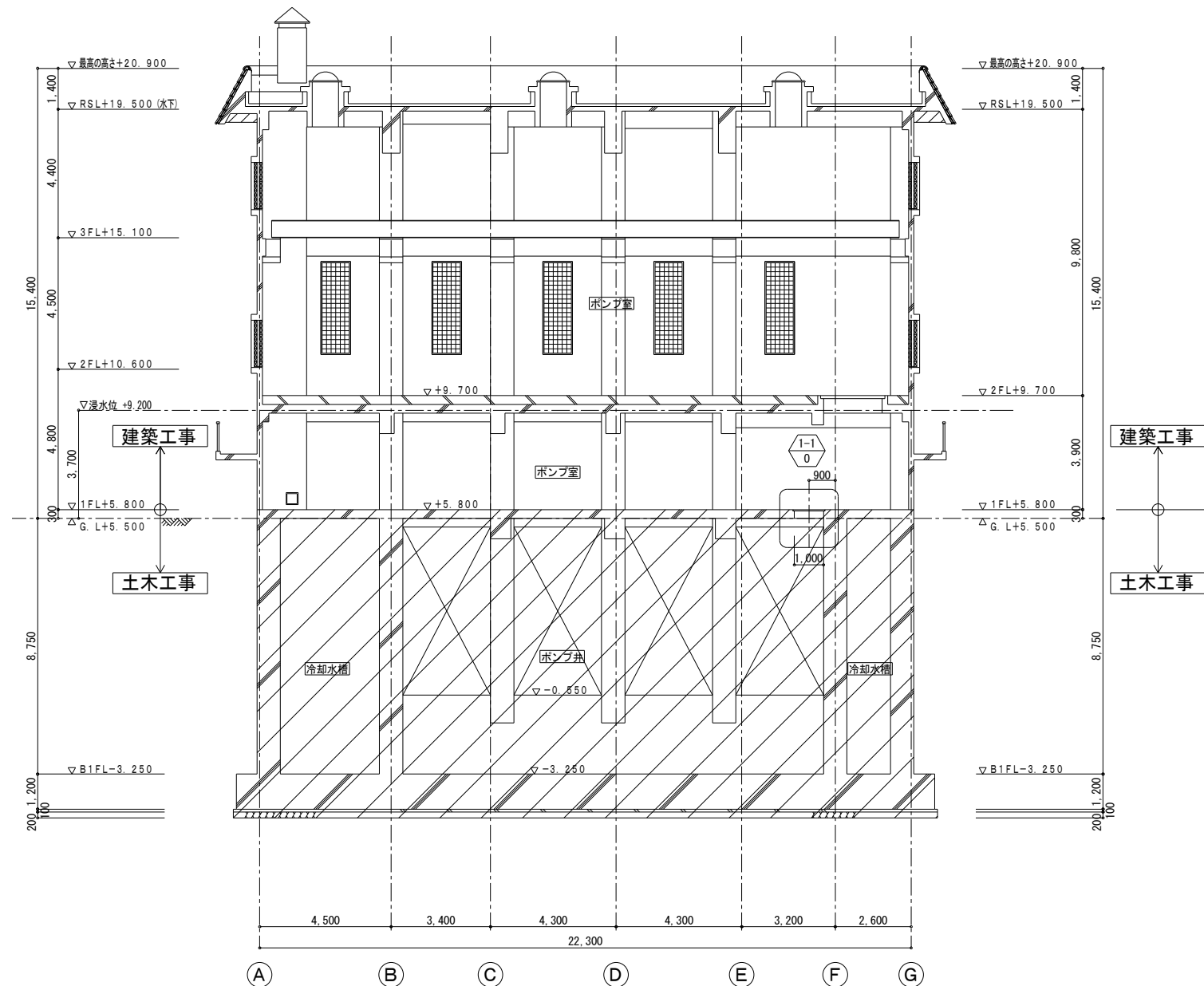
凡 例



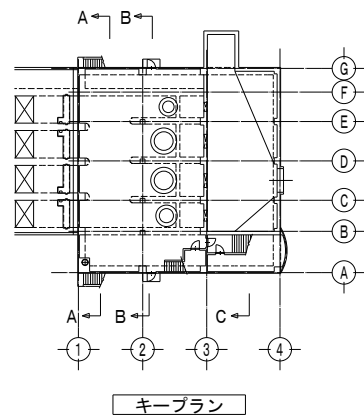
改修前詳細番号を示す

改修箇所を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場）		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-18	縮尺	S=1/100
図面名：		立面図(改修後)	
三 原 市			

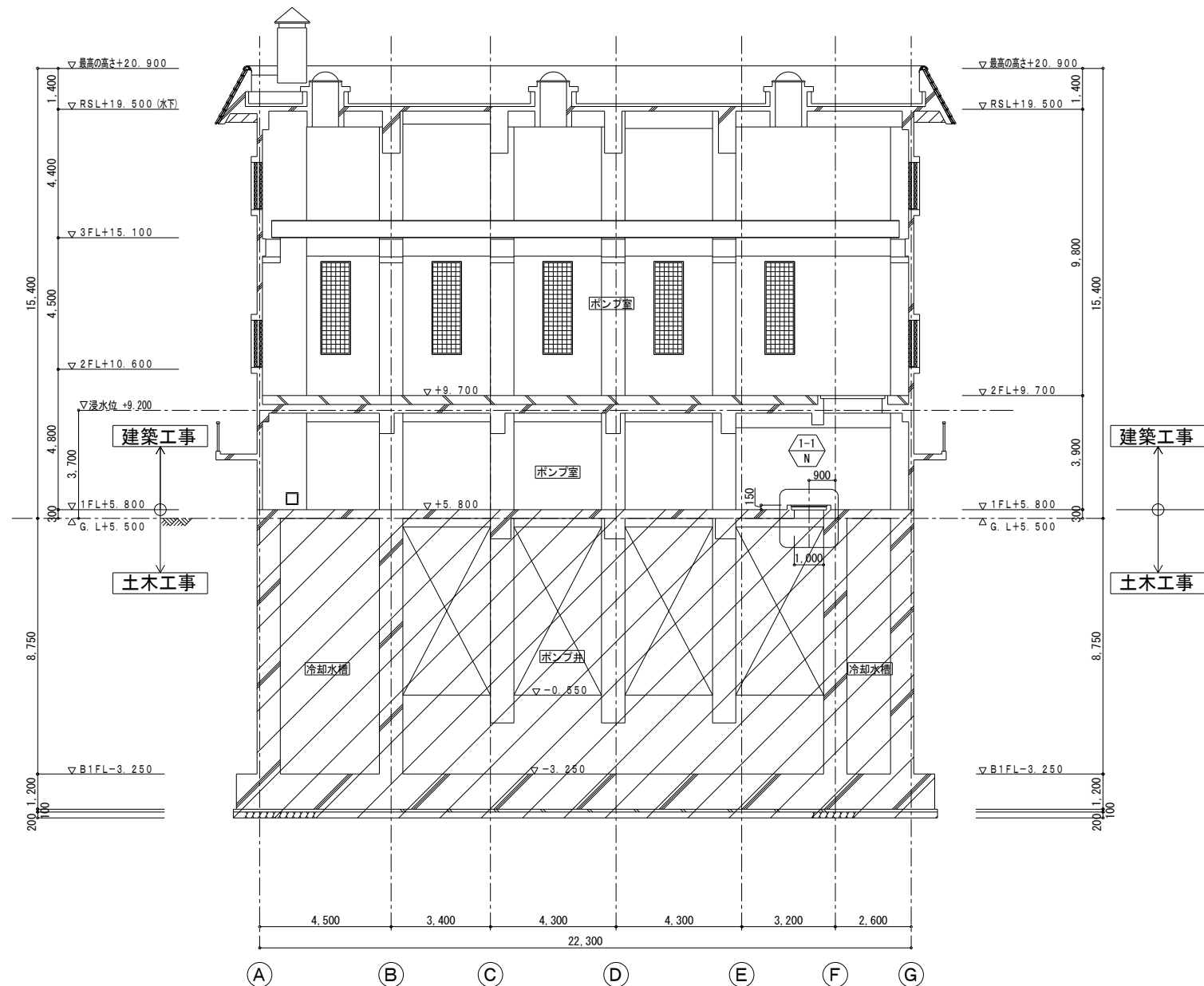


A-A断面図 1/100

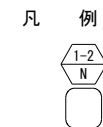
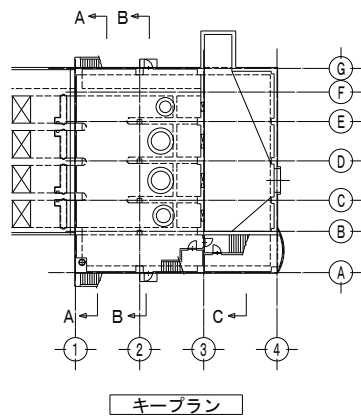


改修前詳細番号を示す
改修箇所を示す

工事名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)			
工事場所			
三原市 本郷南二丁目			
図面番号		縮尺	S=1/100
A-19			
図面名:			
断面図(1)(改修前)			
三原市			

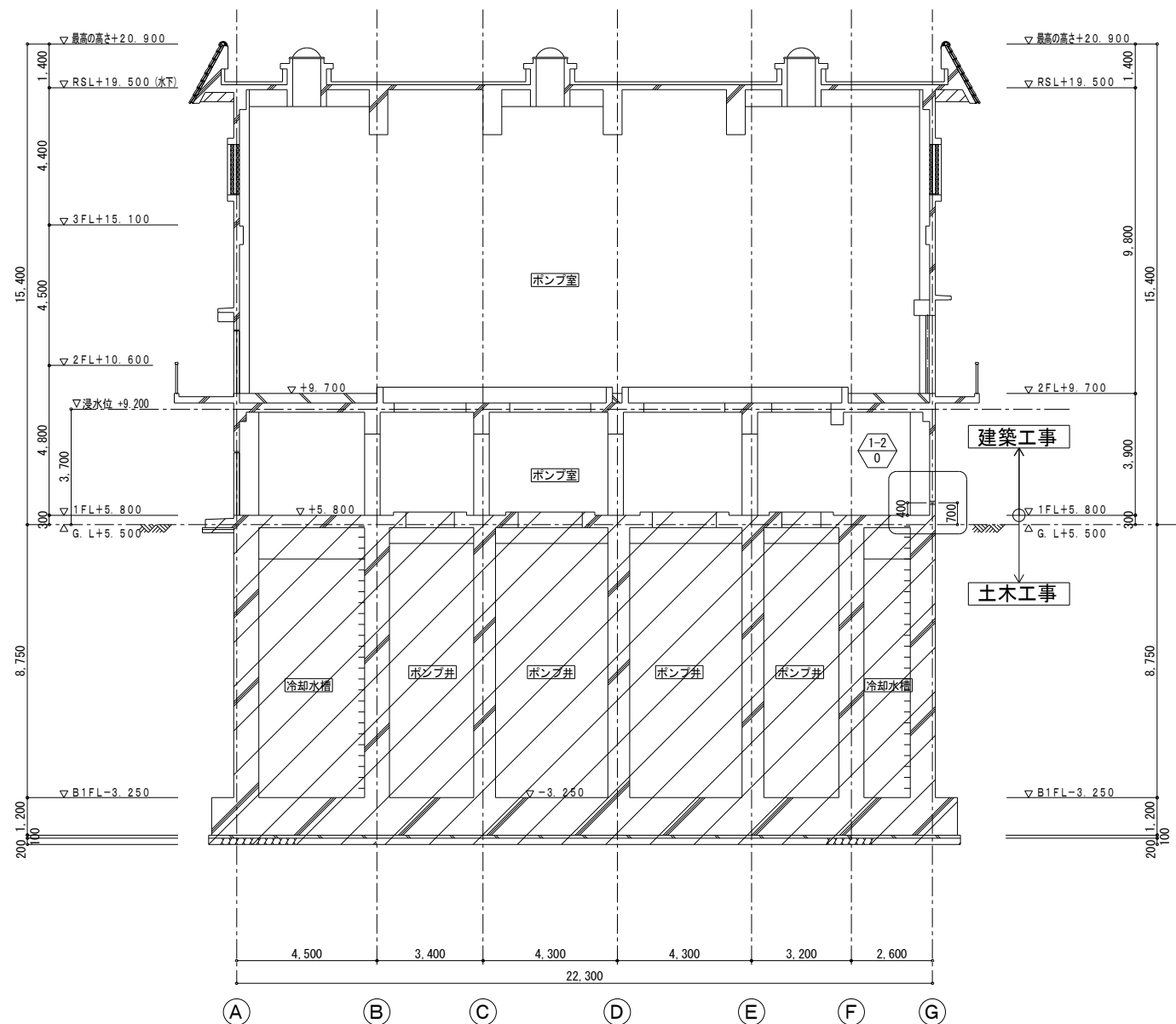


A-A断面図 1/100

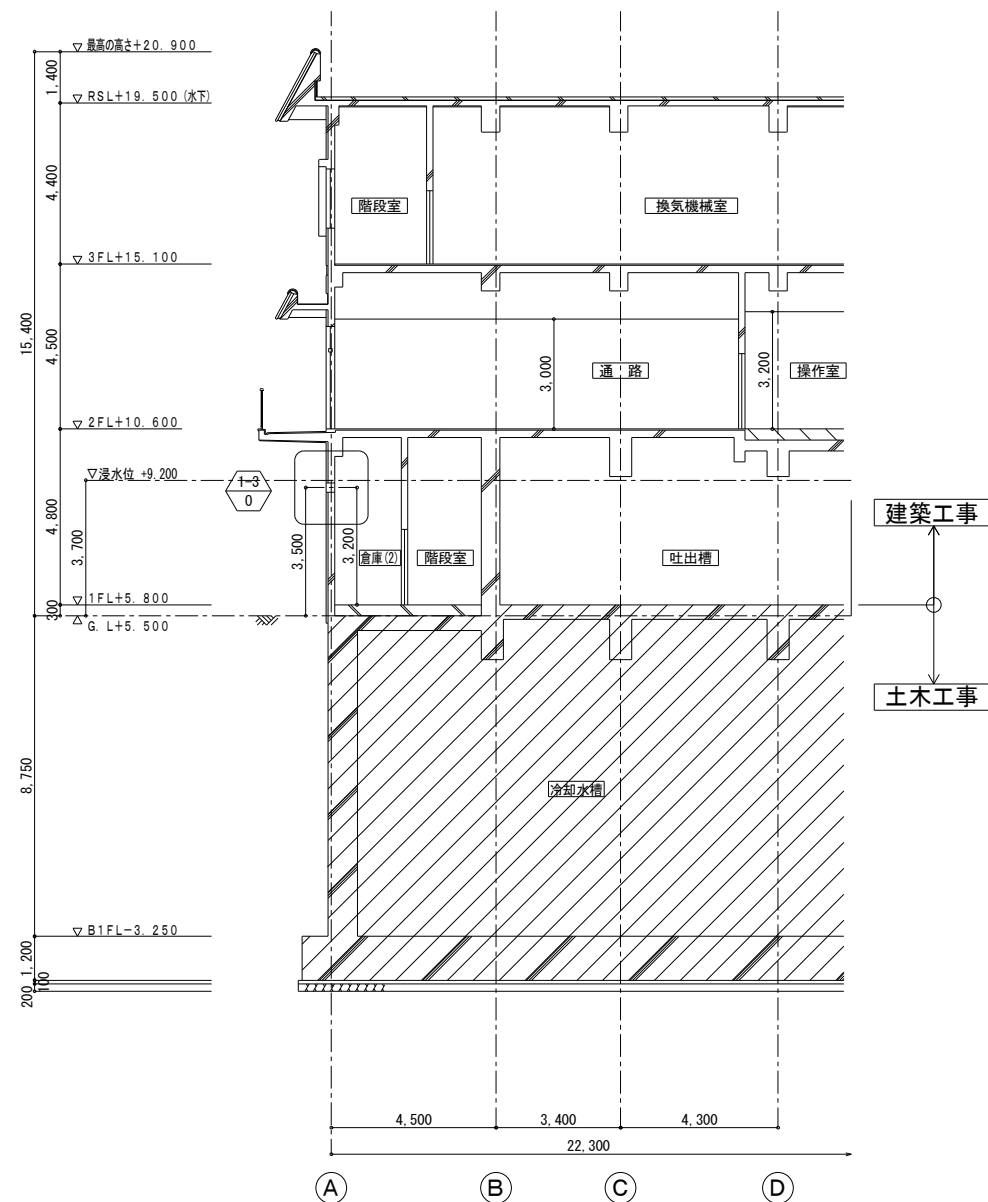


改修後詳細番号を示す
改修箇所を示す

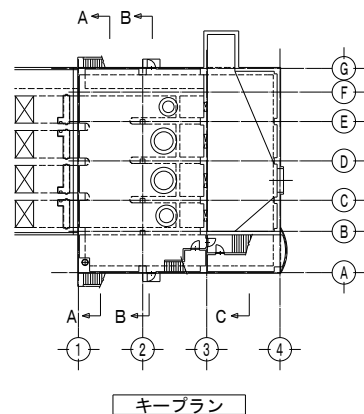
工事名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)			
工事場所			
三原市 本郷南二丁目			
図面番号	A-20	縮尺	S=1/100
図面名:			
断面図(1)(改修後)			
三原市			



B-B断面図 1/100

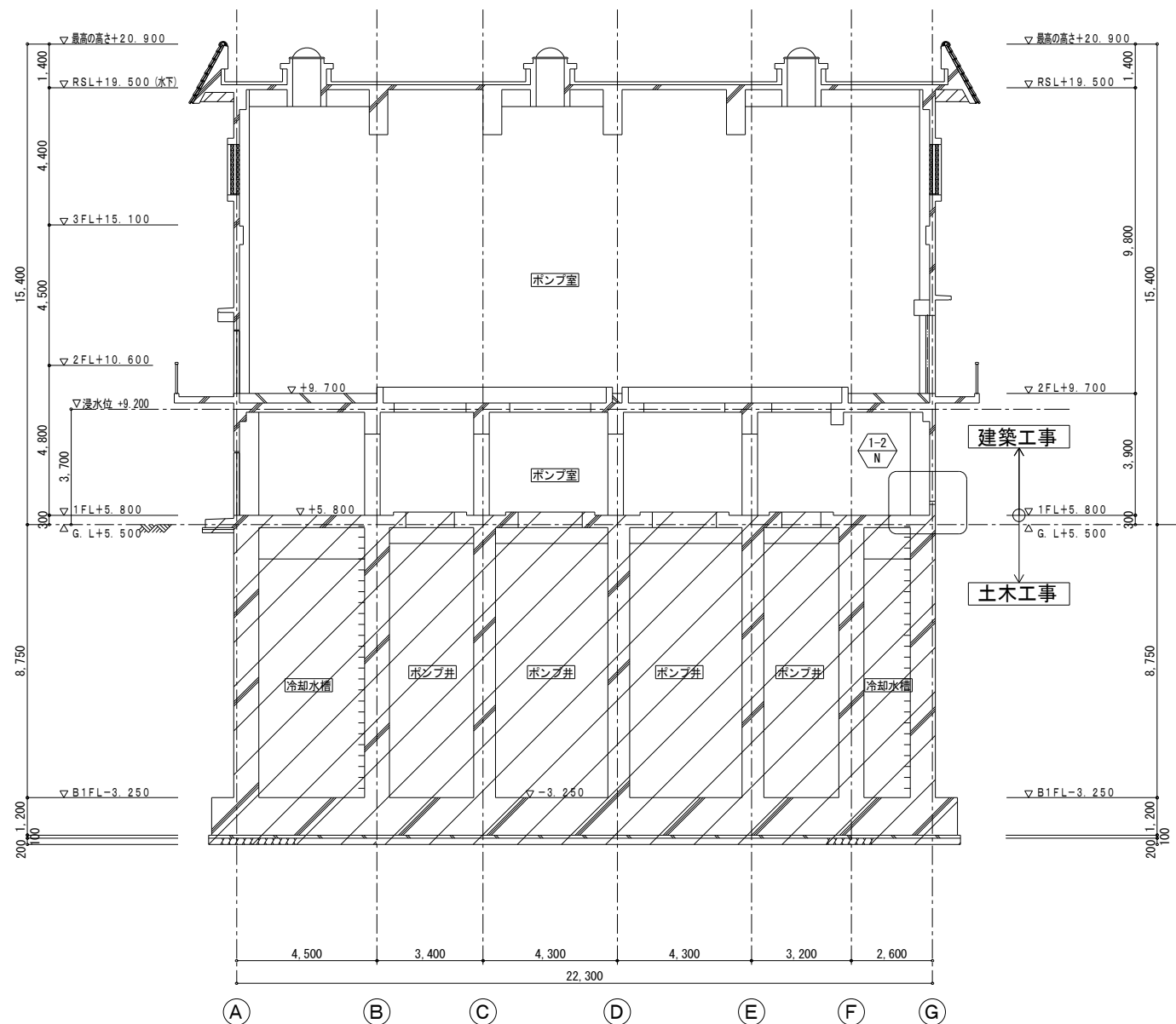


C-C断面図 1/100

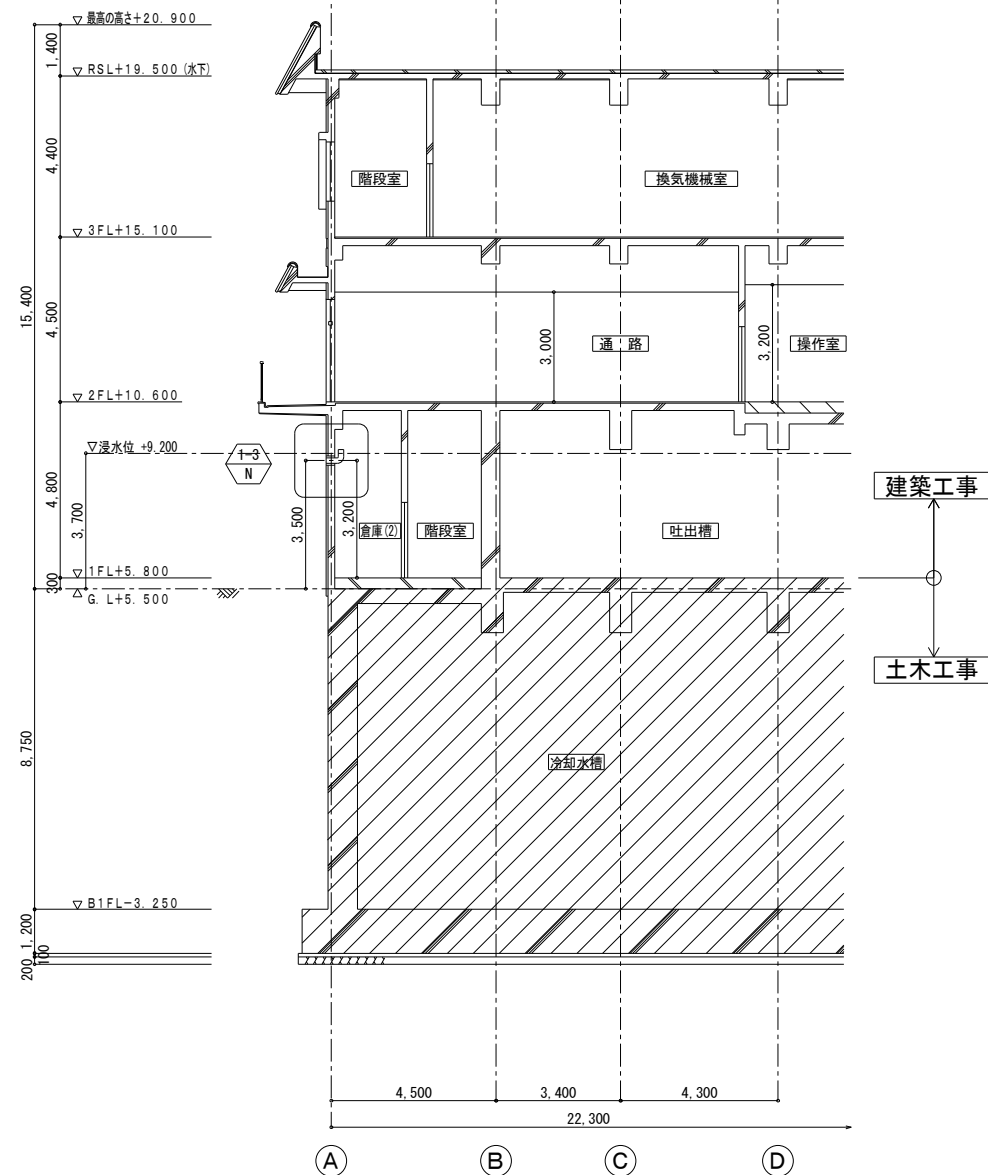


凡 例
1-2/0
改修前詳細番号を示す
改修箇所を示す

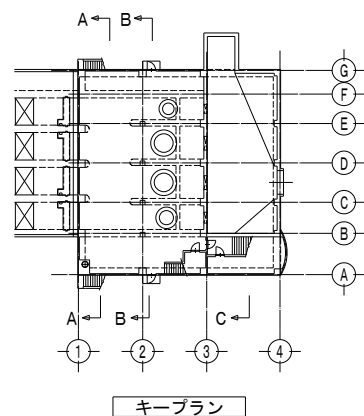
工事名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)			
工事場所			
三原市 本郷南二丁目			
図面番号	A-21	縮尺	S=1/100
図面名:			
断面図(2)(改修前)			
三原市			



B-B断面図 1/100



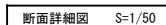
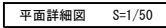
C-C断面図 1/100



凡 例
改修後詳細番号を示す
改修箇所を示す

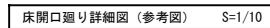
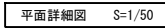
工事名			
雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)			
工事場所			
三原市 本郷南二丁目			
図面番号		縮尺	S=1/100
A-22			
図面名:			
断面図(2)(改修後)			
三原市			

改修前



 撤去範囲を示す

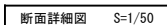
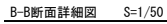
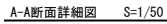
改修後



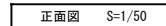
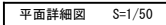
立上り主筋・配力筋：D13@200シングル
あと施工アンカー：金属拡張アンカー 10-M16

※納まり、形状等はメーカー仕様による

※納まり、形状等はメーカー仕様による

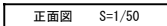
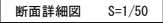
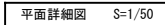
 改修範囲を示す

改修前



 撤去範囲を示す

改修後



 改修範囲を示す

・新設する蓋廻りは防水モルタルを充填すること。

・蓋撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う

・蓋撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う

・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

図面名:

改修詳細図(1)

工 事 名 雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)

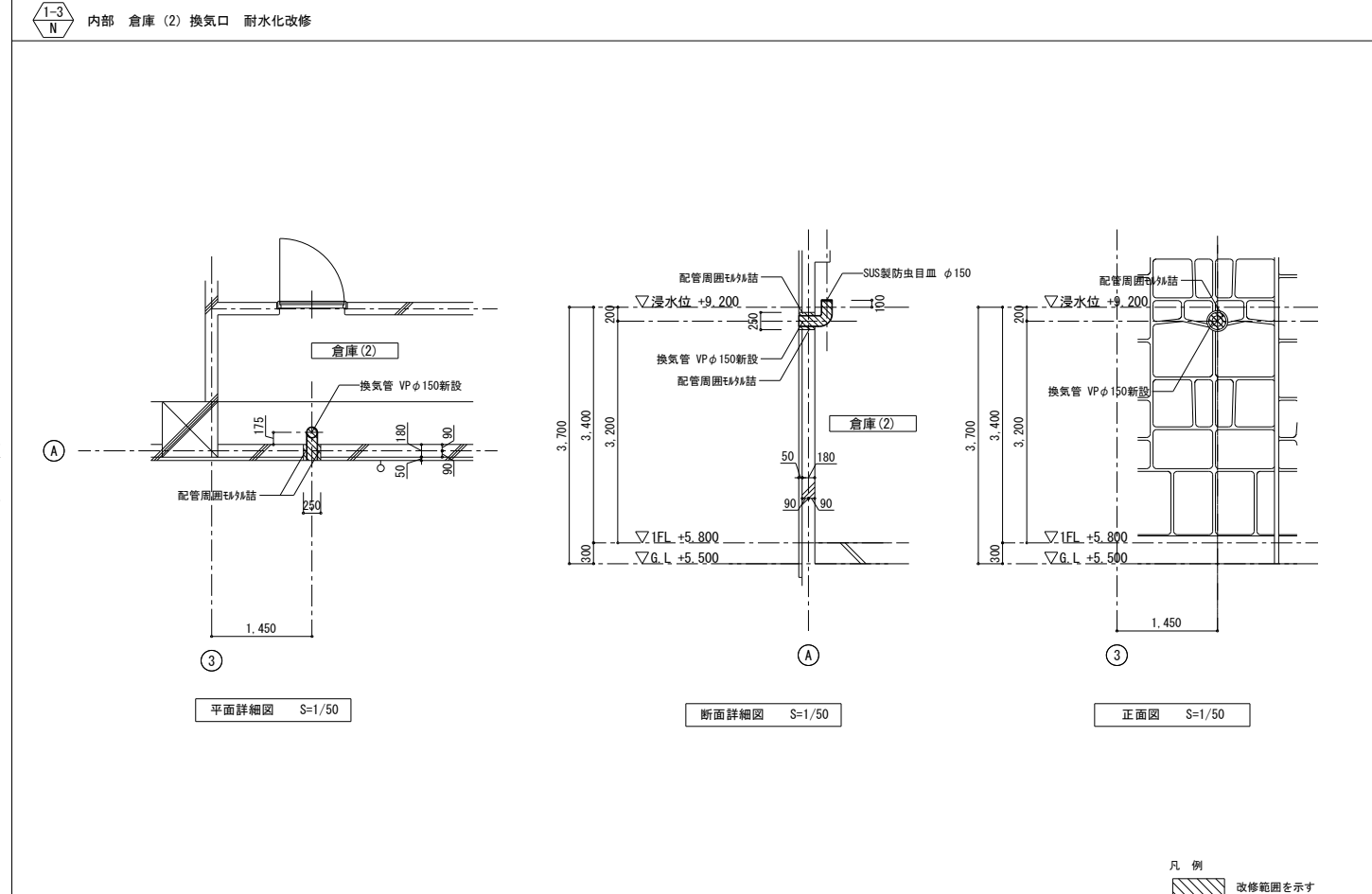
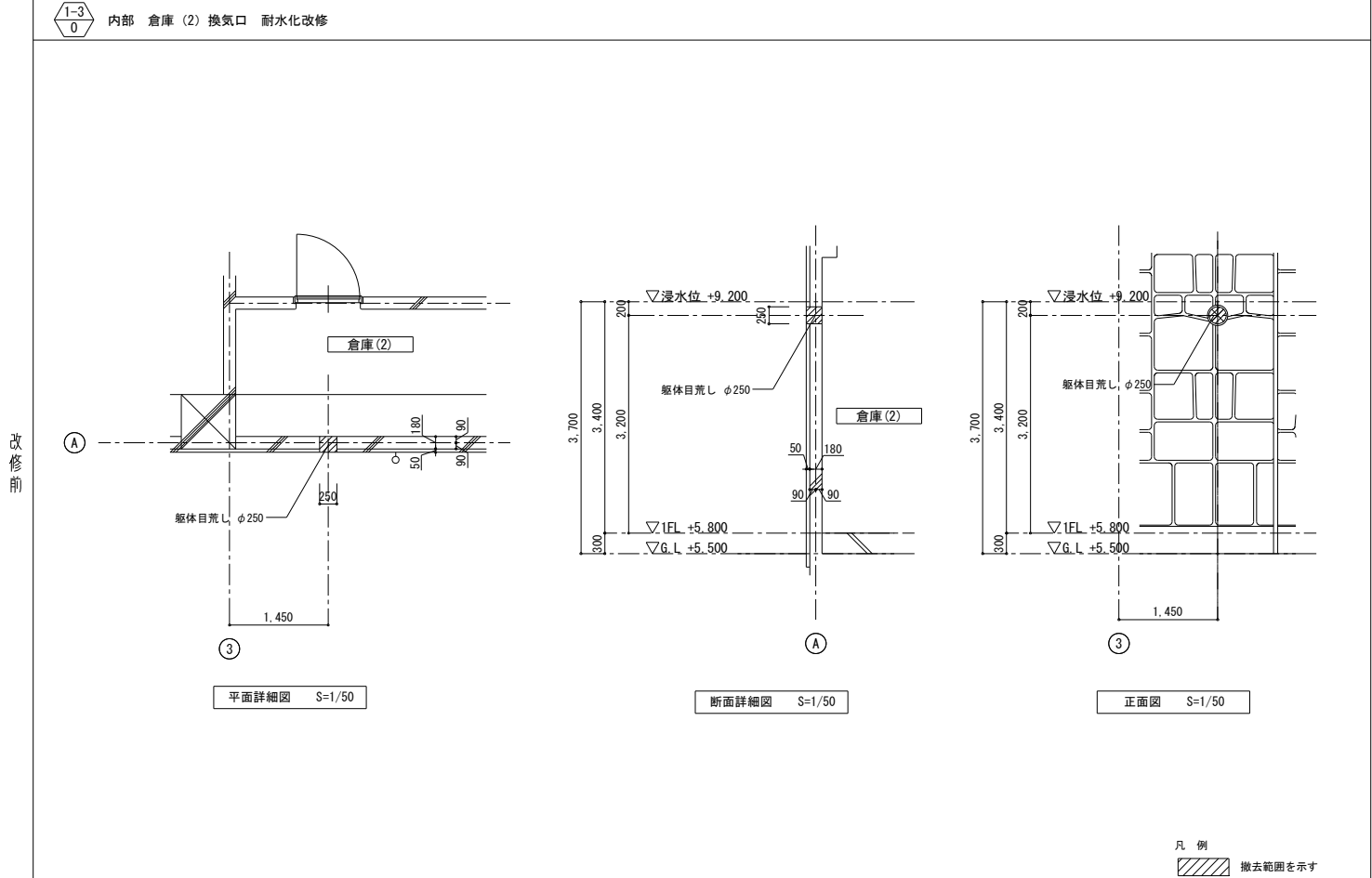
工事場所	三原市 本郷南二丁目
------	------------

図面番号 A-23

縮尺	S=1/50
----	--------

図面名: 改修詳細図(1)

三 原 市



- 共通事項
- ・打継面となる範囲の既存構造体コンクリート面については、目荒しを行うこと

・新設する蓋廻りは防水モルタルを充填すること。

・蓋撤去部周囲は、コンクリート面にカッター入れを行う

・納まり・大きさ等は現場にて着工後再度計測を行い、現場監督員と検討・協議の上決定すること

工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-24	縮尺	S=1/50
図面名: 改修詳細図(2)			
三原市			

雨水排水ポンプ場耐水化工事
(本郷第 2 雨水ポンプ場)

特 記 仕 様 書

(機械設備)

第1章 総 則

第1節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場）に適用する。

第2節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第3節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

- a 日本産業規格 J I S
- b 機械設備標準仕様書 日本下水道事業団
- c 下水道施設計画・設計指針と解説
- d 機械設備工事一般仕様書 日本下水道事業団
- e 機械設備工事必携 日本下水道事業団
- f 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）
- g 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）
- h その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を2部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図
- b 機器相互間の配管図
- c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任(監理)技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については、工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお、発注者と受注者の協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、一定期間重複して工事現場に設置し、工事の継続性、品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督職員の確認を受けた後に(財)日本建設情報総合センターに登録し、「工事カルテ」の写しを監督職員

に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際、下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA 4 版，取外し可能な折り込み製本とし表紙，背表紙は金文印刷したものを 3 部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書，計算書
- (3) 各種配管図
- (4) 付属品，予備品リスト
- (5) 各種試験，検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から 2 年間とする。

かし担保期間終了時，請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後，監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合，監督員の指示する期間内に無償で改造，補修または新品と取替えた後，検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは，協議の上，契約内容を変更することができる。

ただし，監督員が特段の理由があると認めたときを除き，契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

(1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう，または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合，受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書，添付図面，別紙設計書に明示していないものがあったも，設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い，受注者の費用をもって施工しなければならない。また，重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し，万一数量寸

法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 本郷第2雨水ポンプ場

第1節 耐水化対策

本工事は、場内に設置された燃料貯蔵タンクが、河川の氾濫等などにより水没しポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため、本工事で燃料貯蔵タンク内に水が入り込まない構造に改造するものである。

第2節 仮設

タンクの点検口水密化及び目視水位計の開口部の加工を行う際、溶接作業が発生することが考えられる。そのため、作業中は内部の油を抜き取り、ドラム缶にて保管・管理する必要がある。

施工にあたっての仮設は以下の通りと考えている。

- (1) バキューム車によるタンク内のA重油抜き取り。（3,000ℓと想定）
- (2) 中和剤による洗浄

※消防署に対する「危険物の仮貯蔵・仮取扱い」の申請

指定数量（A重油：2,000ℓ）以上の危険物をドラム缶などで保管し、燃料小出し槽への補給する場合は申請が必要となる。

第3節 施工時期

小出し槽が満杯であれば、A重油の補給の必要がない期間（一週間程度）に施工可能と考えている。施工時期については監督員と協議を行うこと。

（渇水期における晴れ待ち工事を原則）

第4節 改造設備

- (1) タンク点検口（水密化）
- (2) 目視水位計の開口部（水密化）
- (3) その他発注図面のとおり

3章 機 械 工 事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。
- (4) 関係官庁等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
複合工費		式		1	レベル3
燃料タンク工		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額					
契約保証費					
* * 一般管理費計 * *					
* * 工事価格計 * *					
消費税相当額					

工事数量総括表

頁0 -0002

[illegible]

図 面 目 録

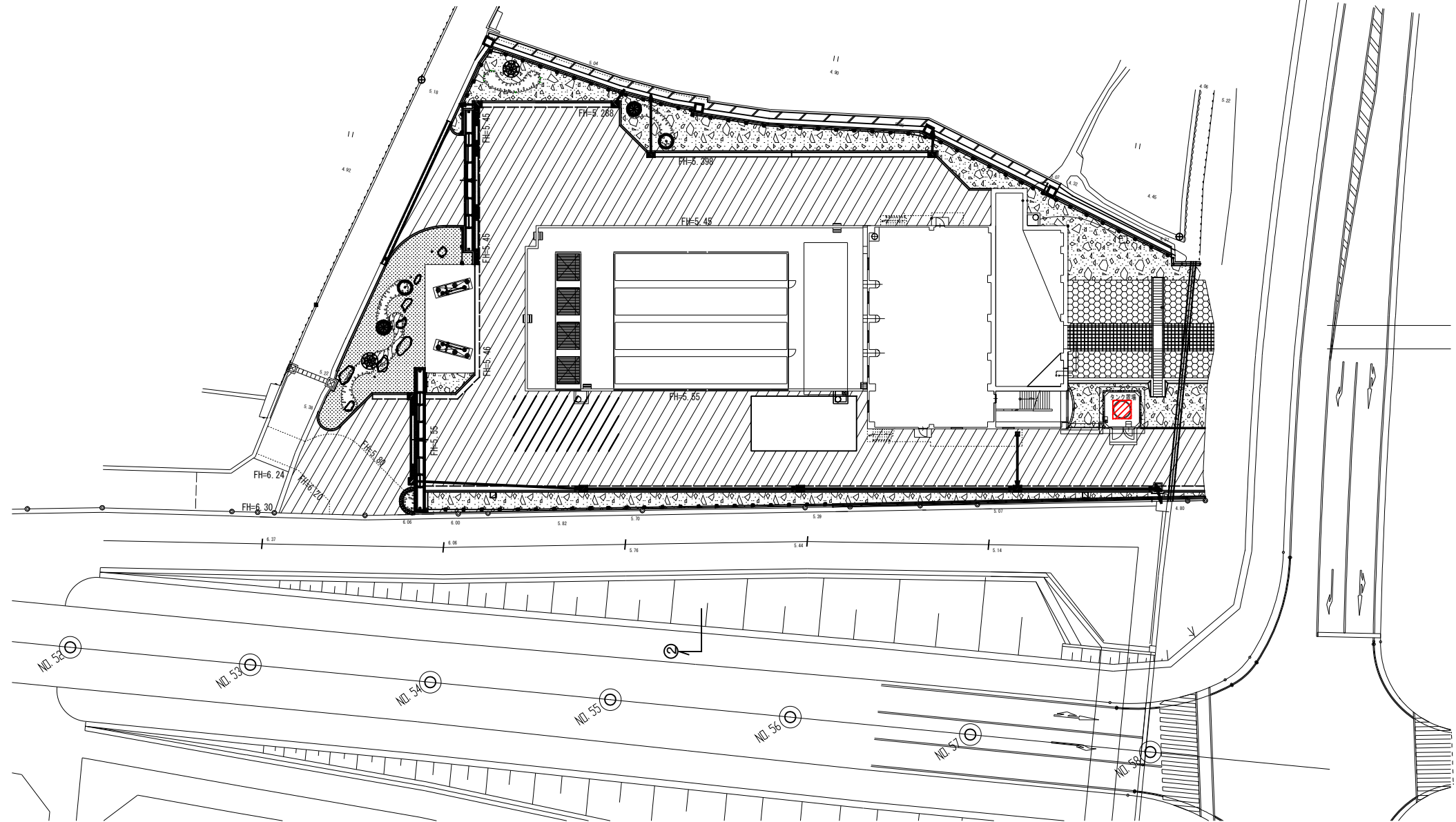
(本郷第2雨水ポンプ場 機械工事編)

[illegible]

一般平面図 S=1/150



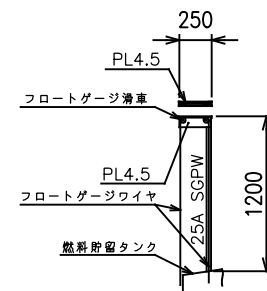
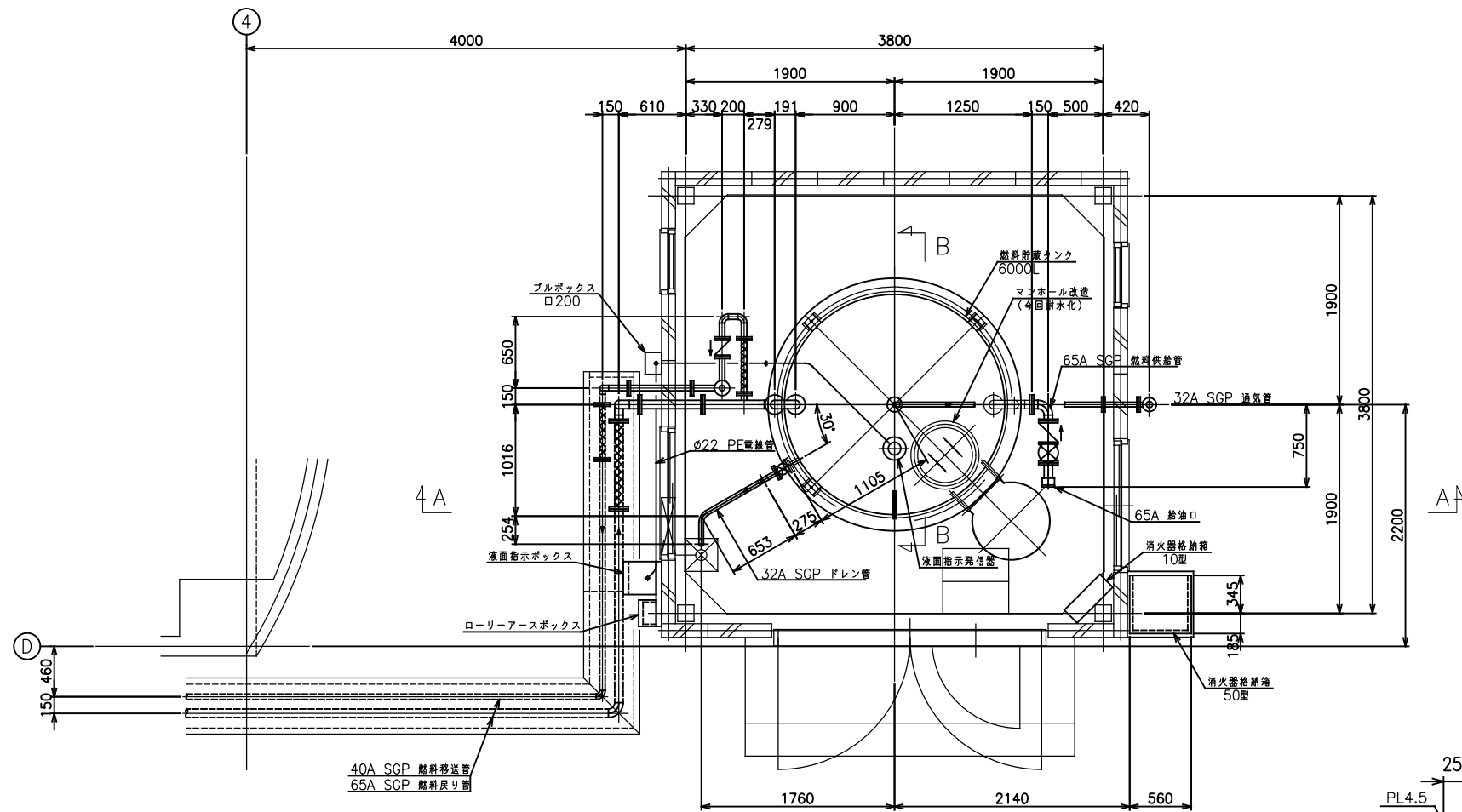
S=1:200



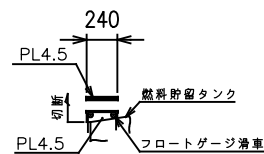
凡例

 : 今回工事範囲

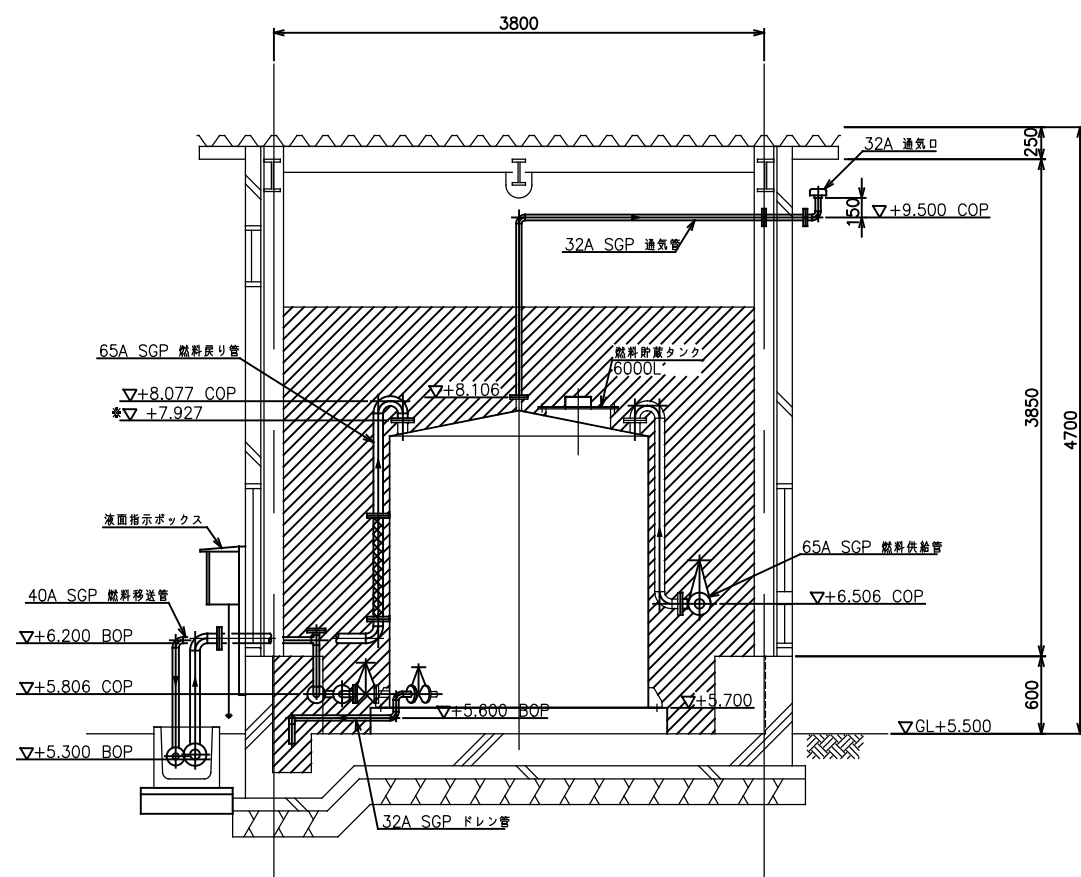
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	PM-1	縮尺	S=1/150
図面名:	全体平面図		
三 原 市			



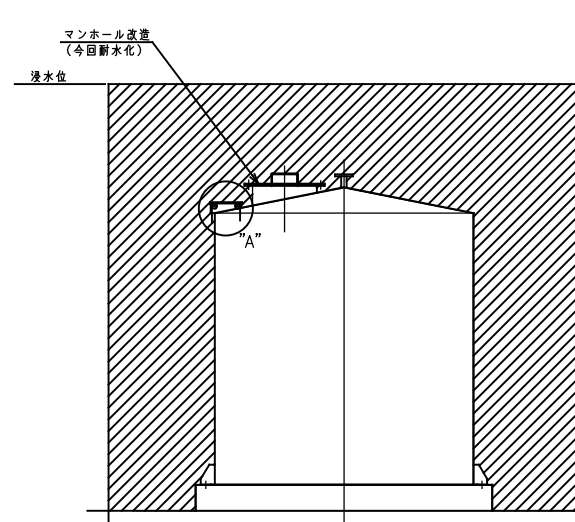
”B”部詳細



”A”部詳細

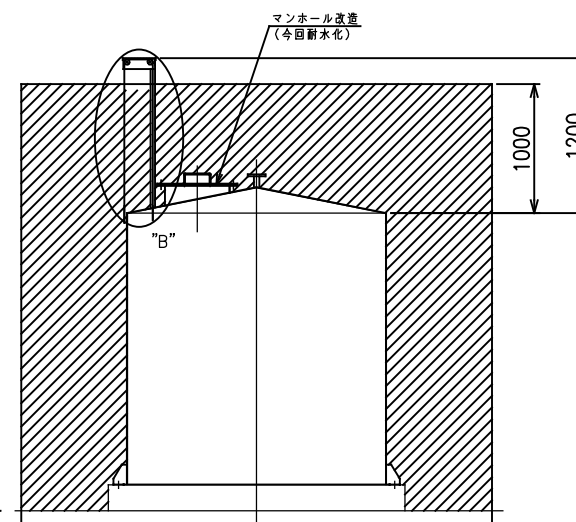


A-A 断面



改造前

B-B 断面



改造後

B-B 断面

- 備考：
- フロートゲージワイヤを挿入する管及びフロートゲージ滑車部は必要に応じ補強すること。
 - マンホール改造部分はパッキンをネオプレン製のものと取替える。
 - 改造によって既設の塗装を損傷した場合には、補修塗装を行うものとする。
外面：フェノール樹脂塗料
内面：防錆油塗布

凡例
□：今回工事範囲

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本郷第2ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	PM-2	縮尺	S=1/30
図面名:	燃料タンク頂部改造図		
三 原 市			

三 原 市

雨 水 排 水 ポ ン プ 場 (本郷第2雨水ポンプ場)

特 記 仕 様 書 (電気設備)

第 1 章 総 則

第 1 節 適用範囲

本特記仕様書は、雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第 2 雨水ポンプ場）に適用する。

第 2 節 責任施工

本工事は、受注者による責任施工である。

設計図書に記載なき事項についても技術上あるいは、全設備より見て当然必要と思われることは、職員（以下監督員という）の指示に従い、設計図書の意図する性能、機能を十分満足するよう設計、施工しなければならない。

第 3 節 施工基準

(1) 本工事に対する施工基準は、下記のものとする。

- a 特記仕様書
- b 設計図
- c 設計書
- d 現場説明事項

(2) 準拠規格

一般仕様書、特記仕様書において規定して記載されたもの以外は、すべて次の規格及び基準に準拠すること。また、この書基準は、最新版を適用すること。

- | | | |
|---|----------------------------|----------|
| a | 日本産業規格 | J I S |
| b | 電気規格調査会標準規格 | J E C |
| c | 日本電機工業会標準規格 | J E M |
| d | 電線技術委員会標準資料 | J C S |
| e | 電気設備技術基準 | 経済産業省令 |
| f | 内線規程 | J E A C |
| g | 電気用品取締法 | |
| h | 下水道施設計画・設計指針と解説 | |
| I | 電気設備工事一般仕様書 | 日本下水道事業団 |
| j | 電気設備工事必携 | 日本下水道事業団 |
| k | 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） | |
| l | 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） | |
| m | その他関係法規並びに監督員が指示する仕様書、各種基準 | |

(3) 承諾図

受注者は、承諾を受けるために監督員と打合せを行い、施工図面等の工事に必要な図面を 2 部作成し提出すること。

- a 機器の据付配置図
- b 機器相互間の配管図、配線図
- c 施工図

一旦、承諾を受けても実際に施工上不都合があると認められる場合、あるいは設備上、機器の変更、追加等が必要と認められる場合には、監督員の指示に従って訂正図を提出し、再承諾を受けた後に機器等を製作すること。

また、承諾図返却後、決定図を監督員の指示する部数を提出すること。

(4) 疑義等

設計図書に関して疑義が生じた場合は、すべて監督員の解釈による。

設計図書に記載されていない事項であっても施工上当然必要と思われる事項は、受注者の負担においてこれを施工すること。

第4節 関係法規、責務の遵守

受注者は、本工事の施工に当り、諸官庁の命令指示、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、職業安定法、道路交通法、電気事業法その他関係法規、並びに工事施工に関する協定事項に違反しないこと。

第5節 手続きの代行

受注者は本工事施工に当り、諸官公庁及び当該電気供給者の検査を受ける必要があるものについては、すべての手続きを代行し、常に連絡を密にして、設備使用開始に際し支障のないようにすること。

ただし、手続書類は提出前に監督員の承諾を受けること。

第6節 現場の管理

受注者は、工事現場内において監理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用すること。

第7節 検査

三原市工事検査規程の定めるところによる。

第8節 主任(監理)技術者の配置等

(1) 主任(監理)技術者の専任期間等

本工事に配置される技術者については、工場製作のみが行われている期間は専任を要しない。

なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

(2) 主任（監理）技術者の変更の特例

本工事に配置される技術者については，工場から現地への工事の現場が移行する時点において変更ができる。

なお，発注者と受注者の協議により，交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか，交代前後における技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに，一定期間重複して工事現場に設置し，工事の継続性，品質等を確保すること。

第9節 工事カルテの作成および登録

受注者は，工事实績情報サービス（CORINS）に基づき「工事カルテ」を作成し，監督職員の確認を受けた後に（財）日本建設情報総合センターに登録し，「工事カルテ」の写しを監督職員に提出すること。

第10節 完成図書の提出

施設引渡しの際，下記の完成図書を提出すること。

完成図書はA4版，取外し可能な折り込み製本とし表紙，背表紙は金文印刷したものを3部納入のこと。

- (1) 完成図面
- (2) 各種検討書，計算書
- (3) 各種結線，接続図
- (4) 付属品，予備品リスト
- (5) 各種試験，検査成績書
- (6) 各種官庁手続き書類
- (7) 取扱説明書
- (8) 完運転操作説明書
- (9) 故障時連絡一覧表
- (10) その他必要なもの

第11節 かし担保期間

完成検査に合格した日から2年間とする。

かし担保期間終了時，請負人は技術者を派遣し異常の有無を確認後，監督員と協議し承認を得ること。

保証期間内に請負人の責任に帰すべき原因による事故が発生した場合，監督員の指示する期間内に無償で改造，補修または新品と取替えた後，検査に合格しなければならない。

第12節 契約内容の変更

本工事の内容に著しい影響を与える事情が生じたときは、協議の上、契約内容を変更することができる。

ただし、監督員が特段の理由があると認めたときを除き、契約内容の変更は行わない。

第13節 その他

(1) 責任施工

受注者は既設構造物その他に損傷を与えないよう、または機能を阻害しないよう適切な保護を行うこと。これらに損傷または損失を与えた場合、受注者の負担において復旧すること。

本工事の施工にあたって本仕様書、添付図面、別紙設計書に明示していないものであっても、設備の性能発揮に当然必要なものは監督員の指示に従い、受注者の費用をもって施工しなければならない。また、重要寸法についてはあらかじめ現地実測の上決定し、万一数量寸法等に誤記があった場合は、監督員と打ち合わせ善処しなければならない。

(2) 耐震設計

耐震を十分考慮した構造および施工とすること。

(3) 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

(4) 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- a 原因調査 監督員と協力して行うこと。
- b 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当ること。
- c 応急措置 監督員から応急措置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急措置を講じること。
- d 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち請負代金の100分の1を超える額を負担すること。

第2章 本郷第2雨水排水ポンプ場

第1節 耐水化対策

本工事は、場内の引込柱に設置されている引込開閉器盤が、河川の氾濫等などにより水没しポンプ場の運転に支障が生じる恐れがあるため水没しない高さのポンプ場壁面に移設するものである。

第2節 移設設備

- (1) 引込開閉器盤 1 面
- (2) その他発注図面のとおり

第3節 仮設工事

- (1) 引込開閉器盤の移設中は電力会社からの受電はできない。ポンプ場の機能を維持するため、既設非常用発電機を運転し移設中の電力を確保すること。
- (2) 請負者は、既設非常用発電機の運転に当たり最大限の協力を行うこと。
- (3) 工事に当たっては、作業計画書を提出し監督員及び電気主任技術者の承諾を得た後、施工すること。

第3章 電 気 工 事

第1節 一般事項

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。また、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じること。
- (2) 機器の搬入、据付の際は機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 工事の施工にあたっては、施工図を提出のうえ監督員の指示によること。また、実施に当たっては安全かつ効率的に行うこと。
- (4) 電力会社等への諸手続きは、受託者が自らの費用において行うこと。
- (5) 槽内作業の場合は、酸素欠乏及び硫化水素危険作業に該当するため、法令・規則等を遵守し安全に行うこと。

第2節 各種工事

(1) 盤等の据付工事

- 1) 自立盤は、所要の強度を持つ金具で架台等に強固に取付けること。
- 2) 装柱盤は、所定の金具で柱に強固に取付けること。

(2) 電線管工事

- 1) 電線管は施工場所により、次の管を使用すること。
 - a) 露出配管 耐衝撃性硬質ビニル電線管又は厚鋼電線管
 - b) 地中配管 波付硬質合成樹脂管
 - c) 接地線用 硬質ビニル電線管（露出、地中とも）
- 2) 地中電線管部は、ケーブル埋設シートを敷設すること。

(3) 配線工事

- 1) 配線は使用目的により次の電線またはケーブルを使用すること。
 - a) 電源回路 架橋ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CE)
 - b) 制御回路 制御用ポリエチレン絶縁耐熱性ポリエチレンシースケーブル (EM-CEE)
 - c) 接地回路 耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE)

2) 端子への接続

各端子への接続は圧着端子（丸型）で行うこと。

(4) 接地工事

接地工事の接地極は、連結式接地棒を使用し各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
技術労務費		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額					

工事数量総括表

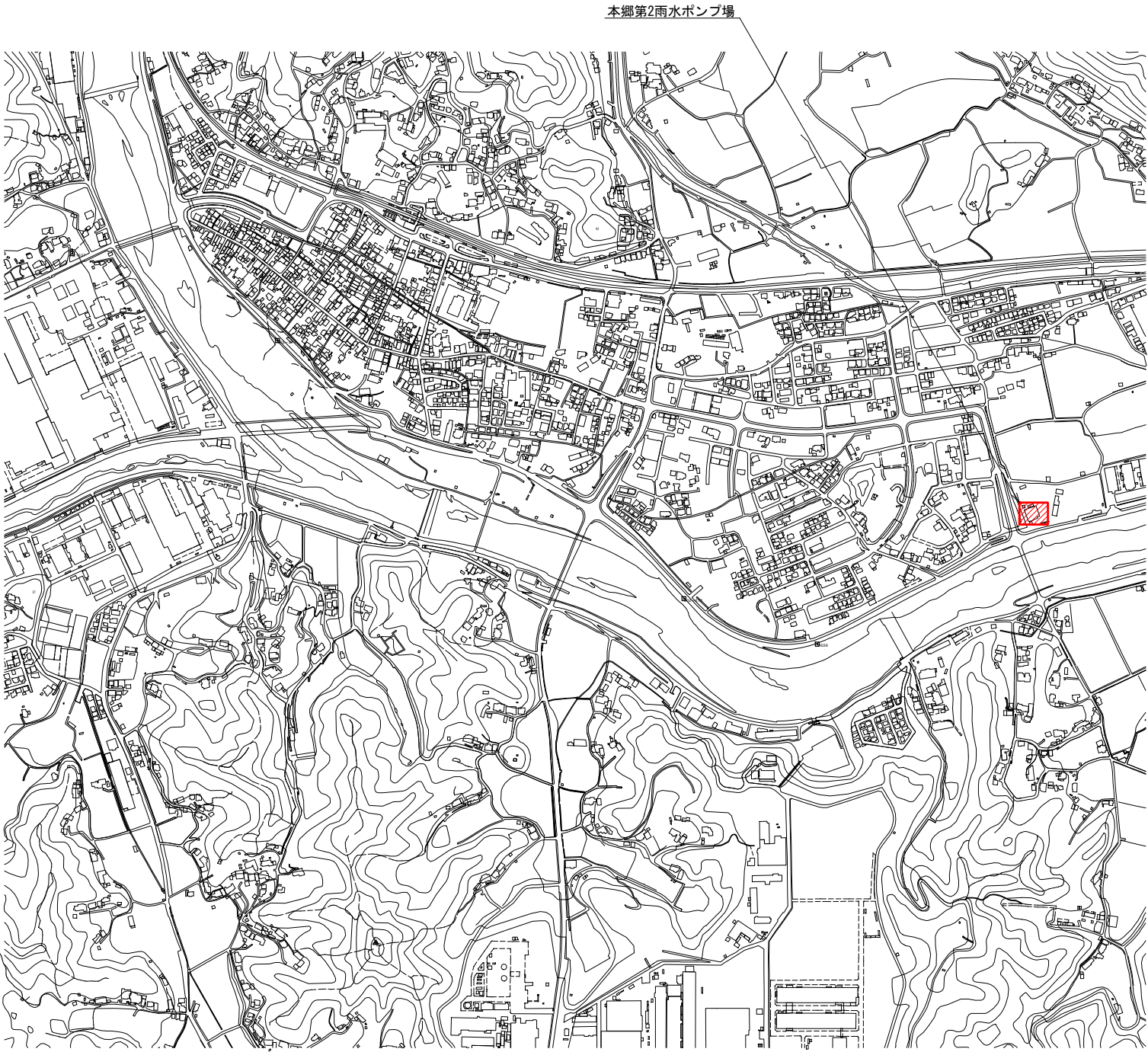
頁0 -0002

[illegible]

目 次


(本郷第2雨水ポンプ場 電気工事編)

[illegible]



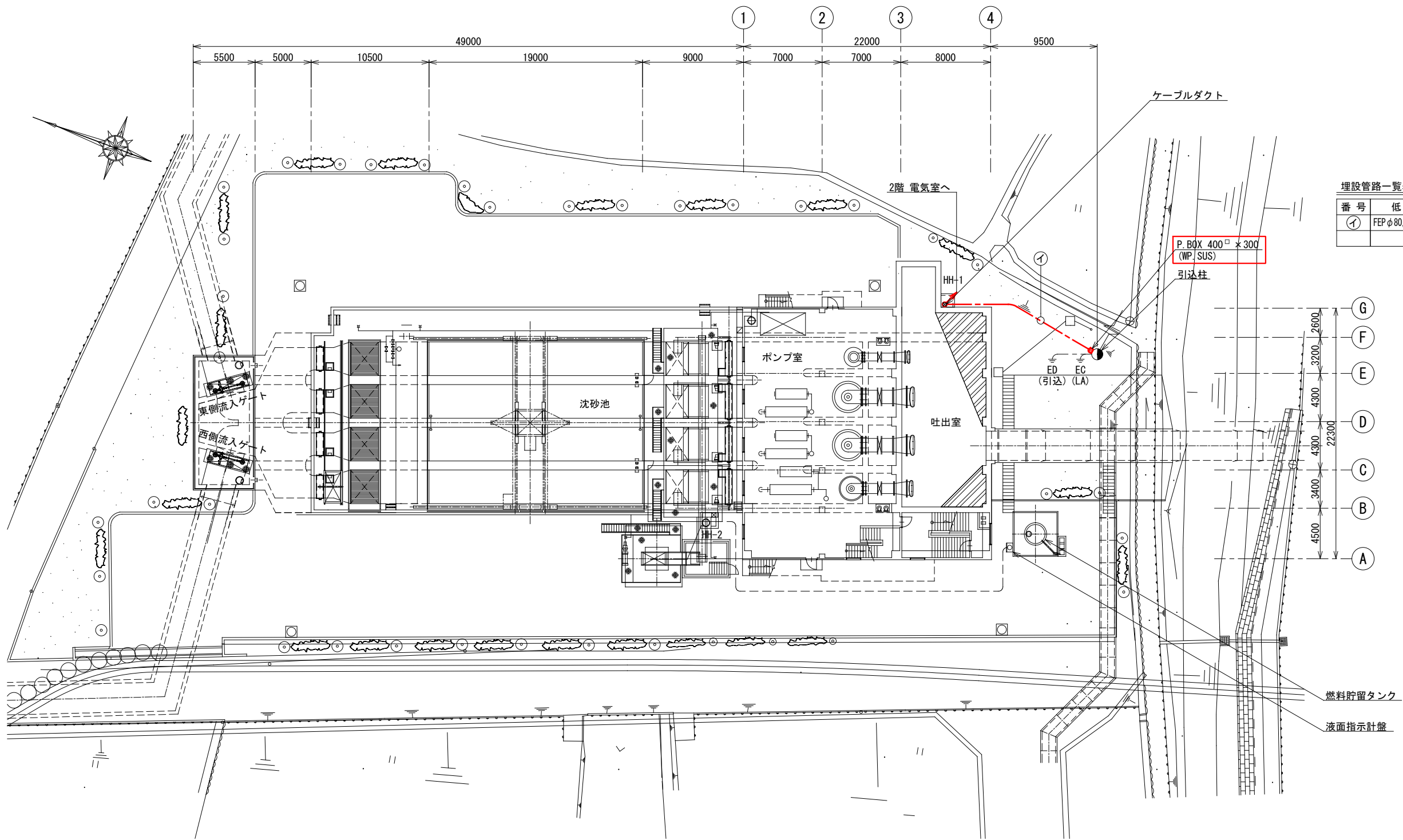
位置図 S=1/6000

備考

1.  は、施工場所を示す。

A1 : 100% A3 : 50%

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水排水ポンプ）		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	E-1	縮尺	S=1/6000
図面名： 位置図			
三 原 市			



埋設管路一覧表

番号	低 圧	接 地	備 考
①	FEP φ80, FEP φ50	FEP φ30	-

備考

1. は、今回を示す。
2. は、移設を示す。
3. は、既設を示す。

凡例

1. --- は、露出配線を示す。
2. — は、ビット配線を示す。
3. --- は、ラック配線を示す。
4. --- は、地中埋設配線を示す。

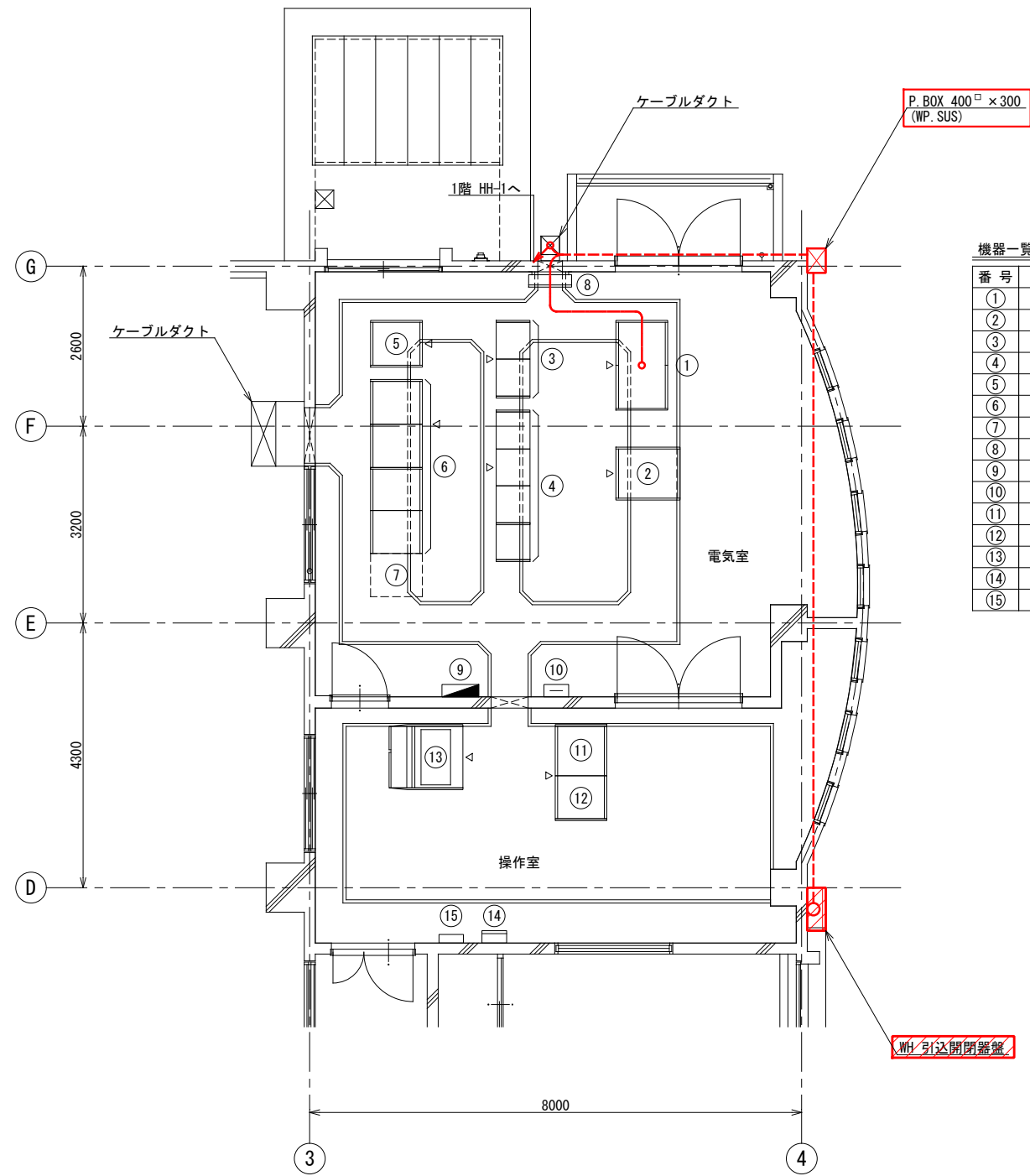
埋設管路一覧表

番号	低 圧	制 御	計 装	備 考
①	FEP φ80	FEP φ50	FEP φ30	

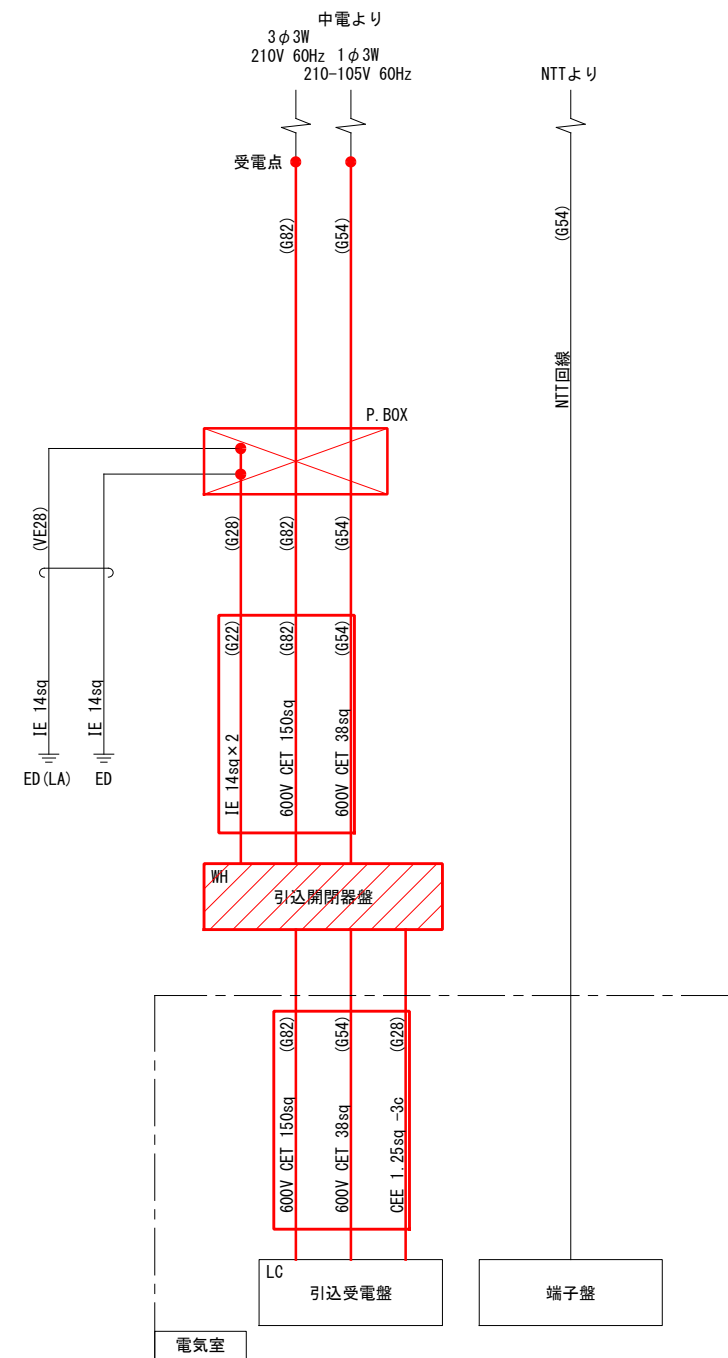
本郷第2雨水ポンプ場 全体平面図 S=1/200

A1 : 100% A3 : 50%

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場）		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	E-2	縮尺	S=1/200
図面名： 全体平面図（今回）			
三 原 市			



機器一覧表 (2階 電気室・操作室)			
番号	番号	機器名称	備考
①	LC	引込受電盤	
②	DC	直流電源盤	
③	CC-11/12	商用・自家発系コントロールセンタ	
④	CC-21/24	自家発系コントロールセンタ	
⑤	RY-1	商用・自家発系補助継電器盤	
⑥	RY-21/24	自家発系補助継電器 1 / 4 盤	
⑦	RY-25	自家発系補助継電器 5 盤	将来
⑧	ETB	接地端子盤	
⑨	L-1	電灯分電盤	
⑩	T-1	端子盤	
⑪	KP	計装盤	
⑫	CONT	コントローラ盤	
⑬	MGP	監視操作卓	
⑭	TC	非常通報装置	
⑮		火災受信盤	



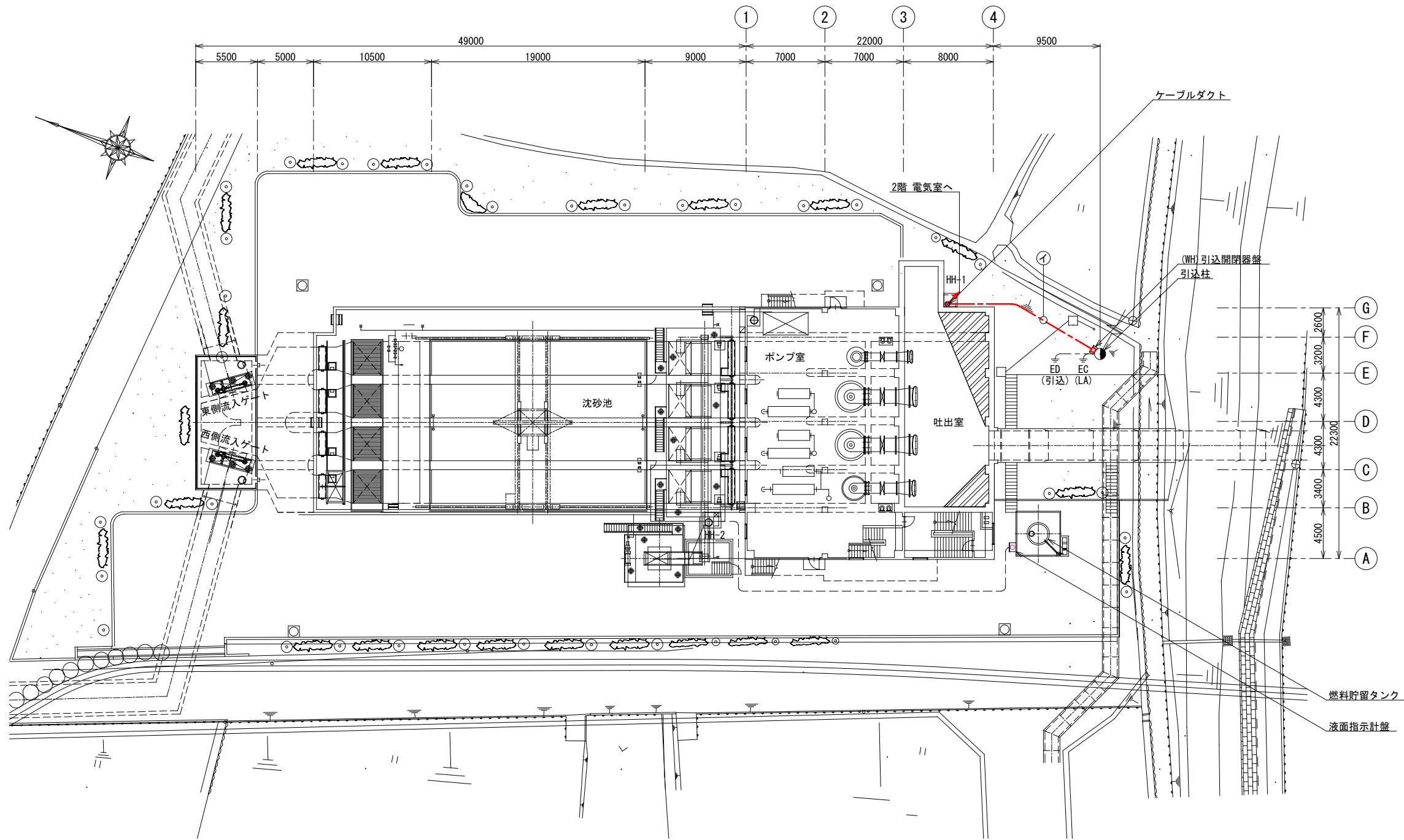
配線系統図 S=NON

本郷第2雨水ポンプ場 2階 電気室 平面図 S=1/50

- 備考
- ① ② ③ は、今回を示す。
 - ④ ⑤ ⑥ は、移設を示す。
 - ⑦ ⑧ ⑨ は、既設を示す。

- 凡例
- ① ② ③ は、露出配線を示す。
 - ④ ⑤ ⑥ は、ピット配線を示す。
 - ⑦ ⑧ ⑨ は、ラック配線を示す。
 - ⑩ ⑪ ⑫ は、地中埋設配線を示す。

A1 : 100% A3 : 50%			
工事名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	E-3	縮尺	S=1/50
図面名 : 2階平面図 (今回)			
三原市			



本郷第2雨水ポンプ場 全体平面図 S=1/200

凡例

1. 露出配線を示す。
2. ビット配線を示す。
3. ラック配線を示す。
4. 地中埋設配線を示す。

埋設管路一覧表

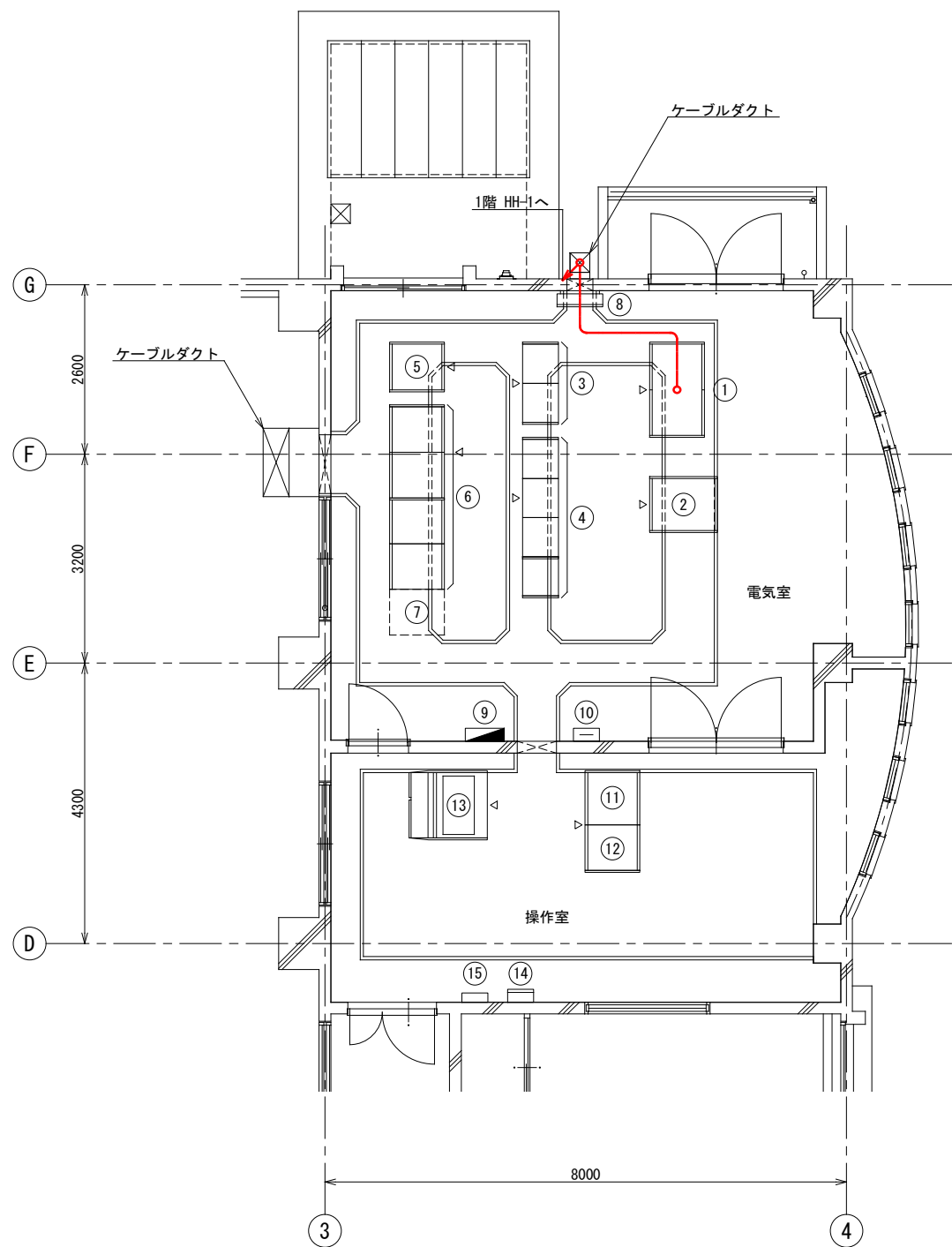
番号	低 圧	制 御	計 装	備 考
①	FEP φ80	FEP φ50	FEP φ30	

備考

1. 移設を示す。
2. 既設を示す。

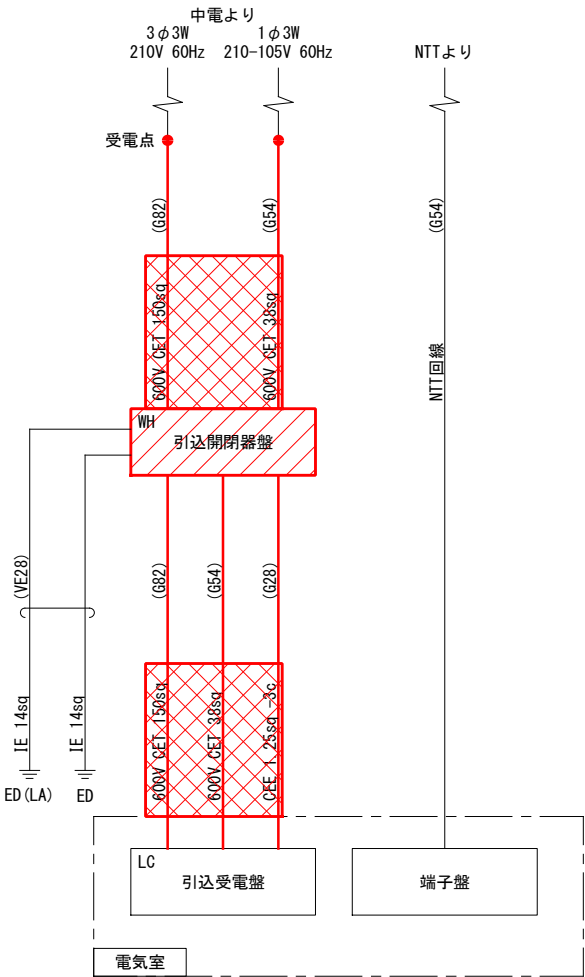
A1 : 100% A3 : 50%

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事（本郷第2雨水ポンプ場）		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	E-4	縮尺	S=1/200
図面名：	全体平面図（撤去）		
三 原 市			



機器一覧表 (2階 電気室・操作室)

番号	番号	機器名称	備考
①	LC	引込受電盤	
②	DC	直流電源盤	
③	CC-11/12	商用・自家発系コントロールセンタ	
④	CC-21/24	自家発系コントロールセンタ	
⑤	RY-1	商用・自家発系補助継電器盤	
⑥	RY-21/24	自家発系補助継電器 1 / 4 盤	
⑦	RY-25	自家発系補助継電器 5 盤	将来
⑧	ETB	接地端子盤	
⑨	L-1	電灯分電盤	
⑩	T-1	端子盤	
⑪	KP	計装盤	
⑫	CONT	コントローラ盤	
⑬	MGP	監視操作卓	
⑭	TC	非常通報装置	
⑮		火災受信盤	



本郷第2雨水ポンプ場 2階 電気室 平面図 S=1/50

配線系統図 S=NON

備考

1. は、移設を示す。
2. は、既設を示す。

凡例

1. は、露出配線を示す。
2. は、ビット配線を示す。
3. は、ラック配線を示す。
4. は、地中埋設配線を示す。

A1 : 100% A3 : 50%			
工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事 (本郷第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	E-5	縮尺	S=1/50
図面名 : 2階平面図 (撤去)			
三 原 市			

雨水排水ポンプ場耐水化工事
(本郷第 2 雨水排水ポンプ場)

参考資料

建 築 工 事

第 1 号

直接仮設

内 訳 明 細 書

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	平均価格(円)
養生		m2	15.8			
整理清掃・後片付け		m2	15.8			
通路養生		m2	30.9			
外部足場	枠組足場900枠 手摺先行方式	m2	13.3			
垂直養生	防音シート張	m2	13.3			
仮設材運搬費		式	1.0			
項 目 計						

第 2 号

防水改修

内 訳 明 細 書

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(新設)						
シーリング	PU-2 15×10 外壁	m	0.3			
項 目 計						

第 3 号

外壁改修

内 訳 明 細 書

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(撤去)						
SUS製開口部カバー 撤去	既製品 φ100	ヶ所	2.0			
(新設)						
壁 下地調整		m2	0.1			
壁 複層塗材RE		m2	0.1			
壁 無収縮モルタル充填		m	0.3			
壁 配管周囲モルタル詰め	無収縮モルタル	m	0.8			
換気管 新設	VP φ150	m	0.7			
SUS製防虫網 新設	既製品 φ150	ヶ所	1.0			
項 目 計						

第 4 号

内装改修

内 訳 明 細 書

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(撤去)						
FRP蓋 撤去	1000x1000 枠共	ヶ所	1.0			
(新設)						
コンクリート直均し仕上		m2	1.3			
耐水型マシンハッチ 新設	鋼製一部SUS製既製品 1000x1000	ヶ所	1.0			
項 目 計						

第 5 号

躯体改修

内 訳 明 細 書

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(撤去)						
コンクリートカッター入		m	6.0			
コンクリート 撤去		m3	0.1			
躯体目荒し		m2	0.3			
(新設) (鉄筋)						
異形鉄筋	SD295 D13 ロス込	t	0.1			
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 一般 NET	t	0.1			
スクラップ控除	H2	t	0.1			
鉄筋運搬費	4t車 NET	t	0.1			
(コンクリート)						
普通コンクリート	Fc=21 S=18 躯体	m3	0.3			
打設手間	ポンプ打設(躯体)	m3	0.3			
ポンプ圧送	打設量30m3未満(躯体)	m3	0.3			
ポンプ圧送基本料金	打設量30m3未満(躯体)	回	1.0			
小 計						

第 5 号

躯体改修

内 訳 明 細 書

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(型枠)						
打放合板型枠	B種	m2	1.5			
型枠運搬費	4t車	m2	1.5			
打放し面補修	B種 コーン処理	m2	1.5			
水切目地	W15	m	0.3			
(その他)						
あと施工アンカー	M16 下方向 金属系アンカー	ヶ所	10.0			
小 計						
項 目 計						

第 6 号

運搬・処分費

内 訳 明 細 書

名 称	形 状 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
(積込)						
コンクリート類	コンクリートがら・がれき類	m3	0.1			
ボード・木材類	上記以外	m3	0.1			
(運搬)						
コンクリートがら		m3	0.1			
金属くず		m3	0.1			
廃プラスチック		m3	0.1			
(処分)						
コンクリートがら		t	0.1			
金属くず		t	0.1			
廃プラスチック		t	0.1			
項 目 計						

代 価 表

(1 号)

[名 称] 撤去材運搬 [規格1] コンクリートがら					1 m3 当り
[規格2] 公共建築工事積算基準 H31年版 P.135 表A2-2-49-1					
名 称 ・ 規 格 な ど	所要量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 2t積級	0.57	日			所要量:D/10 D: 4.5 箕島処分場 距離: 60km 補正係数: 1.27 DID: あり
採用単価					

(2 号)

[名 称] 撤去材運搬 [規格1] 金属くず					1 m3 当り
[規格2] 公共建築工事積算基準 H31年版 P.135 表A2-2-49					
名 称 ・ 規 格 な ど	所要量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 2t積級	0.15	日			所要量:D/10 D: 1.5 生田金属 距離: 7km 補正係数: 1 DID: あり
採用単価					

(3 号)

[名 称] 撤去材運搬 [規格1] 廃プラスチック					1 m3 当り
[規格2] 公共建築工事積算基準 H31年版 P.135 表A2-2-49					
名 称 ・ 規 格 な ど	所要量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 2t積級	0.45	日			所要量:D/10 D: 4.5 クリーンエナジー 距離: 60km 補正係数: 1 DID: あり
採用単価					

代 価 表

(4 号)

[名 称] 撤去機械運転		[規格1] ダンプトラック 2t積級		[規格2]		公共建築工事積算基準 H31年版 P.132 表A2-2-47		1 日	当り
名 称 ・ 規 格 な ど		所要量	単 位	単 価	金 額	備 考			
一般運転手		1	人			週休二日補正含む			
燃料 軽油		22.5	ℓ						
ダンプトラック損料 2t車		1.29	供用日						
タイヤ損耗費			供給日			所要量は機械損料による			
その他 20-30% 対象:運転手、燃料		1	式			中間値の25%とする			
計		1	式						
採用単価									

[illegible]

工 種	種 別	細 別	数 量
5. 躯体改修工事	(撤去)		
	コンクリートカッター入	6.00	6.0 m
	コンクリート 撤去	0.06	0.1 m3
	躯体目荒し	0.25	0.3 m2
	(新設)		
	(鉄筋)		
	異形鉄筋	SD295 D13 ロス込	0.1 t
	鉄筋加工組立	R C ラーメン構造 一般 NET	0.1 t
	スクラップ控除	H2 (【ロス込】 - 【NET】) × 0.7 =	0.1 t
	鉄筋運搬費	4 t 車 NET	0.1 t
	(コンクリート)		
	普通コンクリート	Fc=21 S=18 躯体	0.3 m3
	打設手間	ポンプ打設(躯体)	0.3 m3
	ポンプ 圧送	打設量30m3未満(躯体)	0.3 m3
	ポンプ 圧送基本料金	打設量30m3未満(躯体)	1.0 回

仕 上 集 計 表

本郷第2雨水ポンプ場												
	項目			内 部		計	外 部				計	内外計
	摘要	単位	1-1	1-2	1-3							
撤去	コンクリートカッター入れ		m	6.00		6.00						6.00
	コンクリートはつり		m3	0.06		0.06						0.06
	躯体目荒し		m2				0.07	0.18			0.25	0.25
	FRP蓋1,000×1,000 撤去		ヶ所	1.00		1.00					1.00	1.00
	SUS製開口カバーφ100 撤去		ヶ所				2.00				2.00	2.00
運処	コンクリートがら 運搬		m3	0.06		0.06						0.06
	コンクリートがら 処分		kg	141.00		141.00						141.00
	金属くず 運搬		m3				0.01				0.01	0.01
	金属くず 処分		kg				2.00				2.00	2.00
	廃プラスチック 運搬		m3	0.10		0.10					0.10	0.10
	廃プラスチック 処分		kg	20.00		20.00						20.00
新設	コンクリート直均し仕上		m2	1.25		1.25						1.25
	型枠目地材15×10		m				0.31				0.31	0.31
	あと施工アンカーM16 下方向		ヶ所	10.00		10.00						10.00
	PU-2 15×10		m				0.31				0.31	0.31
	複層塗材(RE)		m2				0.01				0.01	0.01
	無収縮モルタル充てん		m				0.31				0.31	0.31
	配管周囲モルタル詰		m					0.79			0.79	0.79
	換気管VPφ150 新設		m					0.71			0.71	0.71
	耐水型マシンハッチ1,000×1,000 新設		ヶ所	1.00		1.00						1.00
	SUS製防虫目皿φ150 新設		ヶ所					1.00			1.00	1.00

仕 上 計 算 書

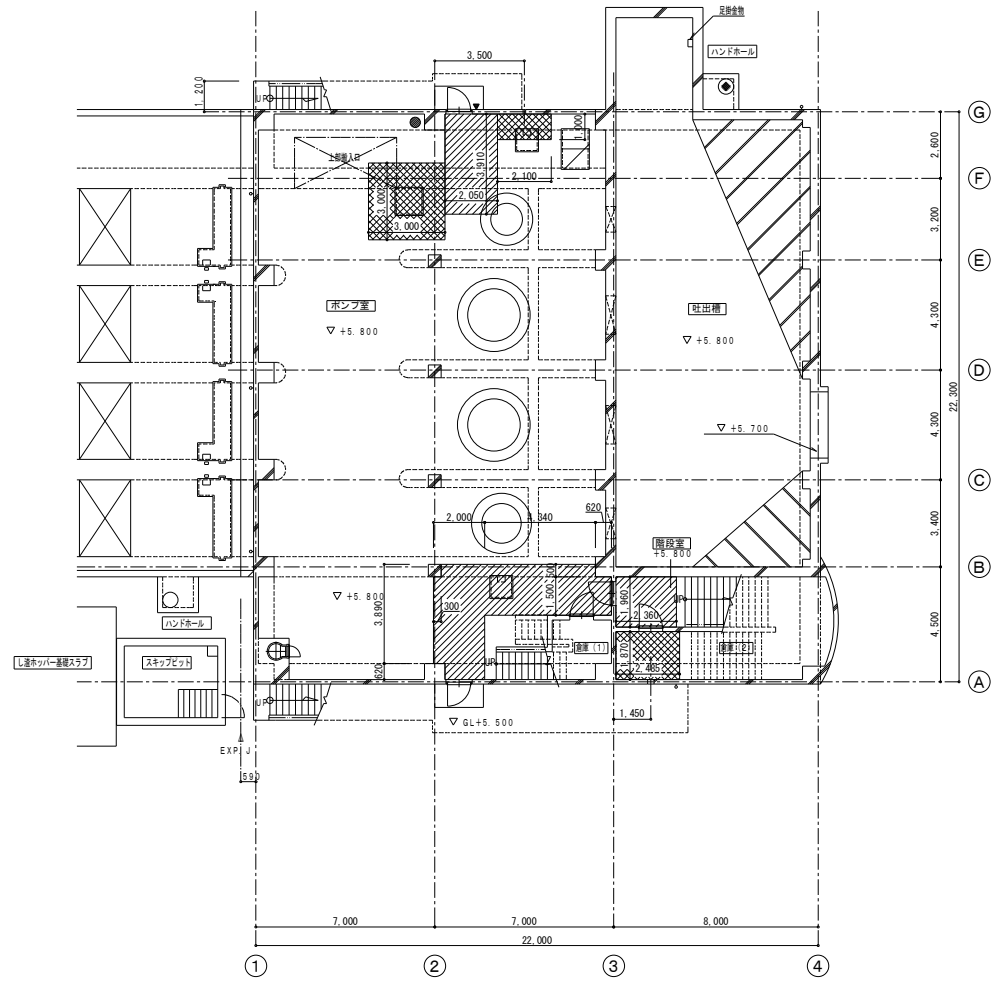
位置	仕 上 名 称	備 考	計 算 式	箇 所	数 量	
					小 計	合 計
〔 仮 設 〕						
仮設	養生・清掃後片付け		2.100 × 1.000	1	2.10	
			3.000 × 3.000	1	9.00	
			2.490 × 1.870	1	4.66	15.76 m2
	通路養生		2.050 × 3.910	1	8.02	
			1.550 × 0.620	1	0.96	
			2.000 × 3.890	1	7.78	
			0.300 × 0.500	-1	-0.15	
			4.340 × 2.000	1	8.68	
			0.620 × 1.500	1	0.93	
			2.360 × 1.960	1	4.63	30.85 m2
	枠組足場 900枠		3.600 × 3.700	1	13.32	13.32 m2
		13.320	1	13.32	13.32 m2	
		3.600	1	3.60	3.60 m	
			</			

仕 上 吉 貞 悔



No. 3

本郷第2雨水ポンプ場

[illegible]



1階平面図 1/100

- 凡 例
-  養生範囲を示す
 -  通路養生範囲を示す

工 事 名	雨水排水ポンプ場耐水化工事(本館第2雨水ポンプ場)		
工事場所	三原市 本郷南二丁目		
図面番号	A-25	縮尺	S=1/100
図面名: 仮設計画図(参考図)			
三 原 市			

機 械 工 事

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 65 三原市(本郷) 00-06.05.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	F 下水道機械設備		
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 03 4 週 8 休以上 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工					Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2
複合工費	1	式			Y390034F レベル3
燃料タンク工	1	式			Y49003407F レベル4
燃料貯蔵タンク工	1	式			F0001 00
* * 直接工事費 * *	1	式			
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 対象額合計...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
* * 一般管理費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0004

[illegible]

電 気 工 事

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 65 三原市(本郷) 00-06.05.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	G 下水道電気設備		
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 03 4 週 8 休以上 00 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
材料費	1	式			Y390012G レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
低圧ケーブル	1	式			V0001 00
制御ケーブル	1	式			単第0 -0001 表 V0002 00
その他電線	1	式			単第0 -0002 表 V0003 00
端末処理材	1	式			単第0 -0003 表 V0004 00
	1	式			単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電線管類					V0005 00
	1	式			単第0 -0005 表
補助材料費					Y49001202G レベル4
	1	式			
補助材料費（率分）					SY49202G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0006 表
労務費					Y390013G レベル3
	1	式			
一般労務費					Y49001301G レベル4
	1	式			
電工					R0090 00
	40	人			
技術労務費					Y49001302G レベル4
	1	式			
電気通信技術者					R1110 00
	2	人			
* * 直接工事費 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 共通仮設費 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 据付工事原価 * *					
設計技術費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分額					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...

本工事費 内訳表

頁0 -0005

[illegible]

施工単価表

頁0 -0006

低圧ケーブル

V0001

單第0 -0001 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

制御ケーブル

V0002

單第0 -0002 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

その他電線

V0003

單第0 -0003 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

端末処理材

V0004

單第0 -0004 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

電線管類

V0005

單第0 -0005 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

補助材料費（率分）

SY49202G

單第0 -0006 表

1

式 当り

電気設備

[illegible]

目 次

本郷第2雨水ポンプ場

1. 人工集計表-----	1-1
---------------	-----

[本工事]

2. 材料集計表-----	2-1
3. 材料内訳表-----	3-1-1
4. 拾い出し根拠表-----	4-1-1

[移設工事]

5. 据付工集計表-----	5-1-1
----------------	-------

[再利用]

6. 据付工集計表-----	6-1-1
----------------	-------

[撤去工事]

7. 材料集計表-----	7-1
8. 材料内訳表-----	8-1-1
9. 拾い出し根拠表-----	9-1-1

物件名： 三原市耐水化設計

集計設備（機材内容）

- | | | | |
|-------------------|--------|-----|------|
| 5. 本郷第2雨水ポンプ場(今回) | (ケーブル類 | 材料類 | 機器類) |
| 6. 本郷第2雨水ポンプ場(撤去) | (ケーブル類 | 材料類 | 機器類) |

[illegible]

[illegible]

人 工 集 計 表

[本郷第2雨水ポンプ場]

[illegible]

材 料 集 計 表 - 1

[本郷第2雨水ポンプ場]

内訳区分	600V EM-CET				600V EM-CET				EM-CEE				EM-IE							
	150 sq				38 sq				1.25 sq				14 sq							
									3 c											
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP				
CHK (5- 1)	9.1		30.0	14.1	9.1		30.0	14.1	4.3		14.9		9.6		30.2	28.2				
合計値 (A)	9.1		30.0	14.1	9.1		30.0	14.1	4.3		14.9		9.6		30.2	28.2				
補充率 (B)																				
(C)=(A)×(B)	9.1		30.0	14.1	9.1		30.0	14.1	4.3		14.9		9.6		30.2	28.2				
設計数量 (D)=Σ (C)	53.2				53.2				19.2				68.0							
電工単位工量(E)=(E0)	0.10	0.15	0.13	0.11	0.049	0.074	0.062	0.055	0.013	0.020	0.017	0.015	0.016	0.024	0.020	0.018				
電工量 (C)×(E)	0.91		3.90	1.55	0.44		1.86	0.77	0.05		0.25		0.15		0.60	0.50				

C- 1 / 3

電工量小計= 10.98

材 料 集 計 表 - 2

[本郷第2雨水ポンプ場]

内訳区分	600V EM-CET端末処理材				600V EM-CET端末処理材															
	150 sq				38 sq															
	屋外	屋内			屋外	屋内														
CHK (5- 1)	1	3																		
CHK (5- 2)					1	3														
合計値 (A)	1	3			1	3														
設計数量 (D)	4				4															
電工単位工量(E)=(E0)																				
電工量 (A)×(E)																				

C- 2 / 3

[本郷第2雨水ポンプ場]

電工量小計= 22.42

2-2

[本郷第2雨水ポンプ場]

Z- 1 / 1 電工量小計=1.10

2-3

本郷第2雨水ポンプ場(今回)

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		600V EM-CET				600V EM-CET				EM-CEE				EM-IE				600V EM-CET端末処理材			
			150 sq				38 sq				1.25 sq				14 sq				150 sq			
			P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	屋外	屋内		
5001	受電点	WH	4.8		15.1	14.1													1	1		
5002	受電点	WH					4.8		15.1	14.1												
5003	WH	既設接地幹線E													4.8x2		15.1x2	14.1x2				
5004	WH	LC	4.3		14.9															2		
5005	WH	LC					4.3		14.9													
5006	WH	LC									4.3		14.9									
(1/2)	CHK (5- 1)		9.1		30.0	14.1	9.1		30.0	14.1	4.3		14.9		9.6		30.2	28.2	1	3		

本郷第2雨水ポンプ場(今回)

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		600V EM-CET端末処理材				CP				CP				CP				CP			
			38 sq				82 mm				54 mm				28 mm				22 mm			
			屋外	屋内			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
5001	受電点	WH					15.1															
5002	受電点	WH	1	1							15.1											
5003	WH	既設接地幹線E																	15.1			
5004	WH	LC					14.9															
5005	WH	LC		2							14.9											
5006	WH	LC													14.9							
(2/2)	CHK (5- 2)		1	3			30.0				30.0				14.9				15.1			

本郷第2雨水ポンプ場(今回) (1/ 2)

拾い出し根拠表

雨水ポンプ場]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
5001	受電点	WH 引込開閉器盤	600V EM-CET 150 sq 端末屋外 x 1 端末屋内 x 1	P&D	4.8	(4.8)
				RACK		
				CP	15.1	0.2 + 4.3 + 10.6
				FEP	14.1	8.0 + 6.1
			CP 82 mm	CP		
				露出	15.1	0.2 + 4.3 + 10.6
				埋込		
5002	受電点	WH 引込開閉器盤	600V EM-CET 38 sq 端末屋外 x 1 端末屋内 x 1	P&D	4.8	(4.8)
				RACK		
				CP	15.1	0.2 + 4.3 + 10.6
				FEP	14.1	8.0 + 6.1
			CP 54 mm	CP		
				露出	15.1	0.2 + 4.3 + 10.6
				埋込		
5003	WH 引込開閉器盤	既設接地幹線 ED	EM-IE 14 sq x 2	P&D	4.8	(4.8)
				RACK		
				CP	15.1	10.6 + 4.3 + 0.2
				FEP	14.1	6.1 + 8.0
			CP 22 mm	CP		
				露出	15.1	10.6 + 4.3 + 0.2
				埋込		
5004	WH 引込開閉器盤	LC 引込受電盤	600V EM-CET 150 sq 端末屋内 x 2	P&D	4.3	0.9 + 1.5 + 0.9 + (1.0)
				RACK		
				CP	14.9	10.6 + 4.3
				FEP		
			CP 82 mm	CP		
				露出	14.9	10.6 + 4.3
				埋込		
5005	WH 引込開閉器盤	LC 引込受電盤	600V EM-CET 38 sq 端末屋内 x 2	P&D	4.3	0.9 + 1.5 + 0.9 + (1.0)
				RACK		
				CP	14.9	10.6 + 4.3
				FEP		
			CP 54 mm	CP		
				露出	14.9	10.6 + 4.3
				埋込		

本郷第2雨水ポンプ場(今回) (2/ 2)

拾い出し根拠表

雨水ポンプ場]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算	
5006	WH 引込開閉器盤	LC 引込受電盤	EM-CEE 1.25 sq - 3 c	P&D	4.3	0.9 + 1.5 + 0.9 + (1.0)	
				RACK			
				CP	14.9	10.6 + 4.3	
				FEP			
				CP			
			CP	28 mm	露出	14.9	10.6 + 4.3
			埋込				

本郷第2雨水ポンプ場(今回) (1/ 1)

設備材料一覽表

[本郷第2雨水ポンプ場]

[illegible]

本郷第2雨水ポンプ場(今回) (1/ 1)

(移 設)据 付 工 集 計 表

[本郷第2雨水ポンプ場]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
(WH) 引込開閉器盤	屋外装柱形	面	1		1.0		2.0								配電盤-3 現場操作盤7
計 (S-501)				1.0		2.0									

本郷第2雨水ポンプ場(撤去) (1/ 1)

(再利用)据付工事集計表

[本郷第2雨水ポンプ場]

機 器 名 称	形 状	単位	数量	技術者		電 工		技術者単体調整				歩 掛 ページ	機器重量(t)		備 考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量		単位重量	重量	
(WH) 引込開閉器盤	屋外装柱形	面	1		1.0		2.0								配電盤-3 現場操作盤7
計 (S-601)				1.0		2.0									

[本郷第2雨水ポンプ場]

電工量小計= 1.76

7-1

(撤 去) 材 料 内 訳 表

[illegible]

本郷第2雨水ポンプ場(撤去) (1/ 1)

拾い出し根拠表

雨水ポンプ場]

N o	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
R 6001	受電点	WH 引込開閉器盤	600V EM-CET 150 sq	P&D		
				RACK		
				CP	1.0	(1.0)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 6002	受電点	WH 引込開閉器盤	600V EM-CET 38 sq	P&D		
				RACK		
				CP	1.0	(1.0)
				FEP		
				CP		
				露出		
				埋込		
R 6003	WH 引込開閉器盤	LC 引込受電盤	600V EM-CET 150 sq	P&D	9.3	(4.8)+ 1.1 + 1.5 + 0.9 + (1.0)
				RACK		
				CP	1.0	(1.0)
				FEP	14.1	8.0 + 6.1
				CP		
				露出		
				埋込		
R 6004	WH 引込開閉器盤	LC 引込受電盤	600V EM-CET 38 sq	P&D	9.3	(4.8)+ 1.1 + 1.5 + 0.9 + (1.0)
				RACK		
				CP	1.0	(1.0)
				FEP	14.1	8.0 + 6.1
				CP		
				露出		
				埋込		
R 6005	WH 引込開閉器盤	LC 引込受電盤	EM-CEE 1.25 sq - 3 c	P&D	9.3	(4.8)+ 1.1 + 1.5 + 0.9 + (1.0)
				RACK		
				CP	1.0	(1.0)
				FEP	14.1	8.0 + 6.1
				CP		
				露出		
				埋込		

材料拾い出し表(本郷第2雨水ポンプ場)

[illegible]

スクラップ・コンクリートがら重量表

項 目	重量（K g）						備 考	
	鉄スクラップ 鉄ヘビーH 1	鉄スクラップ 鉄ヘビーH 2	非鉄スクラップ(1号銅線)		非鉄スクラップ(2号銅線)			コンクリートが ら
			ケーブル重量	銅重量	ケーブル重量	銅重量		
機器・盤類								
電 線 管								
ケーブ ル・電線類 - 1			508	129.8				
ケーブ ル・電線類 - 2					19.6	1.5		
合 計			508	129.8	19.6	1.5		

ケーブル・電線類－ 1

NO	名 称	数 量 (m)	単位重量 (kg/m)		重 量 (kg)		備 考
			ケーブル重量	銅重量	ケーブル重量	銅重量	
1	600V EM-CET 150 sq	25.4	15.5	4.08	393.7	103.632	積算資料（銅重量はCV 150 sq - 1c×3条相当） ケーブル：4650÷300，銅：1224÷300
2	600V EM-CET 38 sq	25.4	4.5	1.03	114.3	26.162	積算資料（銅重量はCV 38 sq - 1c×3条相当） ケーブル：1350÷300，銅：309÷300
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
	計				508	129.794	
	合 計				508	129.8	1号銅線くず

ケーブル・電線類－２

NO	名 称	数 量 (m)	単位重量 (kg/m)		重 量 (kg)		備 考
			ケーブル重量	銅重量	ケーブル重量	銅重量	
1	EM-CEE 1.25 sq- 3 c	49.1	0.4	0.031	19.64	1.5221	積算資料 (CVV 1.25 sq- 3 c) ケーブル : 120÷300, 銅 : 9.3÷300
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25	計				19.64	1.5221	
	合 計				19.6	1.5	2号銅線くず